

## は　じ　め　に

宇和島市は「宇和島市母子保健計画（第2次）」に基づいて、母子保健活動を推進して参りました。しかしながら、近年、少子化や核家族化の進行、地域のつながりの希薄化など母と子を取り巻く環境の変化が、育児不安や母子の孤立化などを増加させ、児童虐待、生涯を通じた生活習慣への影響や、思春期における性や命の問題など様々な課題をもたらし、その対応が求められております。

母子保健の取り組みは、生涯を通じた健康の出発点として、心身ともに健康で豊かな人生を送るための基盤となるものです。また、社会全体で子育てを支援する環境づくりも大変重要であると考えます。

国は平成27年（2015年）に、母子保健の主要な取り組みビジョンとして、「健やか親子21（第2次）」を示しました。国の示す、妊娠期からの切れ目ない支援を基本に、宇和島市でも、地域や各関係機関が連携し、社会全体で取り組むべく「宇和島市母子保健計画（第3次）」を策定いたしました。

今後「すべての親と子が健やかに暮らせるうわじま」をめざしてこの計画を推進して参ります。市民の皆様、関係機関・団体の皆様のより一層のご支援・ご協力を心からお願い申し上げます。

平成31年3月

宇和島市長 岡原 文彰



# 目 次

<b>第1章</b>	計画策定の基本的方向	1
1	計画策定の趣旨	1
2	計画の位置づけ	1
3	計画の基本方針	1
4	計画の期間・評価	1
<b>第2章</b>	第2次計画のまとめ	
1	第2次計画期間の取り組みの概要	2
2	指標の評価と課題	6
<b>第3章</b>	第3次計画における健康課題と対策	
1	主要課題	8
2	目標設定の考え方	8
3	宇和島市母子保健計画体系図	9
4	母子保健計画の推進体制	10
5	施策の展開	
	基盤課題A	11
	基盤課題B	15
	基盤課題C	22
	基盤課題D	29
	重点課題①	33
	重点課題②	38
6	ライフステージに沿った事業一覧	42
<b>参考資料</b>		
1	第2次計画の目的別指標による評価	43
2	主な人口動態統計	49
3	母子保健事業の概況	51
4	第2次計画評価用アンケート	55
5	用語解説	59

# 第1章 計画策定の基本的方向

## 1 計画策定の趣旨

母子保健は生涯を通じた健康の出発点です。安心して子どもを産み育てられるよう、市や関係機関などが連携し切れ目なく子育てを支援していく必要があります。

当市では平成25年3月に「宇和島市母子保健計画（第2次）」を策定し、母子保健活動を推進してきました。平成29年度は第2次計画策定後5年目の評価年度であり、これまでの取り組みの評価と課題の見直しを行い「母子保健計画（第3次）」を策定しました。

## 2 計画の位置づけ

この計画は市政の基本方針を定めた「宇和島市総合計画」を上位計画としています。安心して妊娠、出産、子育てができるとともに、子どものころから成人期にむけての保健対策も踏まえて策定しています。計画策定にあたっては国の示す「健やか親子21（第2次）」で示された課題や指標も参考にしています。また「宇和島市健康づくり推進計画」「宇和島市食育プラン」「子ども・子育て支援事業計画」等関連計画と整合性、連携を図っていきます。

図：ライフステージから見た各計画との関連

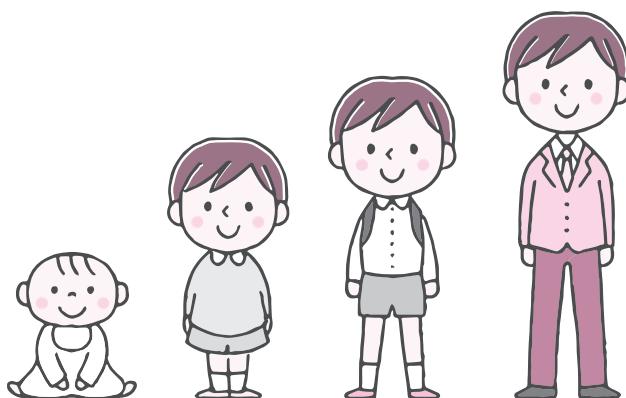
妊娠・乳幼児期	学童・思春期	青年期	壮年期	高齢期		期間
～5歳	6歳～	19歳～	40歳～	65歳～	75歳～	
宇和島市健康づくり推進計画（第2次）						H 25～35
宇和島市食育プラン（第3次）						H 30～35
宇和島市母子保健計画（第3次）						H 31～35

## 3 計画の基本方針

市の総合計画政策目標である「だれもが充実した人生を過ごせる思いやりのまちうわじま」の理念に基づき、「すべての親と子が健やかに暮らせるうわじま」を総合目的に掲げています。

## 4 計画の期間・評価

健やか親子21（第2次）の計画期間に合わせ、第3次計画は平成31年度から35年度までの5年間の計画とします。毎年課題に対する評価を行いP D C Aサイクルを通じて計画を推進していきます。



## 第2章 第2次計画のまとめ

### 1 第2次計画期間の取り組みの概要

目的	目標	取り組みの概要
1 安心して妊娠・出産期を過ごすことができる	1 1日3食バランスのよい食事がとれる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バランスのよい食事についての普及啓発を強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦アンケートをもとに全員に食生活についての助言</li> <li>・高血糖妊婦台帳の作成（確実なフォローと、40歳以降の特定健診受診勧奨）</li> <li>・パパママスクールでの講義と試食体験</li> </ul> </li> </ul>
	2 胎児の歯が形成される妊娠期から口腔ケアへの意識を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歯科保健についての意識向上について           <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦歯科健康診査の公費負担開始（H25年度～）</li> <li>・母子健康手帳交付時に、歯周疾患予防のリーフレットを用いた普及啓発と受診票の交付</li> </ul> </li> </ul>
	3 妊娠・出産に伴う心の変化に柔軟に対応できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●産後うつの早期発見、早期支援の強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>・パパママスクールで産後の心の健康について情報提供</li> <li>・出生届出時に、家族向けリーフレットの配布</li> <li>・赤ちゃん訪問時の産後うつに関するアンケート実施と、必要に応じてパンフレットを使用した具体的支援</li> <li>・医療機関・福祉課との連携（連絡票を活用した継続支援）</li> </ul> </li> <li>●心身ともに親になるための支援           <ul style="list-style-type: none"> <li>・パパママスクールの事業内容の見直し（H27年度に市内各産婦人科を訪問調査）               <ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト「ママになるあなたへ」の改訂</li> <li>自己肯定感を高めるための内容を盛り込んだ事業運営</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>●若年妊婦（18歳以下）の支援の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定妊婦、要フォロー妊婦への支援体制の強化（各関係機関との連絡票を活用した継続支援）</li> </ul> </li> </ul>
	4 妊産婦や同居家族が喫煙の悪影響を知り、たばこの害を防ぐ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●たばこの胎児への悪影響についての知識普及と禁煙推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子健康手帳交付時等にリーフレットを用いた情報提供</li> <li>・禁煙意欲のある妊婦や同居家族に具体的方法や禁煙外来の情報提供</li> <li>・喫煙妊婦への継続支援</li> </ul> </li> </ul>
	5 適正な体重管理ができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●適正な体重管理の支援           <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子健康手帳交付時に、BMIの算出と推奨体重増加量を提示</li> <li>・妊婦一般健康診査の定期受診のすすめ</li> </ul> </li> </ul>



目的	目標	取り組みの概要
2 安心して子育てができる	1 育児の仕方や子どもへの関わり方を学ぶことができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自己肯定感を育むことの大切さについての継続的な啓発           <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児のしおりに自己肯定感を育む子育てについて掲載し、健診・相談時に説明</li> <li>・母親の自己肯定感を育むことの大切さについて説明</li> <li>・出前講座に自己肯定感を育むことや子どもとの関わりについての内容を含め、集団教育を実施</li> <li>・自己肯定感を育む子育ての項目を健診質問票に追加し、自己肯定感を知らない保護者には詳細に説明</li> </ul> </li> </ul>
	2 個々に応じた育児支援を適切な時期に受けることができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●早期の適切な支援実施に向けた取り組みについて           <ul style="list-style-type: none"> <li>・新生児期の赤ちゃん訪問を心がけ、早期からの育児支援を実施</li> <li>・健診後のフォローが確実に行えるよう、連絡が取れる時間帯を健診時に保護者へ確認</li> <li>・タイムリーな相談が受けられるよう、ことばの相談と心理相談を増枠</li> </ul> </li> </ul>
	3 家族やパートナーと協力し合って育児ができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●妊娠期から産後にかけて家族の協力の必要性を周知           <ul style="list-style-type: none"> <li>・産後うつについての家族の理解と協力を得るため、出生後窓口で産後うつに関するリーフレットを配布</li> <li>・パパママスクールにおいて、妊婦および夫が親になる意識を高め、夫婦で協力し合って育児ができるよう育児面を重視した内容に変更</li> </ul> </li> </ul>
	4 育児について相談できる場があり、母親同士の交流や育児仲間との情報交換ができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●相談場所の周知と母親同士が交流できる場の情報提供           <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤ちゃん訪問や健診・相談時に、育児サークル等の情報を提供</li> <li>・もぐもぐ子育て講座において、座談会を設け育児について情報交換できるよう支援</li> <li>・健診・相談時、保護者の気持ちを傾聴し支援できるよう質問票の項目の並び・内容を変更</li> <li>・保護者が気軽に育児の悩み等を相談できるよう、当課連絡先を記載したカードを配布</li> <li>・福祉課と連携し、子育てコーディネーターが健診・相談の場で情報提供を実施</li> </ul> </li> </ul>
	5 保護者や家族・地域住民が虐待についての正しい知識を得て、未然に防ぐことができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●虐待予防の視点を持ち妊娠期から関わり、関係機関と連携した支援を実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦アンケートの内容を見直し、ハイリスク者には妊娠期から継続的な関わりを実施</li> <li>・育児のしおりに、しつけと叱り方の内容を追加し、健診・相談時に保護者へ説明</li> <li>・医療機関との連携がとれるよう「特定妊婦（産婦）等連絡票」を作成</li> <li>・虐待や処遇困難事例に関しては、関係機関と連携し定期的な訪問を実施</li> </ul> </li> </ul>



目的	目標	取り組みの概要
3 子どもが心身ともに健やかに育つ	1 バランスのとれた規則正しい食習慣を身につけることができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 規則正しい食習慣についての普及啓発を強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳幼児期・児童期それぞれに、出前講座で健康教育を実施</li> <li>・ 健診で異常が見られた小学生を対象に個別指導を実施</li> </ul> </li> <li>● 子どもの成長に応じた知識の普及           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 離乳食講座の時期を離乳食開始時期に合わせ、保護者の不安解消に努めた</li> <li>・ 食物アレルギーについての資料を健診等で活用</li> </ul> </li> </ul>
	2 家族が一緒に食卓を囲み楽しく食事をすることができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「共食」の普及啓発           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育児のしおりに「共食」の内容を追加</li> </ul> </li> </ul>
	3 むし歯予防の意識を高め、間食のとり方や正しい歯みがきの仕方を周知します	<ul style="list-style-type: none"> <li>● おやつの選び方、与え方について普及啓発を強化</li> <li>・ 健診等の指導媒体（パネル、机上）を作成して啓発</li> <li>● 歯みがきと仕上げみがきの方法の普及啓発を強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2歳児健康相談時に歯科衛生士による歯科健康教育を実施し、むし歯予防に関する資料を配付</li> </ul> </li> <li>● 歯科医師会等との連携           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報を共有しながら、「こどもムシ歯予防教室」を継続して開催</li> </ul> </li> </ul>
	4 運動や外遊びの大切さがわかり学童期から習慣化できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運動習慣の必要性について周知           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出前講座（児童編）で、生活習慣病予防のための「健康の3本柱」として啓発</li> </ul> </li> </ul>
	5 規則正しい生活習慣を乳幼児から心がけることができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 規則正しい生活習慣についての普及啓発を強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健診等で育児のしおり、リーフレットを活用して啓発</li> <li>・ 乳幼児期・児童期それぞれに、出前講座で健康教育を実施</li> </ul> </li> <li>● 学校保健との連携           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報を共有しながら、学童期からの生活習慣病予防事業を実施</li> </ul> </li> </ul>
	6 心身の健康管理や疾病・事故予防の方法がわかり実践できるよう支援します	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもが自己肯定感を育むための情報を提供           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出前講座（児童編）に「こころの健康」を追加</li> </ul> </li> <li>● 健康管理や疾病・事故予防について周知           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健診等で育児のしおりやリーフレットを活用して啓発</li> <li>・ 病院と連携し、「未熟児等連絡票」で早期からの切れ目のない支援を実施</li> </ul> </li> <li>● 受動喫煙やアルコールの害についての普及啓発           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母子健康手帳交付時や健診等で受動喫煙を説明し、リーフレット（分煙・禁煙）を配布</li> </ul> </li> <li>● 適切な時期に予防接種が受けられるよう、支援を強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早期に赤ちゃん訪問を実施し、母親へ情報提供</li> <li>・ 未接種児、転入児への接種勧奨</li> </ul> </li> </ul>
	7 健康診査等の必要性を保護者が理解し、適切な時期に利用できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健診についての意識を高め受診率の向上を図る           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健診等の未受診児には地区担当保健師が電話で受診勧奨</li> <li>・ 発達が気になる児に対して相談の場を提供（ことばの相談、心理相談）</li> </ul> </li> </ul>
	8 保護者が医療機関の適切な受診の仕方を理解できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 救急時の対応について周知           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「うわじま母子保健連絡会」意見をもとに「うわじま市救急対応マニュアル」を作成して配布</li> <li>・ 健診等で#8000のチラシを配布し、夜間救急の対応方法を周知</li> <li>・ 市内小児科医師による「子育て講演会」を実施</li> </ul> </li> </ul>

目的	目標	取り組みの概要
4 思春期の発達課題を親子で克服する	1 喫煙・飲酒の悪影響を知り、自ら判断し決定できるよう適切な知識・情報が得られる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●喫煙、飲酒の害の情報提供           <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生対象のひとり暮らしサポート講座及び出前講座、文化祭等において啓発</li> </ul> </li> </ul>
	2 適正体重を知り、成長、発達に応じた望ましい食生活ができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食生活等の健康づくりを実践するための方法を具体的に学べる機会の提供           <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生対象のひとり暮らしサポート講座及び文化祭等において啓発</li> </ul> </li> </ul>
	3 母性・父性を豊かにし、自分を含めた人の命を大切にできる心を育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●母性・父性を豊かにし命を育む事業を推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生対象の乳児ふれあい体験の実施校を3校にまで拡充</li> <li>・講座受講後に高校生が実施したことを保護者と共有したり、コミュニケーションをはかれるよう保護者向けのチラシを配布</li> </ul> </li> <li>●子どもの発達段階に応じた教育を推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師と栄養士が「18歳。心とカラダのサポートブック」（「ひとり暮らしサポートブック」改め）を毎年作成</li> <li>・高校3年生にサポートブックを用いたひとり暮らしサポート講座を継続して実施（市内全ての高校から講座の依頼あり）</li> <li>・若年（18歳以下）での妊娠、出産、育児のリスクを周知し、望まない妊娠を避けることができるような性教育の実施と助産師などの外部講師の情報を中学校へ提供</li> </ul> </li> </ul>
	4 自己肯定感を持ち、ありのままの自分を大切にできる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもの自己肯定感を高めるための情報を提供           <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートブックにて心の健康作りや自己肯定感に関する啓発</li> <li>・思春期より早い時期に自己肯定感が育まれるよう、乳幼児健診及び健康作り出前講座等で保護者や児童に向けて啓発</li> </ul> </li> </ul>
	5 思春期の子どもや親の悩みを相談でき、適切な支援が受けられる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもや親の悩みを相談できる場の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期個別相談窓口、サポートのできる機関の周知</li> </ul> </li> <li>●思春期の親の悩みを共有し、話し合える場の提供           <ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期の子を持つ親の集いや学習会等について、小中学校及び自主グループ等へ周知、自主グループへの情報提供</li> </ul> </li> </ul>
5 女性が生涯を通じて健康にいきいきと過ごす	1 健康的な食生活を理解し、実践できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●妊婦一般健康診査の検査値異常者に対する重症化予防対策           <ul style="list-style-type: none"> <li>・高血糖妊婦台帳を作成し、40歳到達時に特定健康診査受診勧奨</li> </ul> </li> <li>●健康教育の周知拡大           <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座の案内を保育所等から子育て支援サークルまで拡大</li> </ul> </li> </ul>
	2 禁煙のために必要な行動がとれる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●効果的な禁煙指導           <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子健康手帳交付時や乳幼児健診時に問診票等を活用し、妊娠中、産後にリーフレットを用いた禁煙指導を実施</li> </ul> </li> </ul>
	3 運動をしたいと思っている人が自分にあった運動を選び、楽しみながら続けることができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運動による健康づくりの推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康マイレージ事業「うわじま歩ポ」を実施し、乳幼児健診等で周知</li> </ul> </li> </ul>
	4 がんの早期発見のための検診を受けることができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受診しやすい検診体制の整備           <ul style="list-style-type: none"> <li>・レディース検診日の設定</li> <li>・子宮体がん検診の開始</li> <li>・子宮体がん検診、乳がんエコー検診の実施日数、定員数の増加</li> <li>・乳がんエコー検診を各支所でも実施</li> <li>・子宮頸がん検診、乳がんエコー検診等で託児対応</li> <li>・子宮頸がん、乳がんクーポン事業の利用促進</li> </ul> </li> </ul>
	5 自分の体の状態を知り、健康レベルに応じた体力作りができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分の体力を知り、運動づくり推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座「体力年齢若返り講座」の実施。体力測定、ロコモティブシンドローム症候群予防の啓発、実技の普及</li> </ul> </li> </ul>
	6 更年期を心身ともに快適に過ごすことができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●相談できる場の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの健康相談内容に「更年期障害など女性特有の健康に関する問題など」を追記し、広報、ちらしで周知</li> <li>・出前講座「はつらつアンチエイジング講座」の実施</li> </ul> </li> </ul>

## 2 指標の評価と課題

### (1) 評価方法

第2次計画の評価のために計画策定時と同様に小学4年生、中学2年生、高校2年生を対象に「生活習慣及び健康に関する子どもの意識調査」、また成人を対象に「意識調査&生活習慣についてのアンケート」を実施しました。

5つの目的ごとに設定した指標のうち、QOL（健康）指標、行動指標について策定時（又は策定時に近い年度）の現状値と評価時の直近値を比較できるものについて評価しました。

（評価指標）

QOL（健康）指標	母子保健が達成すべき、住民が望んでいる健康を中心とした生活の質（QOL）の向上を示した指標
行動指標	QOL（健康）指標を達成するために市民が取り組むべき行動の指標
環境指標	QOL（健康）指標や行動指標の達成を容易にするための条件を表す指標
モニタリング項目	QOL（健康）指標、行動・環境指標に関係しているが、目標値を設定することが適切でないもの

### (2) 指標の達成状況

目的別	指標種別	項目数	細項目数	評価判定区分				
				A	B	C	D	E
目的1 安心して妊娠・出産期を過ごすことができる	QOL指標	7	7	2	0	2	3	0
	行動指標	12	12	3	2	2	5	0
	環境指標	2	2	1	0	0	1	0
	項目小計	21	21	6	2	4	9	0
	%		100.0%	28.6%	9.5%	19.0%	42.9%	0.0%
目的2 安心して子育てができる	QOL指標	5	13	7	0	4	2	0
	行動指標	4	16	4	2	6	4	0
	環境指標	3	3	3	0	0	0	0
	項目小計	12	32	14	2	10	6	0
	%		100.0%	43.8%	6.3%	31.3%	18.8%	0.0%
目的3 子どもが心身ともに健やかに育つことができる	QOL指標	3	10	3	1	5	1	0
	行動指標	28	80	41	8	12	19	0
	環境指標	4	5	5	0	0	0	0
	項目小計	35	95	49	9	17	20	0
	%		100.0%	51.6%	9.5%	17.9%	21.1%	0.0%
目的4 思春期の発達課題を親子で克服することができる	QOL指標	5	12	4	1	4	3	0
	行動指標	5	10	6	0	1	1	2
	環境指標	4	4	3	0	0	1	0
	項目小計	14	26	13	1	5	5	2
	%		100.0%	50.0%	3.8%	19.2%	19.2%	7.7%
目的5 女性が生涯を通じて健康に生き生きと過ごすことができる	QOL指標	7	10	3	2	4	1	0
	行動指標	14	14	7	0	2	5	0
	環境指標	3	3	2	0	0	1	0
	項目小計	24	27	12	2	6	7	0
	%		100.0%	44.4%	7.4%	22.2%	25.9%	0.0%
評価合計		106	201	94	16	42	47	2
%			100.0%	46.8%	8.0%	20.9%	23.4%	1.0%

判定区分	判定基準
A	目標に達した
B	目標に達していないが、改善傾向にある
C	変わらない（増減1.0%以下）
D	悪化している
E	評価困難

※指標の詳細は、P 43～48を参照

評価指標のA、B、Cで75.7%を占めていることから改善傾向にあると言えます。しかし、D（悪化している）が23.4%あります。この評価を踏まえて、3次計画を検討します。E（評価困難）が1.0%ありますが、1次評価が未調査で比較ができない2項目のみでした。1次計画の評価の際はEが11.2%だったので、評価困難が大幅に減りました。

### (3) 目的別指標の評価と課題

#### 目的1 安心して妊娠・出産期を過ごすことができる

A・Bの項目で38.1%ですが、Dが42.9%と高率であるため、継続した取り組みが必要です。産後うつのリスクの高い人の割合は減少しましたが、妊娠・出産・育児に関して不安のある妊婦の割合が増加しています。また、血糖値の高い妊婦、朝食を欠食している妊婦、1日3食食べている産婦の割合などが悪化しており、食生活の改善は今後とも続く課題です。

#### 目的2 安心して子育てができる

A・Bの項目で50.1%に達しており、改善傾向にあります。各母子保健事業において保護者の気持ちに寄り添う支援や自己肯定感を育む取り組みが課題です。

#### 目的3 子どもが心身ともに健やかに育つことができる

A・Bの項目で61.1%に達しており、改善傾向にありますが、Dが21.1%あります。特に、生活リズムや欠食、食事バランスの偏りなどの、食の課題にD評価項目が目立っているため、より一層の取り組みが課題です。

#### 目的4 思春期の発達課題を親子で克服することができる

A・Bの項目で53.8%に達しており、改善傾向にあります。しかし、「自分のことを好きだと思う」生徒の割合が減少している学年があることや、「命を大切だと思わない」生徒の割合が増加していることから、今後も学校保健と連携した命の教育が課題です。

#### 目的5 女性が生涯を通じて健康に生き生きと過ごすことができる

A・Bの項目で51.8%に達していますが、Dも25.9%ある状況です。特に、多量飲酒、夕食後の間食、肥満者の割合などの、食の課題にD項目が目立っているため、より一層の取り組みが課題です。

### (4) 3次計画の目的と評価指標

第2次計画の総合目的を継承しつつ、健やか親子21（第2次）で示された課題や指標も参考に計画を推進します。

3次計画では4つの基盤課題、2つの重点課題ごとに目的を明らかにし、6つの目的に沿った指標になるようにし、目標値を設定します。

2次計画の目的5については、健康づくり推進計画（第2次）との重複が大きいため、3次計画には含めないこととし、健康づくり推進計画を元に取り組むこととしました。



## 第3章 第3次計画における健康課題と対策

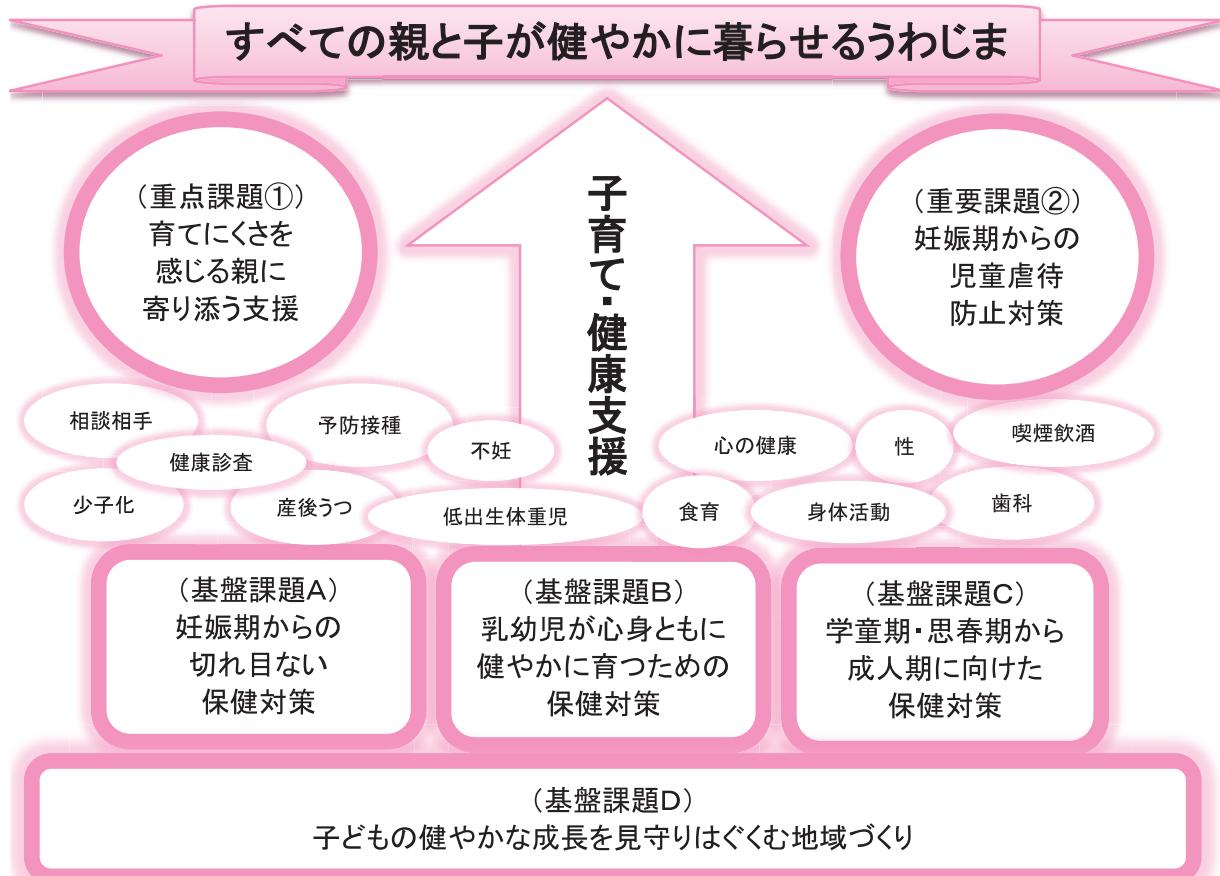
### 1 主要課題

本計画の総合目的である「すべての親と子が健やかに暮らせるうわじま」を実現するために以下の4つの「基盤課題」と2つの「重点課題」を設定しました。

- |       |                         |
|-------|-------------------------|
| 基盤課題A | 妊娠期からの切れ目ない保健対策         |
| 基盤課題B | 乳幼児が心身ともに健やかに育つための保健対策  |
| 基盤課題C | 学童期・思春期から成人期に向けた保健対策    |
| 基盤課題D | 子どもの健やかな成長を見守りはぐくむ地域づくり |
| 重点課題① | 育てにくさを感じる親に寄り添う支援       |
| 重点課題② | 妊娠期からの児童虐待防止対策          |

基盤課題A、B、Cはライフステージごとの課題に分かれています。基盤課題Dはそれらの課題を広く下支えする環境づくりを目指すための課題として設定しています。

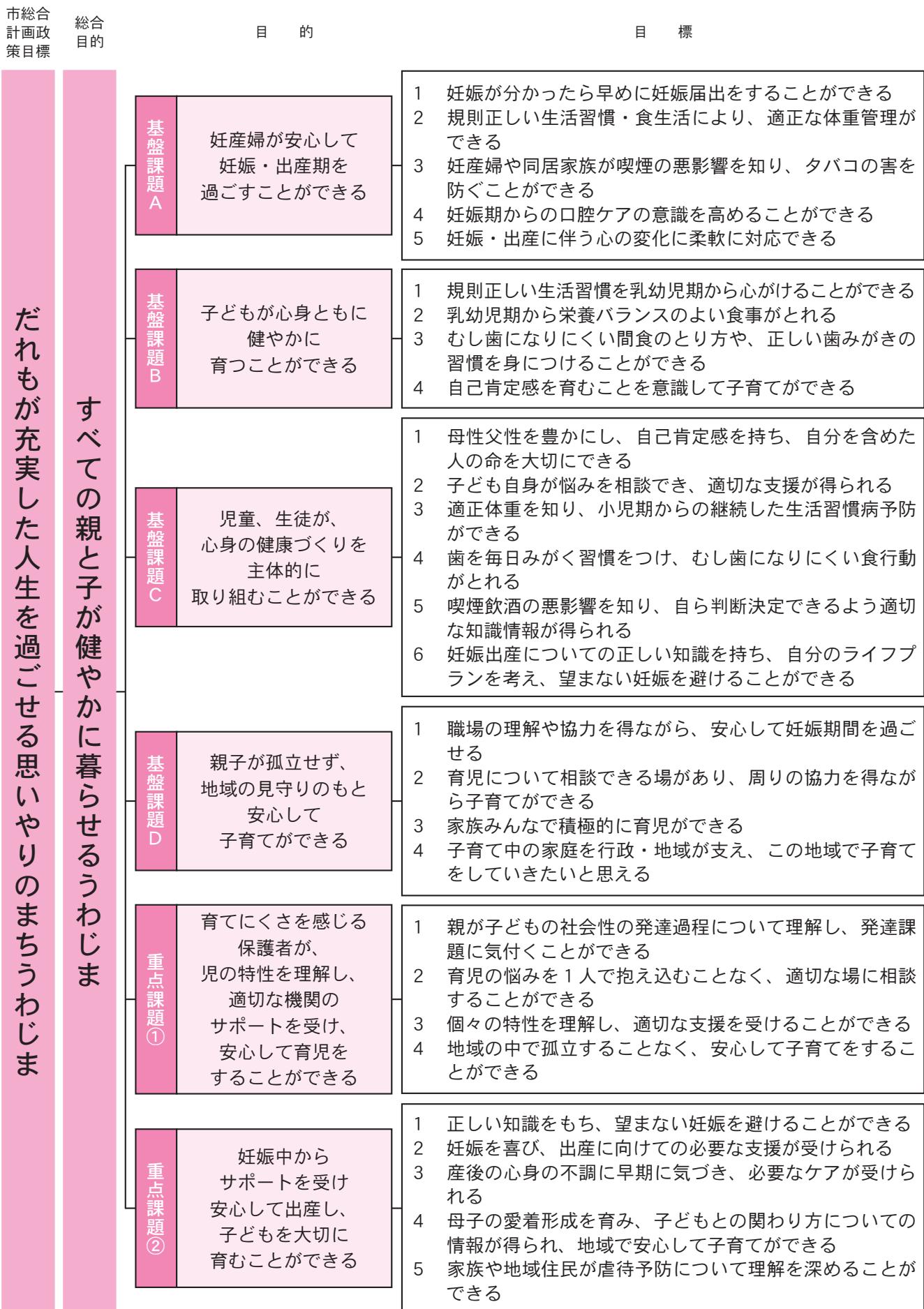
また、重点課題は基盤課題A～Dでの取り組みの中で特に重点的に取り組む必要があるものとして設定しています。



### 2 目標設定の考え方

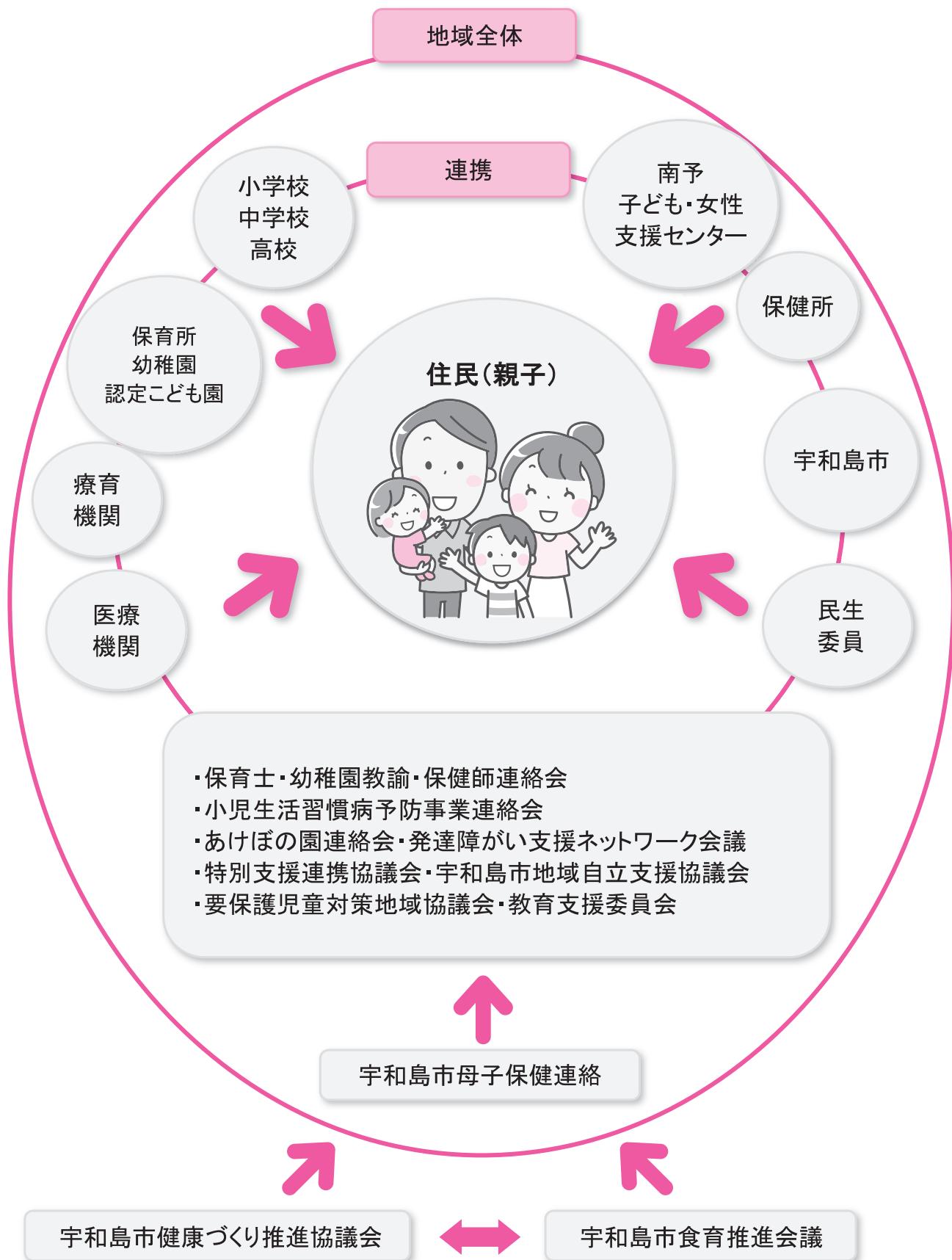
主要課題の解決に向けた「目指すべき姿（目的）」を描き、当市の主要課題に対する目標を設定しました。取り組みの方向を「市民自らの取り組み」と市が行う「市民を支える取り組み」に整理し、取り組みの達成度を評価するため、それぞれに評価指標を設定しています。

### 3 宇和島市母子保健計画体系図



## 4 母子保健計画の推進体制

行政をはじめとした保健、医療、福祉、教育等の関係機関が互いに連携、協力しながら「すべての親と子が健やかに暮らせるうわじま」づくりを目指していきます。

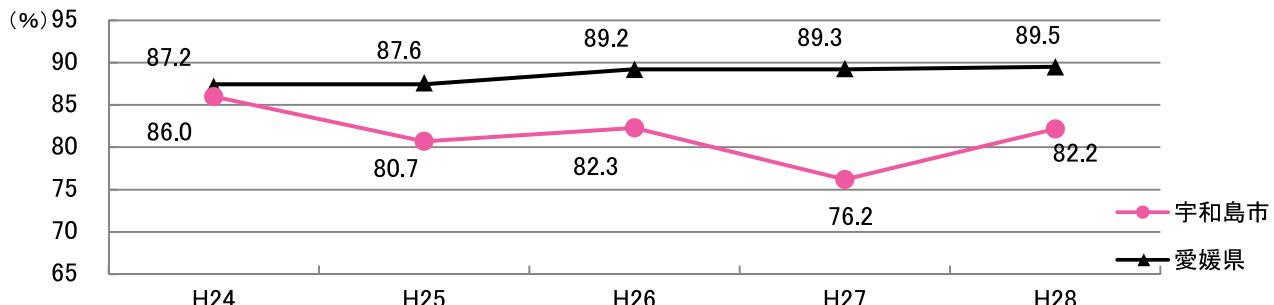


## 5 施策の展開

### 基盤課題A 妊娠期からの切れ目ない保健対策

#### 現 状

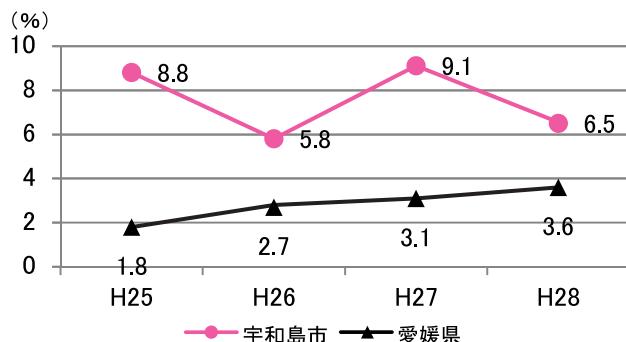
図1 妊娠11週以内での妊娠届出率



・妊娠11週以内での妊娠届率は、県平均と比べ、宇和島は低い状況です。

(母子保健報告)

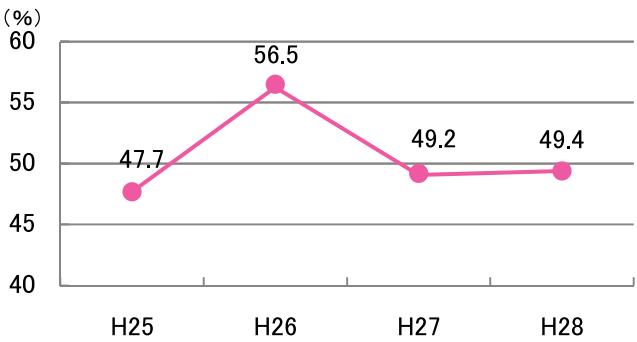
図2 血糖値が高い妊婦の割合



(妊婦一般健康診査結果)

- ・年度によりばらつきはあるものの、毎年5%以上と県よりも高い状況です。
- ・毎年95%以上の人が間食している中で、内容はお菓子が大半を占めています。(パパママスクールアンケート)

図3 妊婦の貧血の割合



(妊婦アンケート)

- ・貧血のある妊婦は、毎年5割程度です。

表1

妊婦の朝食欠食率	H25年度	H28年度
	7.5%	15% (うち妊娠前から 53.6%)

(妊婦アンケート)

- ・朝食の欠食率が増加しています。

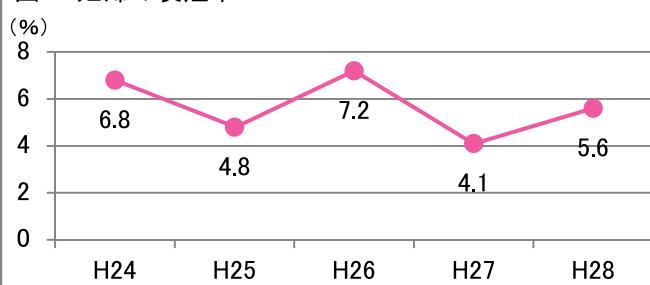
表2

妊娠中 7 ~ 12kg体重増加した妊婦の割合	H25年度	H28年度
	60.8%	60.5%

(赤ちゃん訪問アンケート)

- ・4割近くの人が適正な体重管理ができていません。

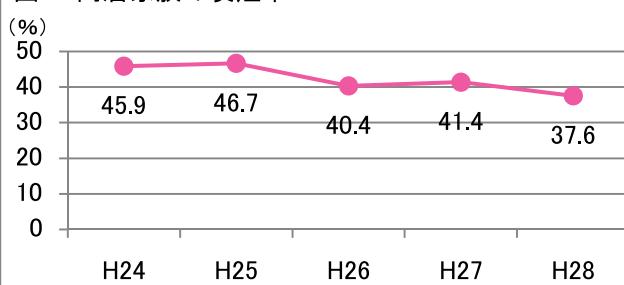
図4 妊婦の喫煙率



- ・毎年4~7%の妊婦が喫煙しています。

(妊婦アンケート)

図5 同居家族の喫煙率



- ・同居家族の喫煙率は減少傾向です。

(妊婦アンケート)

図6 妊婦歯科健康診査受診率

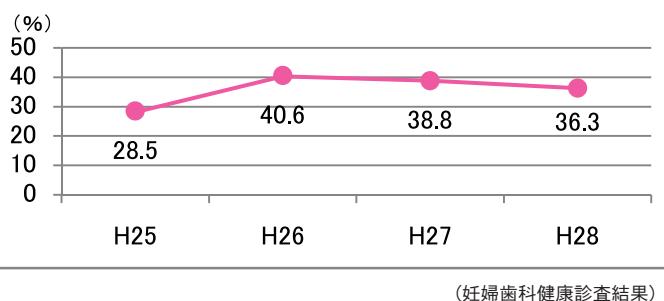
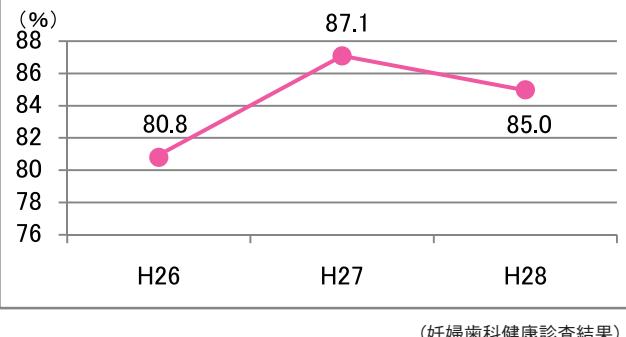
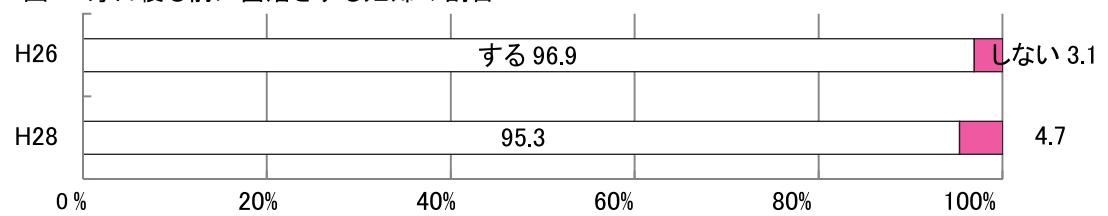


図7 妊婦歯科健康診査有所見率



- ・妊婦歯科健康診査を受ける妊婦は、約4割弱です。
- ・妊婦の8割以上に有所見がみられます。
- ・有所見内訳（H28年度）は、歯石除去が一番多く56.3%でした。
- ・歯周・う歯治療は合わせて47.8%であり、治療を必要とする妊婦が多い状況です。

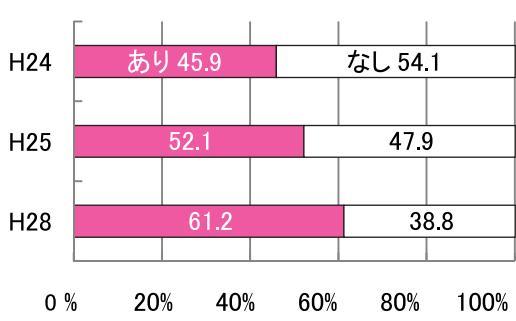
図8 毎日寝る前に歯磨きする妊婦の割合



- ・毎日寝る前の歯磨きをする妊婦が減少しています。

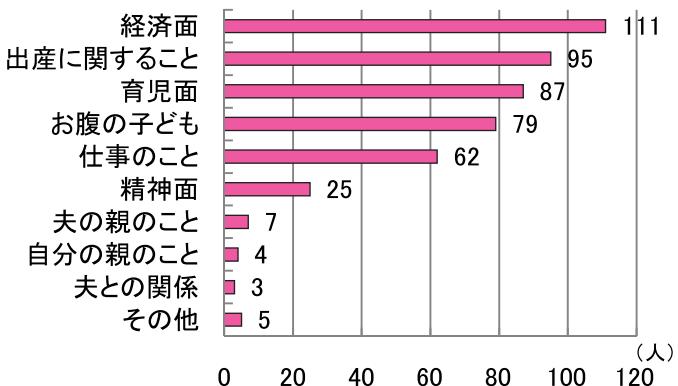
(妊婦アンケート)

図9 妊娠・出産について不安のある妊婦の割合



(妊婦アンケート)

図10 不安の内容(複数回答)



(H28年度妊婦アンケート)

- ・不安のある妊婦は増加しています。
- ・不安の内容は、経済面が多くなっています。
- ・産後うつのリスクが高い産婦が、毎年20%前後います。（赤ちゃん訪問アンケート）

## 問題点

- 1 妊娠11週以内での妊娠届出率が82.2%で県平均より低い
- 2 血糖値の高い妊婦の割合が増加している
- 3 妊娠中に望ましい食生活ができていない
- 4 喫煙している妊婦が5.6%、同居家族の喫煙は37.6%である
- 5 妊婦歯科健康診査を受ける妊婦が少ない
- 6 不安のある妊婦が多い

## 目標と取組み

### 目的

妊産婦が安心して妊娠・出産期を過ごすことができる



### 目標

- 1 妊娠が分かったら早めに妊娠届出をすることができる
- 2 規則正しい生活習慣・食生活により、適正な体重管理ができる
- 3 妊産婦や同居家族が喫煙の悪影響を知り、タバコの害を防ぐことができる
- 4 妊娠期からの口腔ケアの意識を高めることができる
- 5 妊娠・出産に伴う心の変化に柔軟に対応できる



### 市民自らの取り組み

- 1 妊娠が分かったら、早めに妊娠届出をし、定期的に妊婦健康診査を受けましょう。
- 2 1日3食、主食・主菜・副菜をそろえてバランスよく食べましょう。
- 3 タバコを吸っている人は禁煙しましょう。
- 4 妊婦歯科健康診査を受けましょう。
- 5 妊産婦相談・両親学級に参加して、不安の軽減を図りましょう。



### 市民を支える取り組み

- 1 早めに妊娠届出をしてもらうよう啓発し、定期的に妊婦健康診査を受けられるよう支援します。
  - ・産婦人科と連携していきます。
- 2 規則正しい生活習慣・食生活により、適正な体重管理ができるよう支援します。
  - 1) バランスのよい食事についての普及啓発を強化します。
    - ・両親学級で正しい食事習慣や食事バランスについての意識づけをします。
    - ・母子健康手帳交付時に配布しているリーフレットなどを用いて食生活について助言します。
  - 2) 妊娠中に適正な体重管理ができるように支援します。
- 3 タバコの胎児への影響についての知識を普及し、禁煙を推進します。
  - 1) 煙意欲のある人への個別支援を充実します。
    - ・母子健康手帳交付時に、禁煙リーフレットを配布し、禁煙外来等の情報提供をします。
  - 2) 受動喫煙の害について、継続して普及啓発をします。
    - ・妊娠期以降も、妊産婦及び同居家族が禁煙を継続できるよう支援します。
- 4 妊娠期からの口腔ケアの意識が高まるよう、歯科保健を推進します。
  - 1) 歯科保健についての意識を高めます。
    - ・妊婦歯科健診の受診をすすめます。
    - ・妊娠期の口腔ケアは子どものために重要であることをリーフレットを用いて説明します。
    - ・家族ぐるみで取り組めるよう、両親学級での普及啓発をします。
- 5 妊娠・出産に伴う心の変化に柔軟に対応できるよう支援します。
  - 1) 心身ともに親になるための支援を行います。
    - ・母親及び夫婦が自己肯定感を高め、育児ができるよう両親学級を充実させます。
  - 2) 母親の不安の軽減に努めます。
    - ・母子健康手帳交付時の面接で保健師・助産師・栄養士が対応します。

## 評価指標

指標の種類	項目	現状値 (H28年度)	目標値 (H35年度)	把握方法
QOL (健康指標)	周産期死亡 (妊娠満22週以後死産+早期新生児死亡)	H26 3.6(2人)	0%	⑩
	妊娠・出産・育児に関して不安がある妊婦の割合	61.2%	40.0%	②
	低出生体重児の割合 (内訳)	H26 9.0%(49人)	5.0%	⑩
		H26 0.7%(4人)	0.4%	⑩
	妊婦一般健康診査の結果貧血妊婦の割合	49.4%	40.0%	⑨
	妊婦一般健康診査の結果血糖値の高い妊婦の割合	6.5%	4.0%	⑨
行動指標	妊娠11週以内での妊娠届出率	82.2%	90.0%	⑨
	妊婦一般健康診査受診率(A券1回)	97.7%	99.0%	⑨
	定期的に妊婦健診を受診している妊婦の割合	98.3%	100%	④
	妊娠中の喫煙率	5.6%	3.0%	②
	妊娠中の同居家族の喫煙率	37.6%	30.0%	②
	妊娠中の飲酒率	2.2%	0%	②
	妊娠中7~12kg体重増加した妊婦の割合	60.5%	70.0%	④
	毎日寝る前に歯磨きをしている妊婦の割合	95.3%	99.0%	②
	毎日寝る前に歯磨きをしている産婦の割合	97.3%	99.0%	④
	妊娠期に歯科検診を受けた妊婦の割合	36.3%	50.0%	⑨
	朝食を欠食している妊婦の割合	15.0%	5.0%	②
	1日3食食べている産婦の割合	77.9%	90.0%	④
指環境	産婦人科の病院・診療所数	4件	—	産婦人科医会HP

### 把握方法（出典・調査）

①	妊娠届出書	⑥	食習慣等質問票
②	妊婦アンケート	⑦	小児生活習慣病予防健診
③	妊婦一般健診受診票	⑧	生活習慣及び健康に関する意識調査(H29年度)
④	赤ちゃん訪問アンケート	⑨	事業実績
⑤	健診・相談質問票	⑩	人口動態調査(えひめの衛生統計)

## 基盤課題B 乳幼児が心身ともに健やかに育つための保健対策

### 現 状

図1 就寝時間(3歳児)

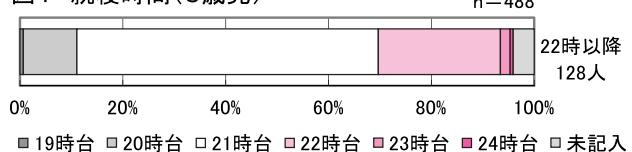
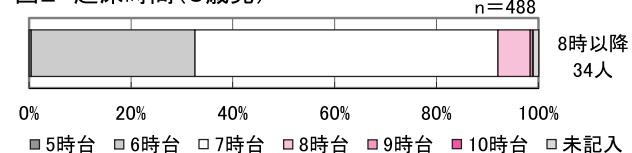


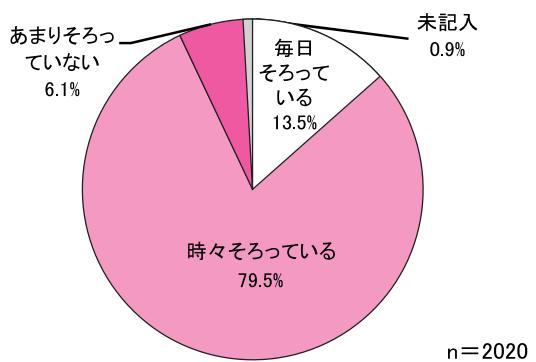
図2 起床時間(3歳児)



(H28年度健診質問票)

- 3歳において、就寝が遅くなる（22時以降）児が3割弱見られます。また、起床が遅くなる（8時以降）児も1割弱見られます。

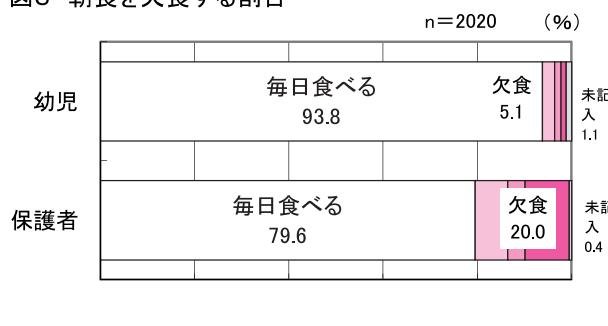
図4 朝食は「主食」「主菜」「副菜」がそろっているか



(H29年生活習慣及び健康に関する意識調査)

- 朝食を毎日栄養バランスよく食べている家庭は、1割強と少ない状況です。

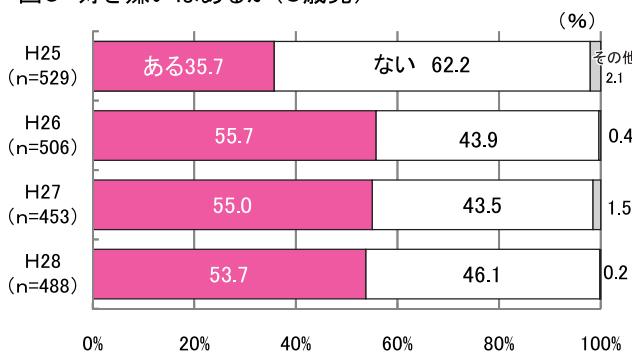
図3 朝食を欠食する割合



(H29年生活習慣及び健康に関する意識調査)

- 朝食を欠食する児は5%です。また、保護者は約2割が欠食しています。

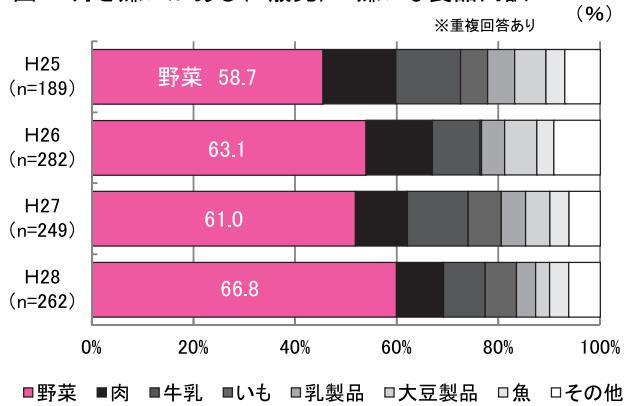
図5 好き嫌いはあるか(3歳児)



(健診質問票)

- 好き嫌いがある3歳児の割合は、近年5割以上に増加しています。

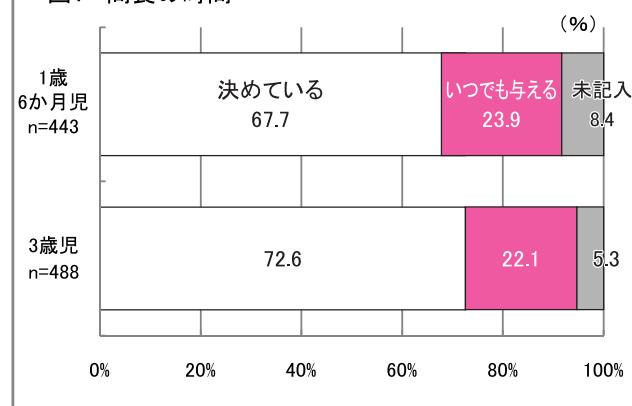
図6 好き嫌いがある(3歳児)一嫌いな食品内訳



(健診質問票)

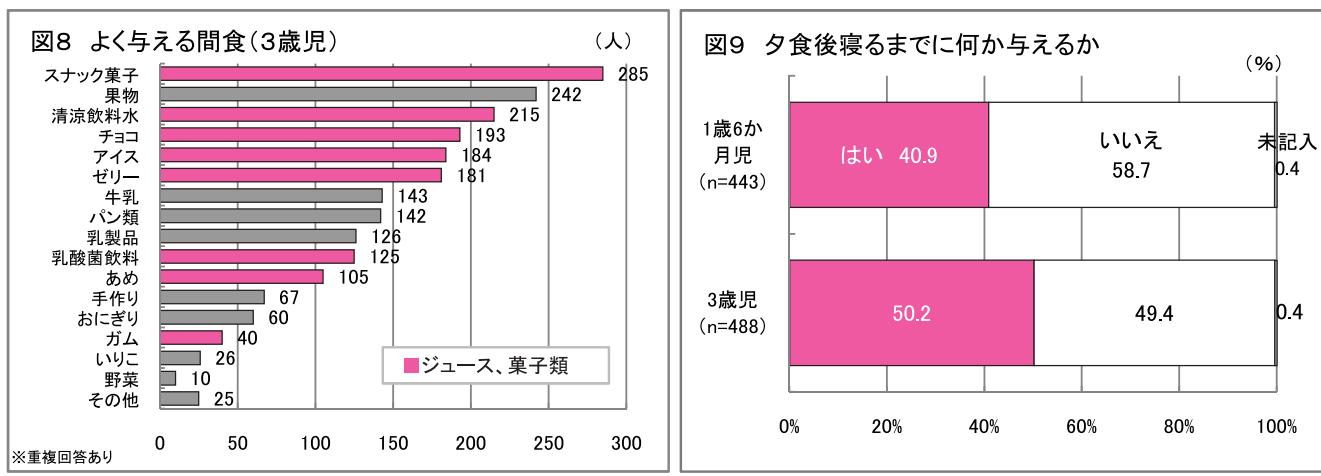
- 嫌いな食品は野菜の割合が一番高く、近年さらに増加傾向です。

図7 間食の時間

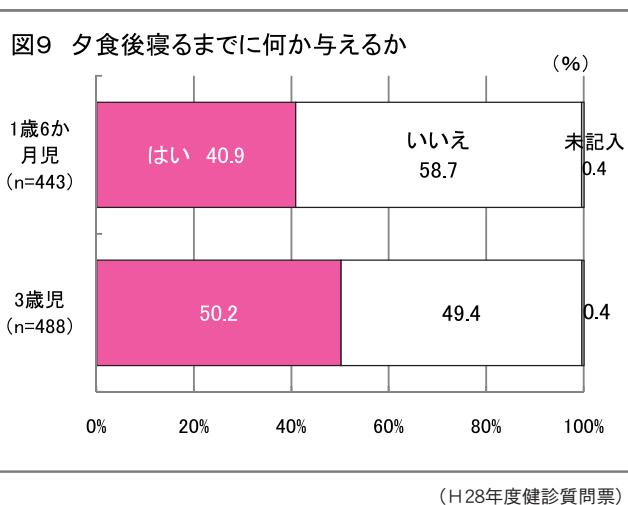


(H28年度健診質問票)

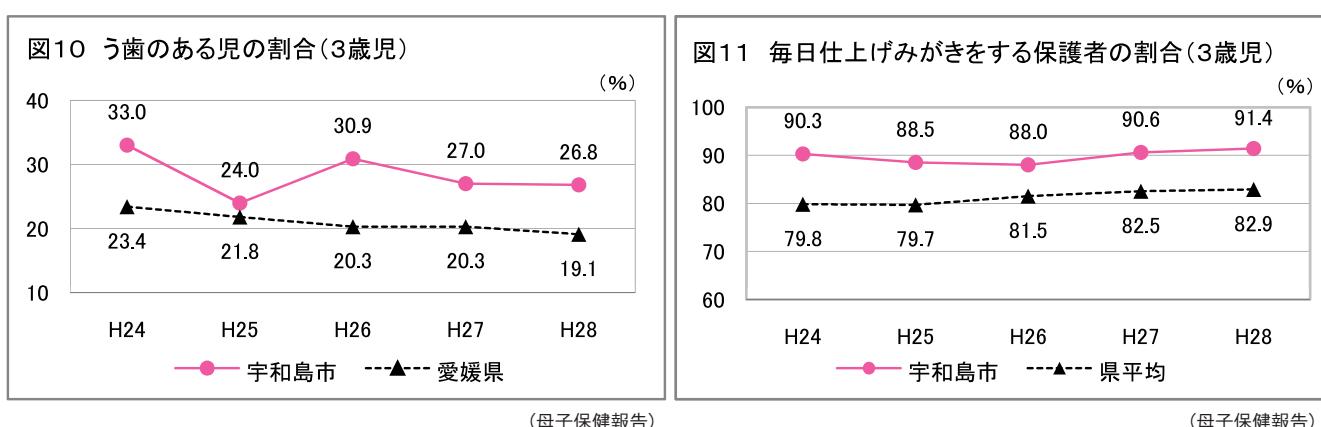
- 低年齢の時期から、欲しいときにいつでもおやつを与える保護者が2割程度見られます。



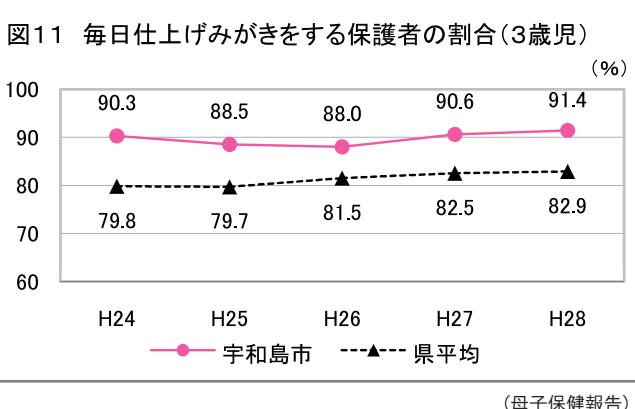
- 3歳児において、間食としてよく与えるのはスナック菓子が1位です。また、全体にジュースや菓子類を与えることが多い様子です。



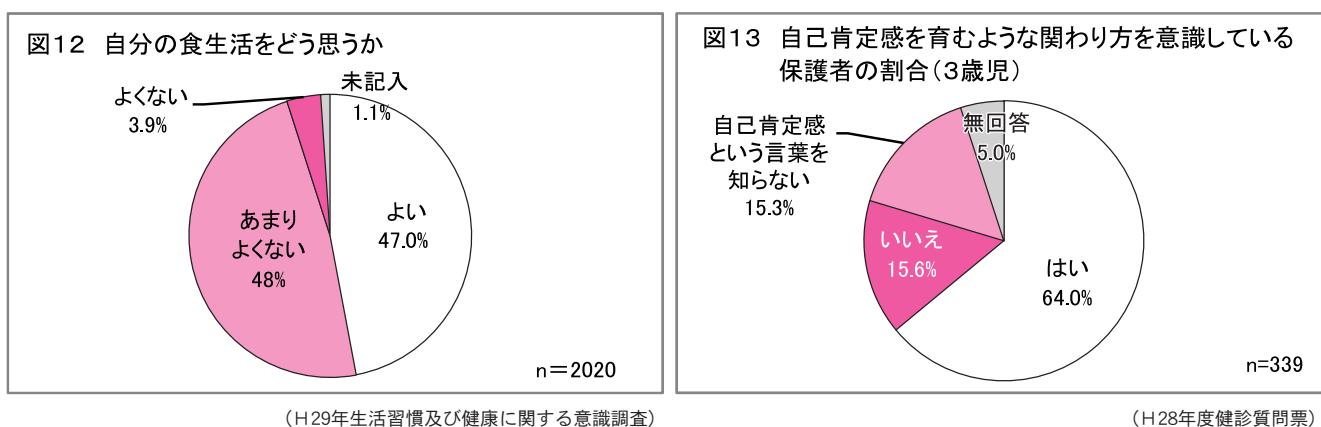
- 夕食後寝るまでに飲食する児が4割以上見られ、年齢と共に増加しています。



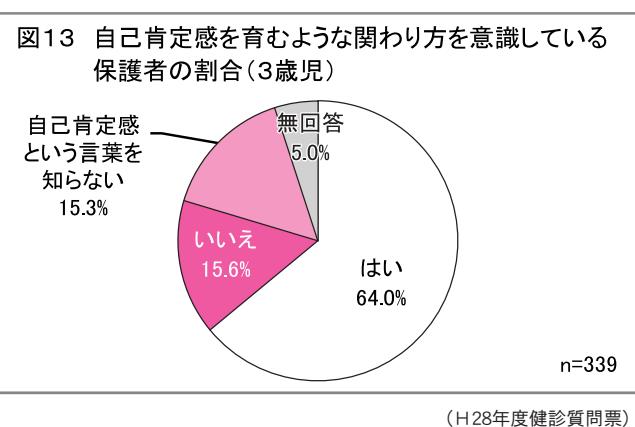
- H28年度3歳児健診のう歯保有率は、県内で5番目に高いです。また、1人平均う歯数も0.98本と県内で2番目に多い状況です。



- 毎日仕上げみがきをする保護者は近年9割以上を維持し、むし歯予防への意識は高まっています。



- 幼児保護者の5割以上が、現在の食生活をよくないと感じています。



- 自己肯定感を育む関わり方を意識していない保護者が2割弱います。また、自己肯定感という言葉を知らない保護者も1割強います。

## 問題点

- 乳幼児期から生活リズムに乱れがある
- 乳幼児期に望ましい食生活ができていない
- 歯みがきは習慣化してきているが、3歳児のう歯のある割合は高い
- 自己肯定感を育むような関わり方を意識していない（知らない）保護者が3割強いる

「自己肯定感」とは、欠点や弱点もある不完全な自分をあるがままに受け入れ、私はここにいていいんだ、生きていいんだと大切に思える気持ちのことで、この感覚が低いと、高い子どもに比べて気分が落ち込みやすく、積極性が低い傾向にあると言われています。

## 目標と取組み

### 目的

子どもが心身ともに健やかに育つことができる



### 目標

- 1 規則正しい生活習慣を乳幼児期から心がけることができる
- 2 乳幼児期から栄養バランスのよい食事がとれる
- 3 むし歯になりにくい間食のとり方や、正しい歯みがきの習慣を身につけることができる
- 4 自己肯定感を育むことを意識して子育てができる



### 市民自らの取り組み

- 1 「早寝・早起き・朝ごはん」を実践しましょう。
- 2 1)「主食・主菜・副菜」をそろえて栄養バランスよく食べましょう。  
2) 野菜をしっかり食べましょう。
- 3 1) まずは子どもの虫歯予防に关心を持ち、食べたらみがくを習慣化しましょう。  
2) 子どもの歯みがきの確認や、仕上げみがきをしましょう。  
3) おやつを吃るのは、適切な時間に適切な量としましょう。  
4) 定期的に乳幼児健診や歯科健診を受けましょう。
- 4 愛情を持った声かけやスキンシップを大切にしましょう。



### 市民を支える取り組み

- 1 子どもの成長発達に応じた、規則正しい生活習慣を支援します。
  - 1) 各母子保健事業で、子どもの成長発達に応じた望ましい生活習慣について情報提供します。
  - 2) 子育て講座や出前講座等で、健全な生活習慣について情報提供します。
- 2 子どもの成長発達に応じた、栄養バランスのよい食生活（野菜摂取）を支援します。
  - 1) 各母子保健事業で、子どもの成長発達に応じた栄養バランス及び野菜摂取について情報提供します。
  - 2) 子育て講座や出前講座等で、栄養バランスのよい食生活及び野菜摂取について情報提供します。
  - 3) 栄養成分表示等の活用方法を普及し、健全な食生活を啓発します。
- 3 むし歯予防の意識を高め、間食のとり方や正しい歯みがきの仕方を周知します。
  - 1) 3歳までの歯科健診を1年ごとに実施し、むし歯の多い原因を分析、それに応じた対策を検討し、むし歯の予防・早期発見に努めます。
  - 2) 子ども自身の歯磨きや仕上げ磨きの方法を健診及び保育所、幼稚園、認定子ども園等と連携した講座等にて関心を持って取り組むよう普及啓発します。
  - 3) おやつの選び方、与え方（時間、量など）について普及啓発します。
- 4 自己肯定感を育む子育てを支援します。
  - 1) 自己肯定感の言葉の意味や自己肯定感を育む関わり方について、各母子保健事業で保護者の気持ちに寄り添いつつ、普及啓発します。
  - 2) 育児負担・不安を感じる親に寄り添い、支援します。

## 評価指標

指標の種類	項目	現状値(H28年度)	目標値(H35年度)	把握方法
QOL (健康指標)	肥満者の割合	3歳児健診男子	0.4%	0.2%
		3歳児健診女子	2.2%	1.0%
	むし歯の無い児の割合	3歳児健診	73.0%	80.0%
	3歳児健診における一人平均う歯数		0.99本	0.6本
	育児が楽しいと感じている保護者の割合	8か月児相談	99.0%	99.0%
		1歳6か月児健診	98.2%	99.0%
		2歳児相談	98.3%	99.0%
		3歳児健診	98.8%	99.0%
行動指標	しつけについて不安がある保護者の割合	5歳児健診	29.2%	25.0%
	3か月児健診時に母乳育児をしている保護者の割合		92.3%	95.0%
	7～8か月児に甘い飲料やお菓子を与えている保護者の割合	乳酸菌飲料	4.6%	2.0%
		清涼飲料	18.4%	10.0%
		ボーグ	35.4%	30.0%
		せんべい	46.0%	40.0%
	食事を作ることに興味のある保護者の割合	8か月児相談	H26 54.6%	60.0%
		1歳6か月児健診	40.2%	50.0%
		3歳児健診	41.8%	50.0%
	朝食を欠食する割合	1歳6か月児	5.6%	3.0%
		1歳6か月児保護者	23.7%	18.0%
		3歳児	8.8%	5.0%
		3歳児保護者	16.8%	10.0%
		幼児	5.1%	3.0%
		保護者	20.0%	15.0%
朝食で主食・主菜・副菜のそろった食事をしている割合 ※「毎日そろっている」割合	1歳6か月児健診	34.3%	45.0%	⑥
	3歳児健診	35.2%	45.0%	⑥
	保護者 ※家庭の状況	13.5%	20.0%	⑧
	間食時間を決めている児の割合	1歳6か月児健診	67.7%	75.0%
		3歳児健診	72.5%	80.0%

指標の種類	項目	現状値(H28年度)	目標値(H35年度)	把握方法
行動指標	間食の量を決めている児の割合	1歳6か月児健診	76.5%	80.0%
		3歳児健診	79.3%	85.0%
	夕食後寝るまでに何か食べる児の割合	1歳6か月児健診	40.9%	30.0%
		3歳児健診	50.2%	40.0%
	スナック菓子やジュースをおやつによく食べる児の割合	1歳6か月児健診 ジュース	34.3%	28.0%
		1歳6か月児健診 スナック菓子	60.0%	55.0%
		3歳児健診 ジュース	39.1%	33.0%
		3歳児健診 スナック菓子	58.4%	52.0%
	野菜が嫌いな児の割合	1歳6か月児健診	25.1%	20.0%
		3歳児健診	35.9%	30.0%
	落ち着いて食事をしない児の割合	1歳6か月児健診	44.0%	40.0%
		3歳児健診	51.6%	46.0%
	よく噛んで食べることができる児の割合	3歳児健診	76.2%	80.0%
		5歳児健康状態調べ	91.5%	95.0%
	朝8時以降に起床する児の割合	1歳6か月児健診	14.4%	10.0%
		3歳児健診	7.0%	5.0%
		5歳児健診	5.2%	3.0%
	夜10時以降に就寝する児の割合	1歳6か月児健診	19.0%	10.0%
		3歳児健診	26.2%	10.0%
		5歳児健診	20.5%	10.0%
	テレビやゲームを1日2時間以上視聴している児の割合	1歳6か月児健診	34.4%	25.0%
		2歳児健康相談	37.1%	30.0%
		3歳児健診	42.6%	35.0%
		5歳児健診	43.8%	35.0%
	毎日家族が仕上げ磨きをしている児の割合	1歳6か月児健診	88.7%	100%
		3歳児健診	91.4%	100%
		5歳児健康状態調べ	69.9%	100%

指標の種類	項目	現状値(H28年度)	目標値(H35年度)	把握方法
行動指標	毎日本人が寝る前の歯みがきをしている児の割合	1歳6か月児健診	77.1%	80.0%
		3歳児健診	84.4%	90.0%
		5歳児健康状態調べ	75.7%	80.0%
	子どもとよく遊ぶ保護者の割合	1歳6か月児健診	98.4%	100%
		2歳児健康相談	96.9%	100%
		3歳児健診	97.1%	100%
	自己肯定感を育むような関わり方を意識している保護者の割合	3歳児健診	64.0%	70.0%
	自己肯定感という言葉を知らない保護者の割合	3歳児健診	15.3%	10.0%
	子どもの事故防止に注意している保護者の割合	3ヶ月児健診	99.1%	100%
		8ヶ月児相談	98.3%	100%
		1歳6ヶ月児健診	98.2%	100%
		2歳児健康相談	99.8%	100%
		3歳児健診	96.1%	100%
		5歳児健診	98.0%	100%
もぐもぐ子育て講座受講率	総数	36.3%	40.0%	⑨
	第1子	62.0%	70.0%	
乳児一般健康診査受診率	3～6ヶ月	75.5%	80.0%	⑨
	9～11ヶ月	69.6%	75.0%	
健康診査受診率	3ヶ月児健診	99.3%	100%	⑨
	1歳6ヶ月児健診	95.5%	97.0%	
	3歳児健診	94.9%	97.0%	
1歳6ヶ月児健診時予防接種実施率	四混Ⅰ期初回接種率	96.8%	99.0%	⑨
	M R 接種率	86.0%	95.0%	
定期接種期間にBCG接種をしている児の割合		97.1%	99.0%	⑨
緊急時の対応 (育児のしおり、#8000、休日当番医)を知っている保護者の割合	8ヶ月児相談	95.7%	100%	⑤
	1歳6ヶ月児健診	98.4%	100%	
	3歳児健診	96.5%	100%	

指標の種類	項目	現状値(H28年度)	目標値(H35年度)	把握方法
行動指標	かかりつけ医（小児科）を持っている児の割合	3か月児健診	82.3%	90.0%
		1歳6か月児健診	90.5%	95.0%
		3歳児健診	87.7%	95.0%
		5歳児健康状態調べ	79.8%	85.0%
環境指標	乳幼児相談実施回数	48回	現状維持	⑨
	育児学級実施回数	36回	現状維持	⑨
	う歯予防教育の実施回数	54回	現状維持	⑨
	小児科の病院・診療所数	7カ所	—	小児科 医師会HP

#### 把握方法（出典・調査）

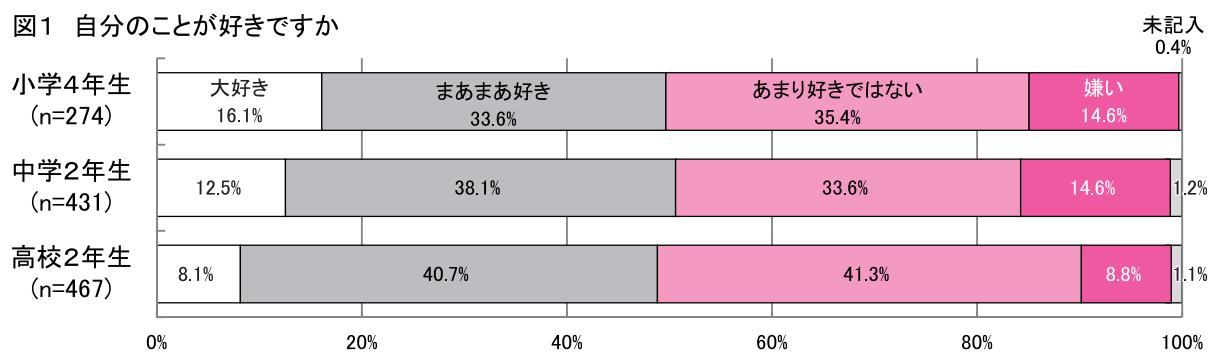
① 妊娠届出書	⑥ 食習慣等質問票
② 妊婦アンケート	⑦ 小児生活習慣病予防健診
③ 妊婦一般健診受診票	⑧ 生活習慣及び健康に関する意識調査（H29年度）
④ 赤ちゃん訪問アンケート	⑨ 事業実績
⑤ 健診・相談質問票	⑩ 人口動態調査（えひめの衛生統計）



## 基盤課題C 学童期・思春期から成人期に向けた保健対策

### 現 状

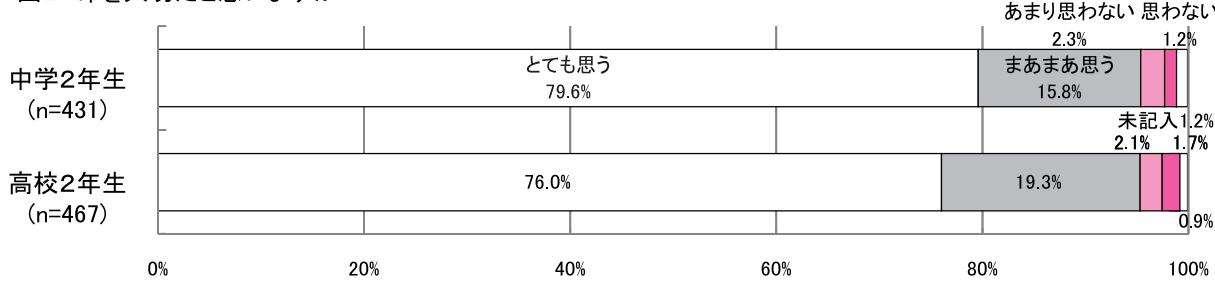
図1 自分のことが好きですか



・自分のことがあまり好きではない、嫌いな子がいます。

(H29年度生活習慣及び健康に関する意識調査)

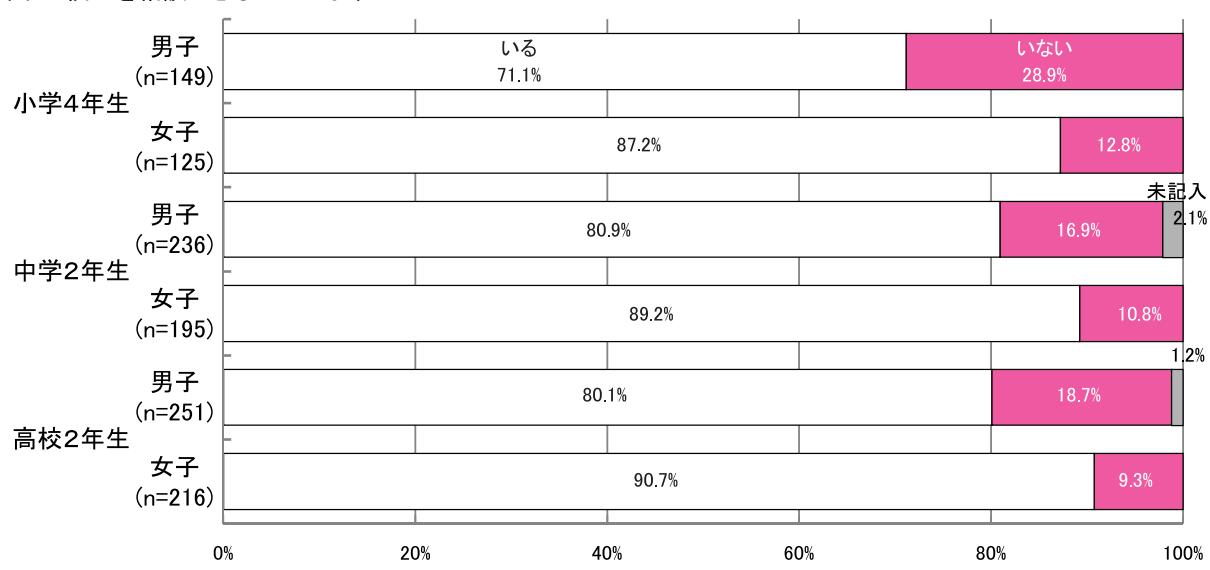
図2 命を大切だと思いますか



・中高生で命を大切だと思わない子がいます。

(H29年度生活習慣及び健康に関する意識調査)

図3 悩みを相談できる人がいますか



・相談相手のいない子がいます。女子より男子の方が多くあります。

(H29年度生活習慣及び健康に関する意識調査)

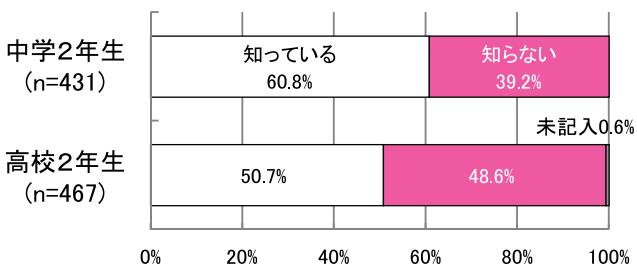
表1 思春期の個別相談・親の集い

		H24	H28
個別相談	回数	8回	8回
	相談者数(実)	22人	19人
親の集い	回数	10回	10回
	相談者数(実)	8人	11人

(事業実績)

・相談者は減ることはありません。  
相談の場が求められています。

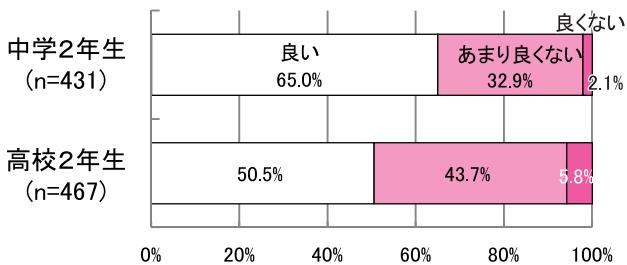
図4 自分の適正体重を知っていますか



(H29年度生活習慣及び健康に関する意識調査)

- ・自分の適正体重を知らない子がいます。

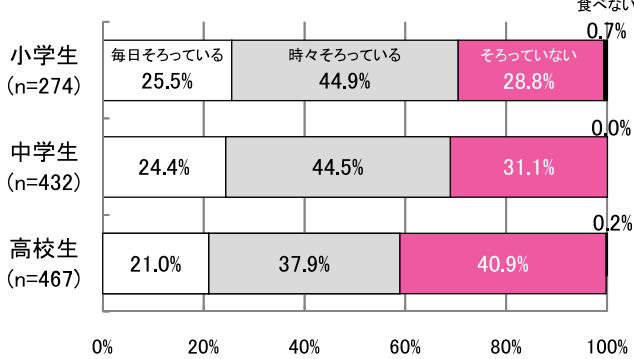
図5 自分の現在の食生活(食事)をどのように思いますか



(H29年度生活習慣及び健康に関する意識調査)

- ・自分の現在の食生活をあまり良くない、良くないと感じている子がいます。

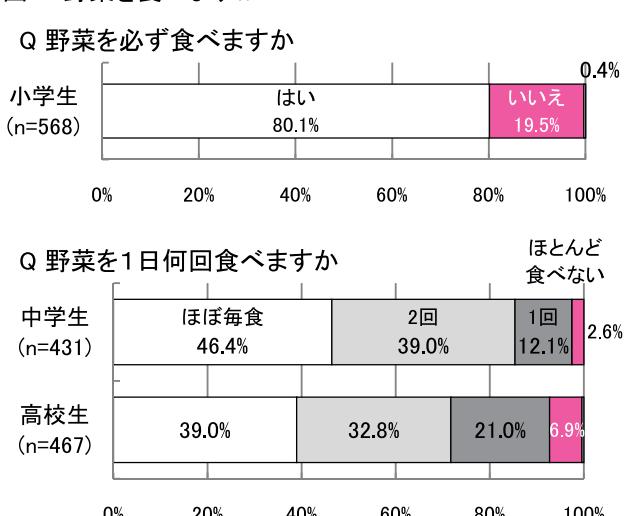
図6 朝食は主食・主菜・副菜がそろっているか



(H29年度生活習慣及び健康に関する意識調査)

- ・朝食の栄養バランスが整っていない様子があり、年齢が上がるごとに増加しています。

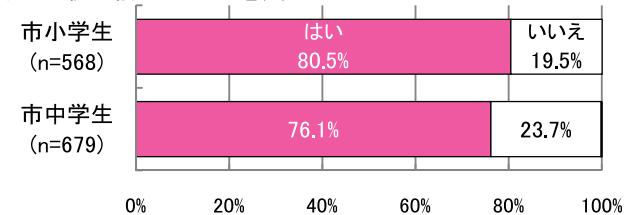
図7 野菜を食べますか



(H27年度食生活調査：愛媛県学校栄養士協議会)

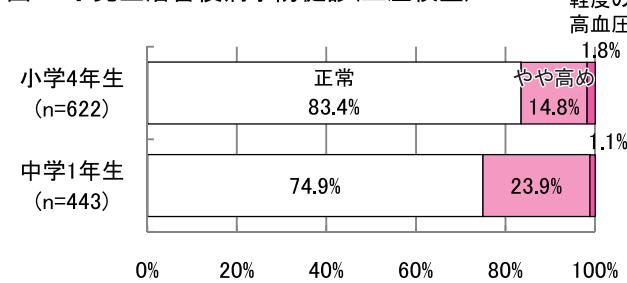
(H29年度生活習慣及び健康に関する意識調査)

図8 寝る前におやつを食べているか



(H27年度食生活調査：愛媛県学校栄養士協議会)

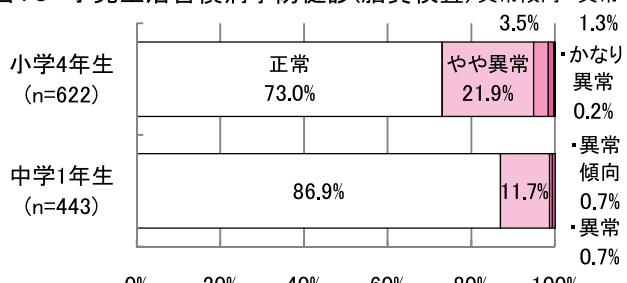
図9 小児生活習慣病予防健診(血圧検査)



(H28年度宇和島市小児生活習慣病予防健診結果)

- ・血圧の異常が2割前後います。

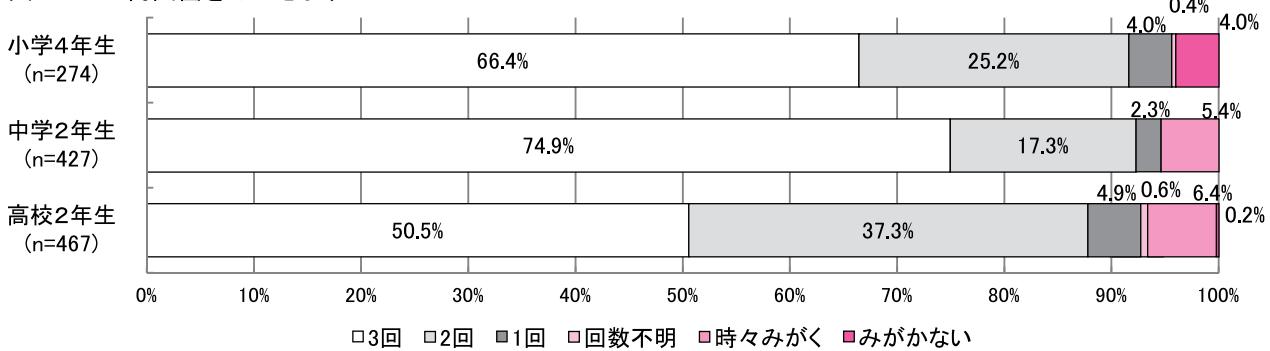
図10 小児生活習慣病予防健診(脂質検査)異常傾向・異常



(H28年度宇和島市小児生活習慣病予防健診結果)

- ・脂質の異常が小4では3割近くいます。

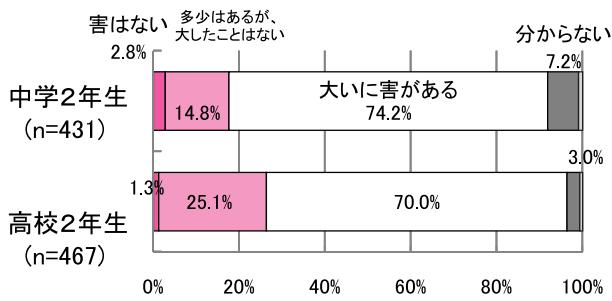
図11 1日何回歯をみがきますか



(H29年度生活習慣及び健康に関する意識調査)

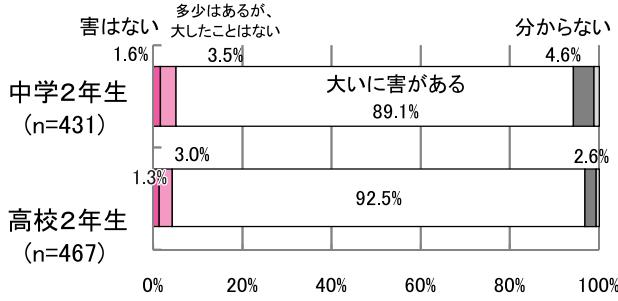
- 1日3回歯をみがかない子がいます。年齢が上がるにつれて毎日みがかない子が増えています。

図12 お酒を飲み過ぎると健康に害があると思いますか



- 飲酒や喫煙の健康への害を認識していない子がいます。

図13 たばこを吸うと健康に害があると思いますか



(H29年度生活習慣及び健康に関する意識調査)

図14 妊娠届出

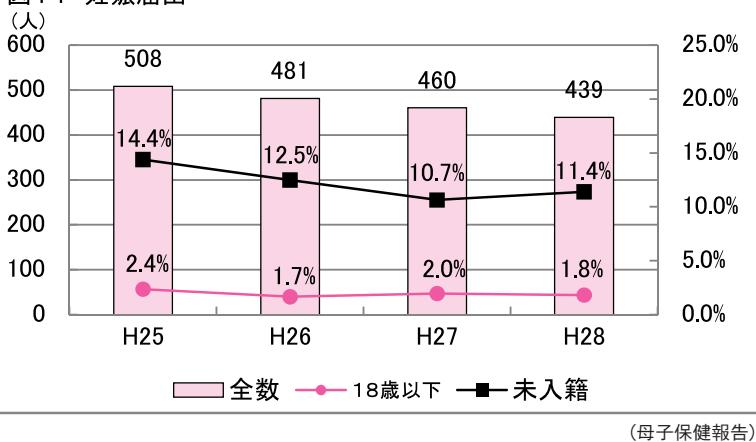
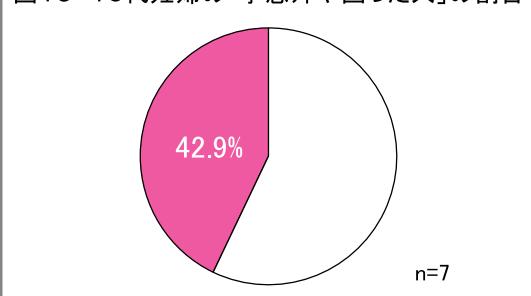


図15 10代妊婦の「予想外や困った人」の割合



- 妊娠届出全数中、1割は未入籍であり、18歳以下が2%前後あります。
- 10代の妊婦で、妊娠について『予想外や困った』と感じる人は4割以上います。

## 問題点

- 命を大切だと思わない子や自分のことを好きでない子がいる
- 相談相手のいない子がいる
- 学童期から生活習慣病の予備軍がいる
- 歯を毎日みがかない子がいる
- 飲酒、喫煙が身体に及ぼす害を理解できていない子がいる
- 妊娠や出産について正しい知識を持っていない子がいる

## 目標と取組み

### 目的

児童、生徒が、心身の健康づくりを主体的に取り組むことができる



### 目標

- 1 母性父性を豊かにし、自己肯定感を持ち、自分を含めた人の命を大切にできる。
- 2 子ども自身が悩みを相談でき、適切な支援を得ることができる。
- 3 適正体重を知り、小児期からの継続した生活習慣病予防ができる。
- 4 歯を毎日みがく習慣をつけ、むし歯になりにくい食行動がとれる。
- 5 喫煙飲酒の悪影響を知り、自ら判断決定できるよう適切な知識、情報を得ることができる。
- 6 妊娠出産についての正しい知識を持ち、自分のライフプランを考え、望まない妊娠を避けることができる。



### 市民自らの取り組み

- 1 1) 母性父性を育む経験をして、命の大切さを感じましょう。  
2) 自己肯定感を持ち、自分を含めた人の命を大切にしましょう。
- 2 1) 一人で悩まず、相談しましょう。  
2) 親子のコミュニケーションを大切にしましょう。
- 3 1) 1日3食、主食、主菜、副菜をそろえてバランス良く食べましょう。  
2) 適切な体重を知り、不要なダイエットをしないようにしましょう。
- 4 1) 学童期から毎食歯をみがくことを継続しましょう。  
2) 寝る前のおやつを控えましょう。
- 5 1) 飲酒喫煙について正しく理解し、タバコやお酒を吸わない、飲まないようにしましょう。  
2) 周囲の大人が未成年者の飲酒喫煙を勧めない、容認しないようにしましょう。  
3) 子どもを受動喫煙の害から守りましょう。
- 6 1) 妊娠出産に関する知識を正しく学び、行動しましょう。  
2) 自分の将来を考えた性行動がとれるようにしましょう。





## 市民を支える取り組み

- 1 母性父性を豊かにし、自己肯定感を持つことができ、自分を含めた人の命を大切にできる心を育てます。
  - 1) 乳児ふれあい体験等、命の大切さを感じる事業を推進します。
  - 2) 子どもの発達段階に応じた教育を推進します。
    - ・学校保健と連携し、「18歳。心とカラダのサポートブック」を活用して、高校3年生への講座の実施を継続します。
  - 3) 子どもの自己肯定感を高めるための情報を提供します。
    - ・心の健康づくりを盛り込んだ内容の教育を実施します。
    - ・各母子保健事業等の早い段階で、自己肯定感を育む子育てを保護者等に説明します。
- 2 思春期の子どもや親が一人で悩まず、相談することができ、適切な支援が受けられるよう支援します。
  - 1) 子どもや親が、悩みを相談共有できる場の充実を図ります。
    - ・個別相談等の相談窓口、サポート機関等の周知を徹底し、悩みへの適切な援助に努めます。
    - ・悩みを話し合える場である親の集いを広く周知し、より参加しやすくなります。
  - 2) 子どもが一人で悩みを抱え込まないで、自分からSOSが出せるよう、学校と連携し出前講座等で周知します。
- 3 学童期からの生活習慣病予防の取り組みを継続します。
  - 1) 食生活等の健康づくりを実践するための方法を具体的に学べる機会を提供します。
    - ・学校保健と連携し、小児生活習慣病予防対策に取り組みます。
    - ・適正体重を知り、望ましい食行動が取れるよう、適切な知識や情報を提供します。
- 4 むし歯予防意識を継続できるよう支援します。
  - ・学校保健と連携し、むし歯予防につながる食行動等の情報提供を実施します。
- 5 飲酒喫煙の悪影響を知り、自ら判断し決定できるよう支援します。
  - ・学校保健と連携し、飲酒喫煙対策に取り組みます。
- 6 妊娠出産についての正しい知識を知り、自分のライフプランを考えることができるよう支援します。
  - 1) 妊娠、出産に関する正しい知識の普及を図ります。
    - ・若年（18歳以下）での妊娠出産のリスクを周知し、望まない妊娠を避けるための性教育を実施します。
    - ・高校生に「妊よう力」の知識を伝え、自分のライフプランを考えることができるよう支援します。



## 評価指標

指標の種類	項目	現状値(H28年度)	目標値(H35年度)	把握方法
QOL (健康指標)	自分のことを好きだと思う子の割合	小学4年生	49.7%	60.0%
		中学2年生	50.6%	60.0%
		高校2年生	48.8%	60.0%
	命を大切だと思わない子の割合	中学2年生	1.2%	0%
		高校2年生	1.7%	0%
	悩みを相談できる人がいる子の割合	小学4年生	78.5%	90.0%
		中学2年生	84.7%	90.0%
		高校2年生	85.0%	90.0%
	タバコの害を認識していない子の割合	中学2年生	1.6%	0%
		高校2年生	1.3%	0%
	お酒の害を認識していない子の割合	中学2年生	2.8%	0%
		高校2年生	1.3%	0%
	10代の自殺数	1人 H21～27年合算	0人	自殺対策推進室による特別集計
行動指標	適正体重を知っている子の割合	中学2年生	60.8%	70.0%
		高校2年生	50.7%	60.0%
	ダイエットしたことのある子の割合	中学2年生	25.5%	20.0%
		高校2年生	31.0%	25.0%
	朝食を欠食する子の割合	小学4年生	4.8%	0%
		中学2年生	10.4%	5.0%
		高校2年生	15.5%	10.0%
	朝食で主食・主菜・副菜のそろった食事をしている子の割合	小学4年生	25.5%	40.0%
		中学2年生	24.4%	40.0%
		高校2年生	21.0%	40.0%
	野菜を必ず食べる子の割合	小学4年生	80.1%	90.0%
	野菜をほぼ毎食食べる子の割合	中学2年生	46.4%	50.0%
		高校2年生	39.0%	45.0%
	寝る前におやつを食べる子の割合	小学生	80.5%	H27 食生活調査
		中学生	76.1%	H27 食生活調査
	自分に必要な食事の量やどんなものを食べればよいか知っている子の割合	中学2年生	74.2%	80.0%
		高校2年生	67.0%	80.0%
	運動やスポーツを習慣的(週3日以上)にしている子の割合	小学4年生	81.8%	90.0%

指標の種類	項目	現状値(H28年度)	目標値(H35年度)	把握方法
行動指標	血圧有所見割合	小学4年生	16.6%	10.0%
		中学1年生	25.1%	15.0%
	脂質検査（血液）有所見割合	小学4年生	26.9%	20.0%
		中学1年生	13.1%	8.0%
	肥満割合	小学4年生	10.5%	5.0%
		中学1年生	11.7%	5.0%
	貧血割合	小学4年生	2.4%	1.0%
		中学1年生	3.4%	1.5%
	毎日歯をみがく子のうち 1日3回歯みがきをしている子の割合	小学4年生	68.9%	80.0%
		中学2年生	79.2%	90.0%
		高校2年生	54.1%	70.0%
家庭指標	家庭の中であいさつや会話を 心がけている生徒の割合	小学4年生	95.6%	100.0%
		中学2年生	81.7%	90.0%
		高校2年生	78.4%	90.0%
	18歳以下の妊婦の割合	8人	4人	①
環境指標	10代の自殺数	1人 H21～27年合算	0%	自殺対策推進室による特別集計
	10代の妊婦の「予想外や困った人」の割合	42.9%	30.0%	②
	思春期の個別相談実施回数	8回	現状維持	⑨
	思春期の子を持つ親のつどい実施回数	12回	現状維持	⑨
	思春期のに関する出前講座 (ふれあい体験・教育等)の実施回数	13回	現状維持	⑨
	スクールカウンセラーを配置している学校の数	6校	—	学校教育課調査

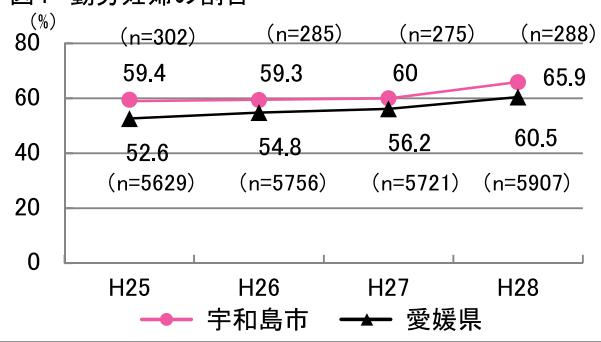
#### 把握方法（出典・調査）

① 妊娠届出書	⑥ 食習慣等質問票
② 妊婦アンケート	⑦ 小児生活習慣病予防健診
③ 妊婦一般健診受診票	⑧ 生活習慣及び健康に関する意識調査（H29年度）
④ 赤ちゃん訪問アンケート	⑨ 事業実績
⑤ 健診・相談質問票	⑩ 人口動態調査（えひめの衛生統計）

## 基盤課題D 子どもの健やかな成長を見守りはぐくむ地域づくり

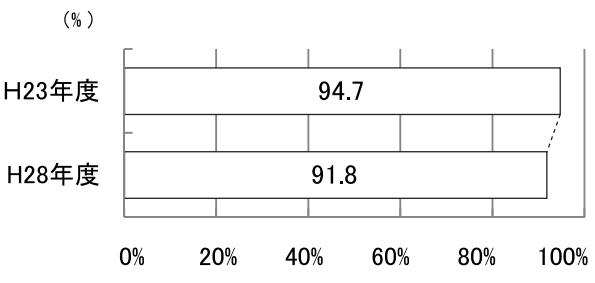
### 現 状

図1 勤労妊婦の割合



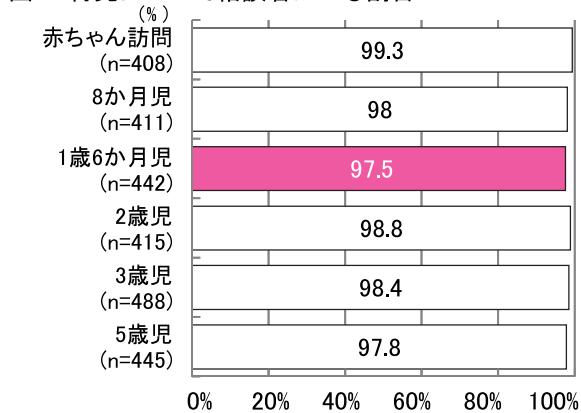
- 勤労妊婦の割合は毎年県平均より高めです。

図2 妊娠中に職場の理解と協力が得られた妊婦



- 妊娠中に職場の理解と協力が得られた妊婦の割合は減少しています。

図3 育児について相談者がいる割合



- 育児の相談者・協力者がいる割合は、各年齢において9割に達しますが、相談者・協力者のいない人もいます。

図4 育児について協力者がいる割合

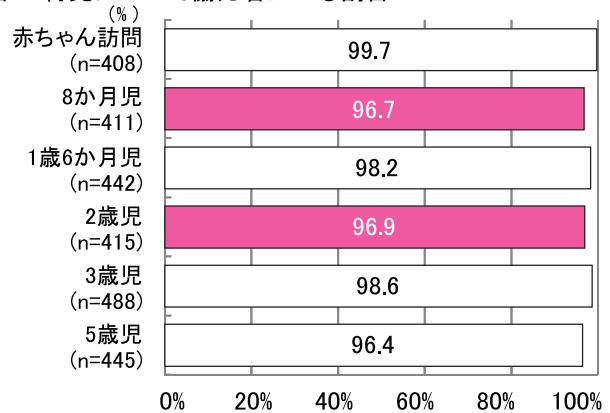
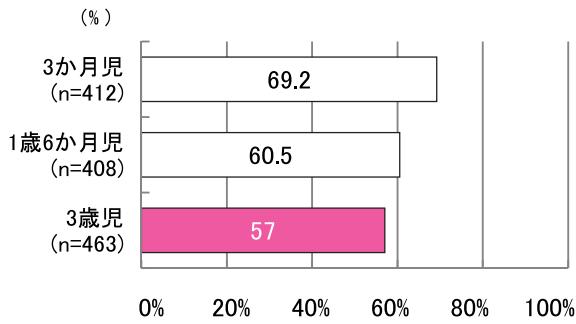
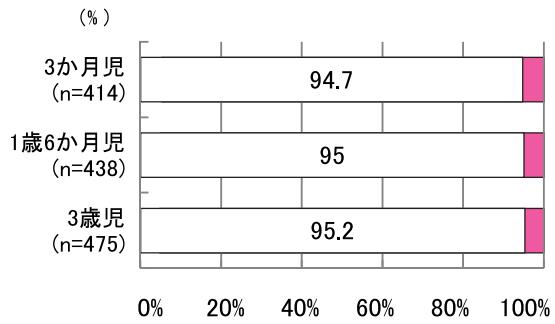


図5 積極的に育児に協力している父親の割合

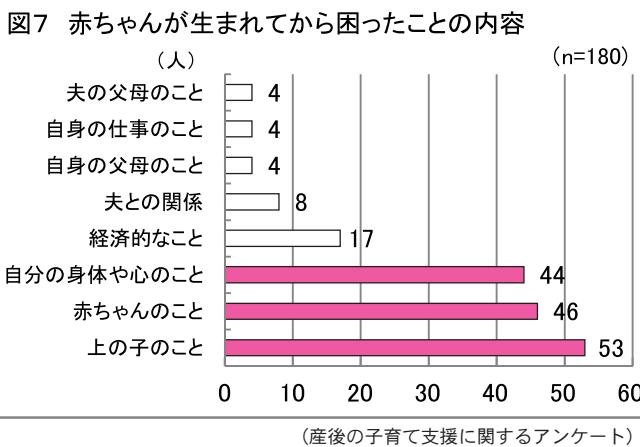


- 子の年齢が上がるにつれて、積極的に育児に協力する父親の割合が少なくなっています。

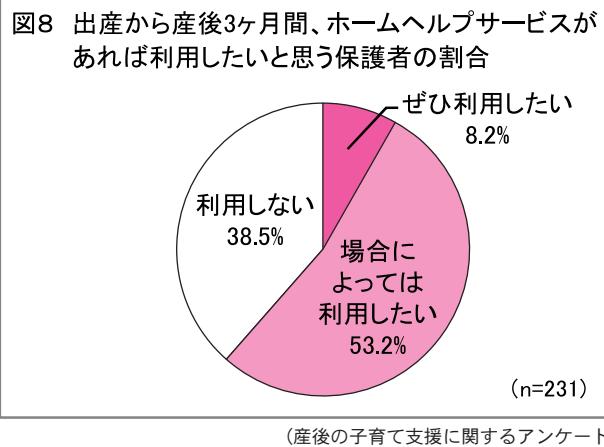
図6 この地域で子育てをしたいと思う保護者の割合



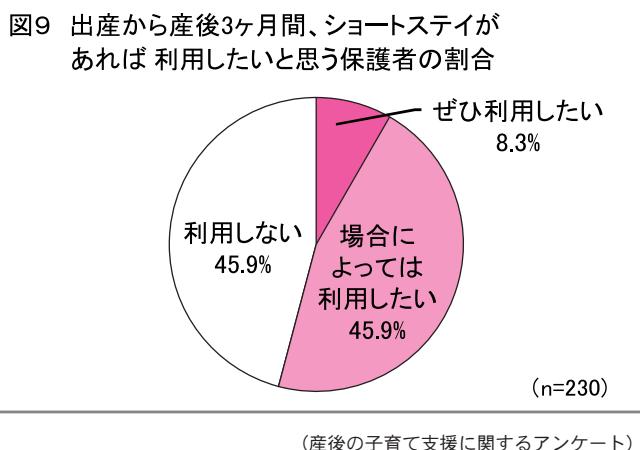
- この地域で子育てをしていきたいと思う保護者は9割に達しますが、思わない人もいます。



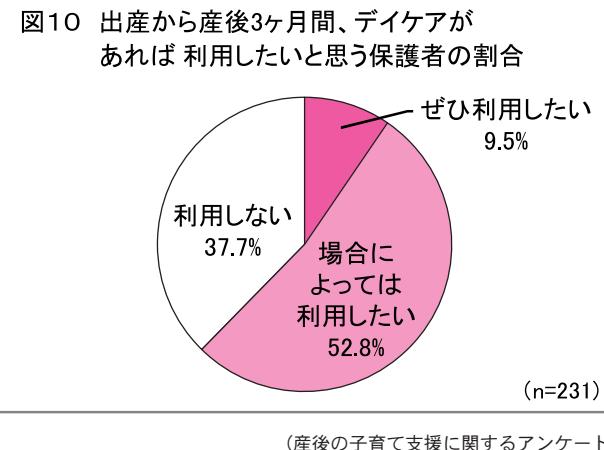
- ・上の子のこと、自分の身体や心のこと、赤ちゃんのことで困った方が多いです。
- (注) 産後の子育て支援に関するアンケートは  
H29年度 6月から12月の3か月児健診対象者に実施



- どのような時に希望するか
  - ・家事をしているとき
  - ・病院に行きたいとき
  - ・しんどいとき
  - ・買い物に行きたいとき
- 受けたいサービス内容
  - ・子守
  - ・家事の代行
  - ・買物

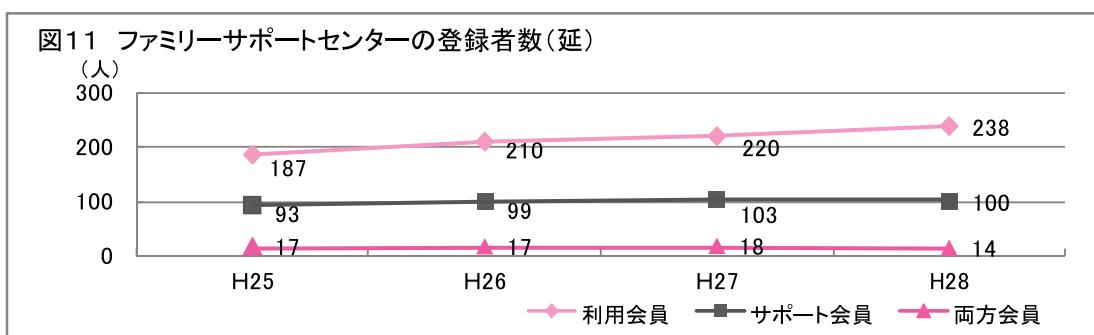


- どのような時に希望するか
  - ・ゆっくり休みたいとき
  - ・家から離れないとき
  - ・しぶといとき
  - ・病気のとき
- 受けたいサービス内容
  - ・母子同室で宿泊
  - ・子どもだけ預ける
  - ・入浴



- どのような時に希望するか
  - ・ゆっくり休みたいとき
  - ・しぶといとき
  - ・病気のとき
  - ・上の子の学校行事があるとき
- 受けたいサービス内容
  - ・食事の提供
  - ・母子交流
  - ・育児教育
  - ・子守

産後ケアを ぜひ利用したい、場合によつては利用したいという人が約半数います

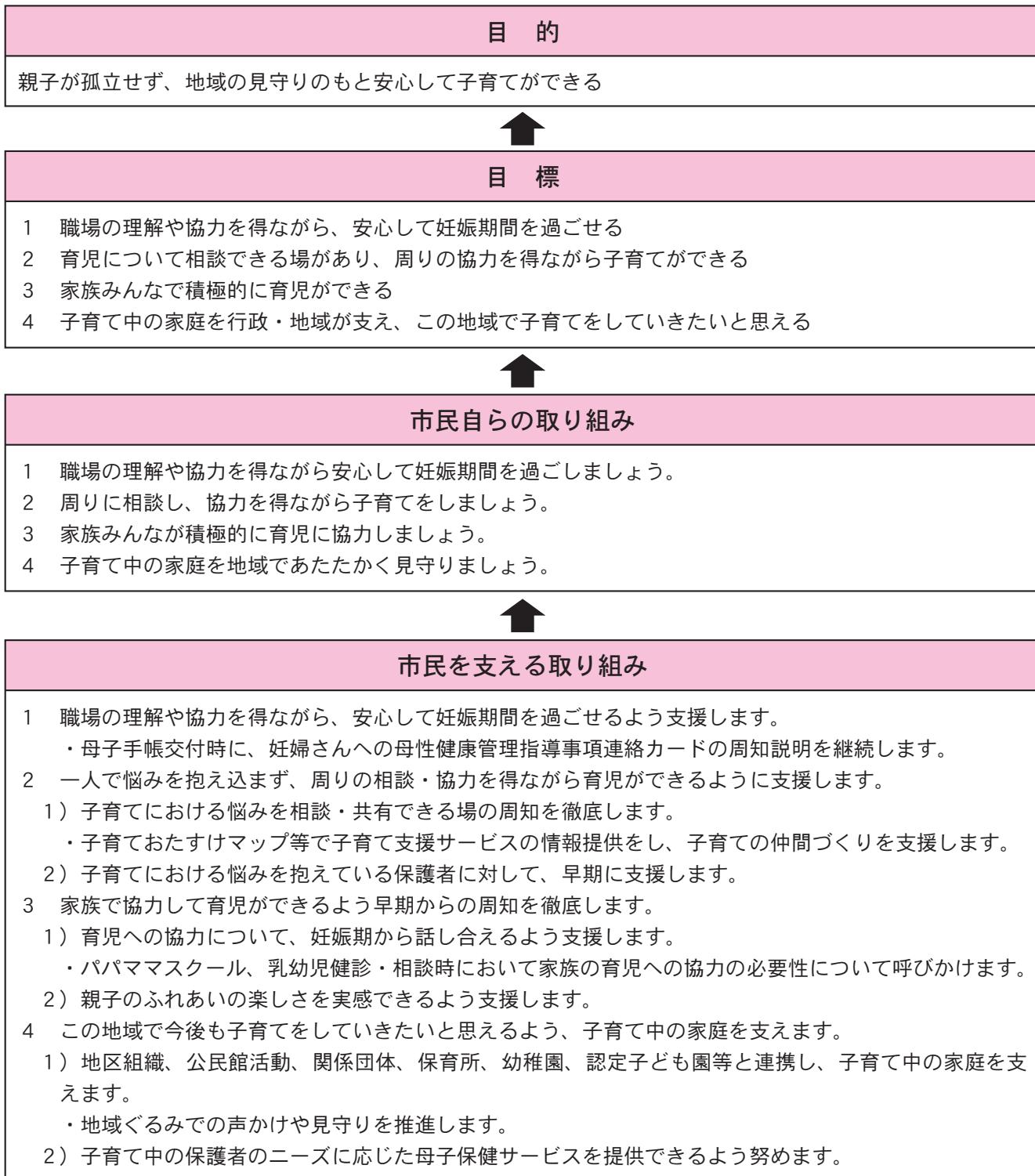


- ・利用会員の登録者数は増加しています。

## 問題点

- 1 妊娠中に職場の理解や協力が得られていないと感じる妊婦がいる
- 2 子育てにおいての相談者・協力者がいない人がいる
- 3 子の年齢が上がるにつれて、積極的に育児に協力する父親の割合が少ない
- 4 この地域で子育てをしていきたいと思わない保護者がいる

## 目標と取組み



## 評価指標

指標の種類	項目	現状値(H28年度)	目標値(H35年度)	把握方法
健康指標QOL	この地域で子育てをしたいと思う保護者の割合	3か月児健診	94.7%	98.0%
		1歳6か月児健診	95.0%	98.0%
		3歳児健診	95.2%	98.0%
行動指標	育児の協力者がいる保護者の割合	赤ちゃん訪問	99.7%	100.0%
		8か月児相談	96.7%	99.0%
		1歳6か月児健診	98.2%	99.0%
		2歳児相談	96.9%	99.0%
		3歳児健診	98.6%	99.0%
		5歳児健診	96.4%	99.0%
	育児について相談できる人がいる保護者の割合	赤ちゃん訪問	99.3%	100%
		8か月児相談	98.0%	100%
		1歳6か月児健診	97.5%	100%
		2歳児相談	98.8%	100%
		3歳児健診	98.4%	100%
		5歳児健診	97.8%	100%
	積極的に育児に協力している父親の割合	3か月児健診	69.2%	80.0%
		1歳6か月児健診	60.5%	70.0%
		3歳児健診	57.0%	70.0%
環境指標	勤労妊婦の割合	65.9%	—	母子保健報告
	勤労妊婦の内、妊娠中に職場の理解と協力が得られた妊婦の割合	91.8%	95.0%	⑤
	子育て支援事業や子育てサロンを実施している機関等の数	29か所	—	福祉課調べ
	ファミ・サポ登録者数（延）	利用会員	238人	—
		サポート会員	100人	—
		両方会員	14人	—

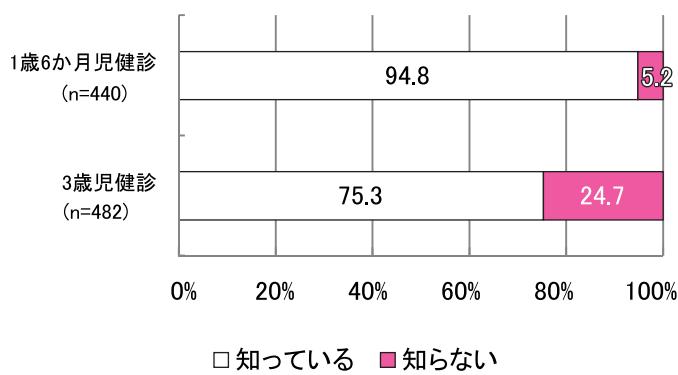
### 把握方法（出典・調査）

① 妊娠届出書	⑥ 食習慣等質問票
② 妊婦アンケート	⑦ 小児生活習慣病予防健診
③ 妊婦一般健診受診票	⑧ 生活習慣及び健康に関する意識調査（H29年度）
④ 赤ちゃん訪問アンケート	⑨ 事業実績
⑤ 健診・相談質問票	⑩ 人口動態調査（えひめの衛生統計）

## 重点課題① 育てにくさを感じる親に寄り添う支援

### 現 状

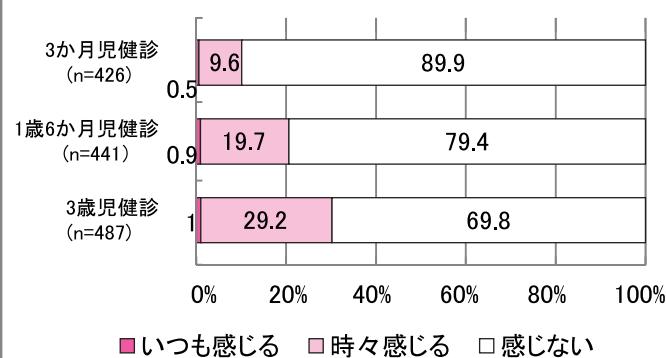
図1 子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合



(H28年度乳幼児健康診査質問票)

- 各年代において、子どもの社会性の発達過程を知らない親が約1割おり、特に3歳児健診では、その割合が高くなっています。

図2 子どもに育てにくさを感じる親の割合



(H28年度乳幼児健康診査質問票)

- 児の年齢が上がるにつれて、子どもに育てにくさを「いつも感じる」、「時々感じる」親の割合が増えています。

### 「育てにくさ」の要因

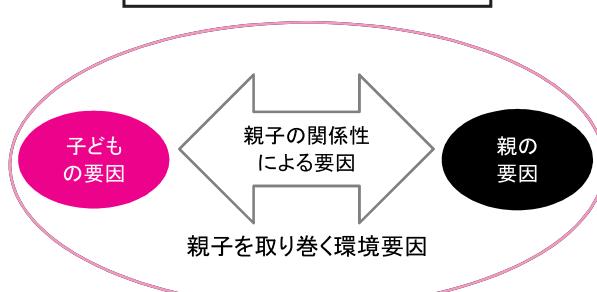
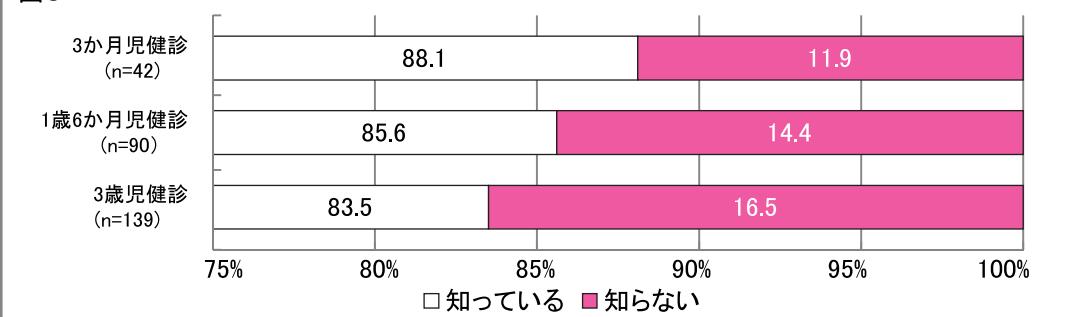


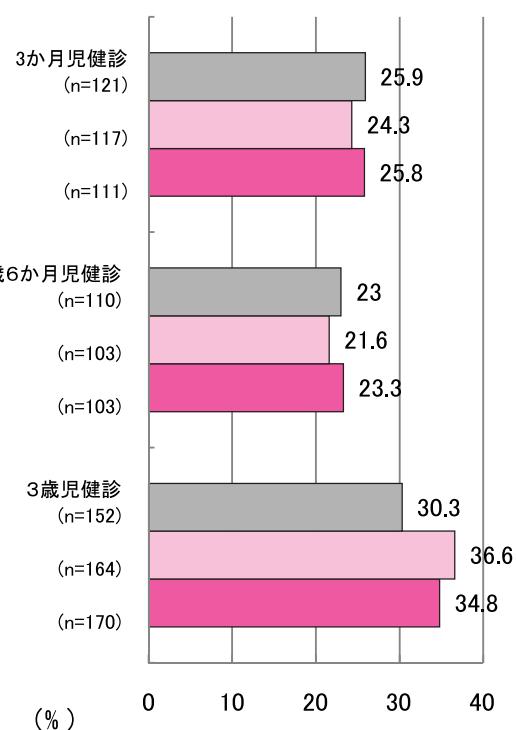
図3 育てにくさを感じた時に何らかの解決方法を知っている親の割合



(H28年度乳幼児健康診査質問票)

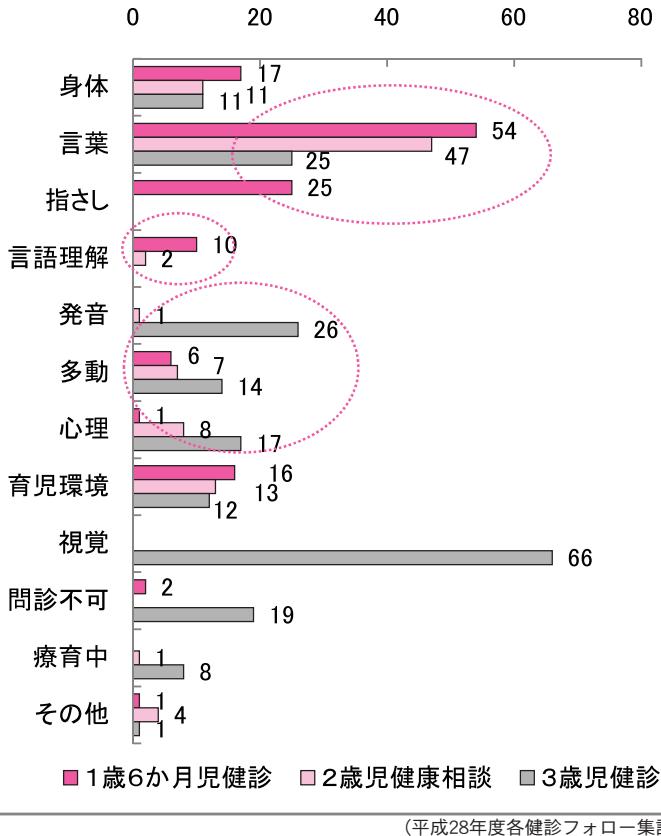
- どの年代においても、育てにくさを感じた時に何らかの解決方法を知らない親が約2割おり、年齢が上がるにつれて、その割合は増加しています。

図4 乳幼児健診の要フォロー率



(H26～28年度事業評価シート)

図5 平成28年度幼児健診・相談におけるフォロー内訳 (人)

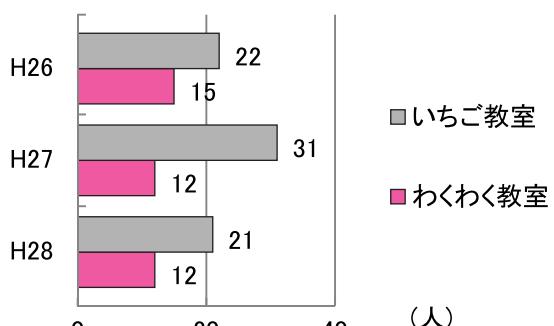


(平成28年度各健診フォロー集計)

- ・健診時の要フォロー率は2～3割で推移しています。

- ・1歳6か月児健診、2歳児健康相談では、言葉・指さし・言語理解に関するフォローが多くなっています。  
一方、3歳児健診では発音・多動・心理でのフォローが多くなっています。

図6 経過観察事業参加者数



(H26～28年度事業評価シート)

- ・経過観察事業参加者は1歳6か月児健診、2歳児健康相談後は20～30人程度、3歳児健診後では12～15人います。

表1 経過観察事業参加後、専門機関（あけぼの園、旭川荘）につながった児の状況 (人数)

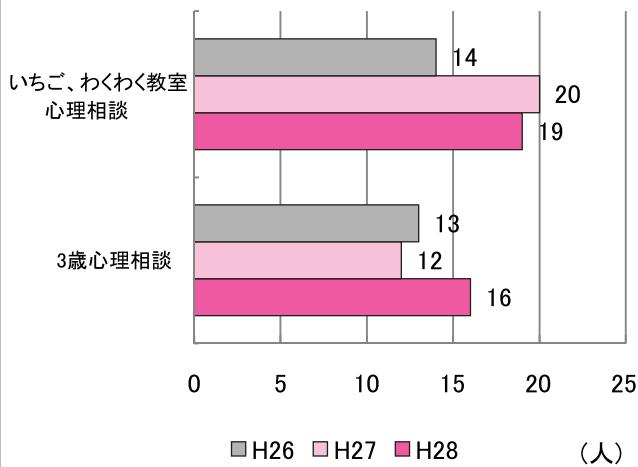
	H26		H27		H28	
	必要と判断した児	つながった児	必要と判断した児	つながった児	必要と判断した児	つながった児
いちご教室	2	2	6	5	6	6
わくわく教室	4	4	4	3	3	3
計	6	6	10	8	9	9
	100%		80%		100%	

- ・経過観察事業参加後、療育が必要と判断した児については80～100%が専門機関につながっています。

#### 注)

「いちご教室」は1歳6か月児健診・2歳児健康相談、「わくわく教室」は3歳児健診後経過観察が必要と判断した児及び、育児不安をもつ保護者を対象に、月1～2回、遊びを通して発達状況に応じた支援を行い、必要な専門機関につないでいく事業のことをいう。

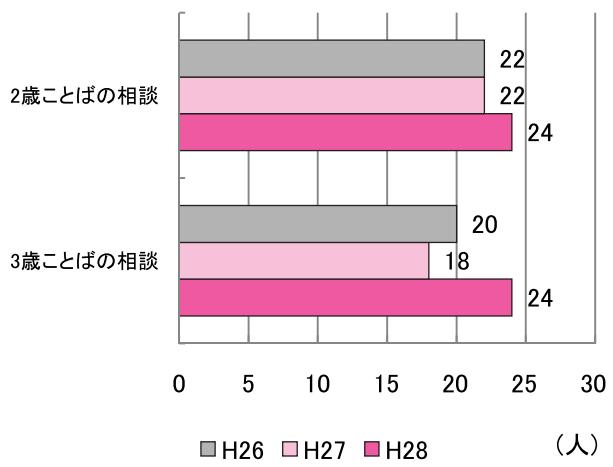
図7 心理相談利用者数



(26～28年度事業評価シート、実施報告)

- 心理相談利用者は1歳6か月児健診、2歳児健康相談、経過観察事業参加後では約20人、3歳児健診後では15人程度います。

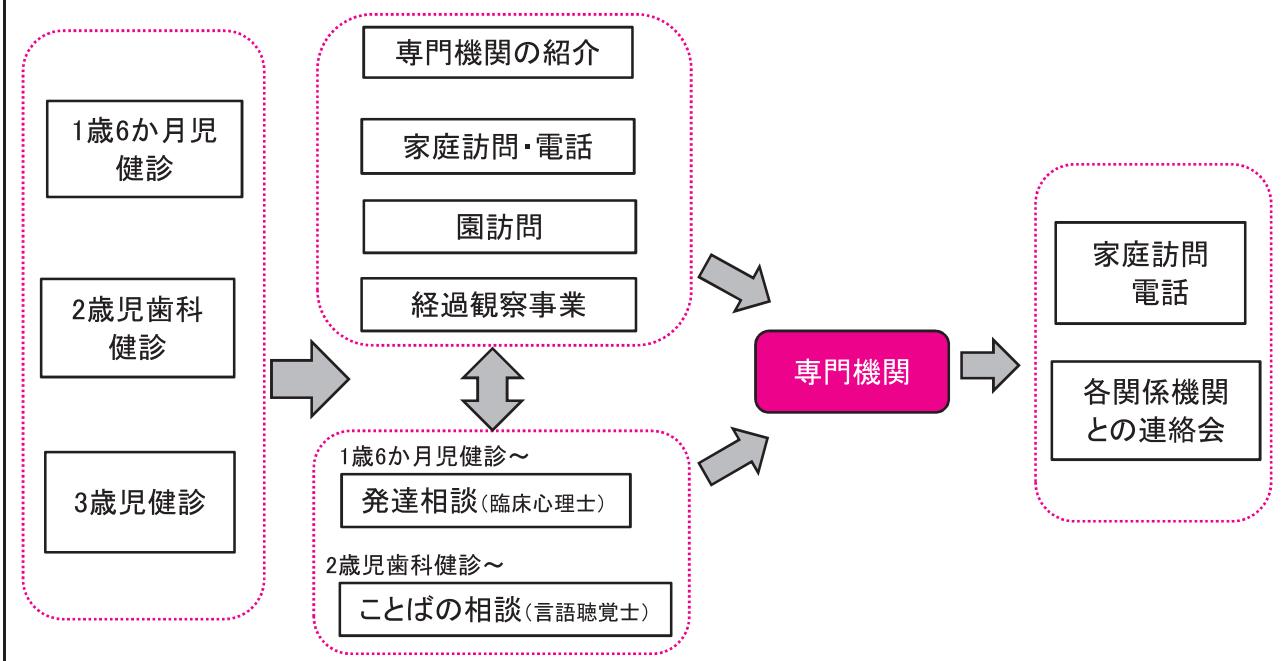
図8 ことばの相談利用者数



(26～28年度事業評価シート、実施報告)

- ことばの相談利用者は2歳児健康相談、3歳児健診後では20人前後います。更に、H28年度は相談枠の24人定員満了となっており、希望者の増加がみられます。

図9 幼児健診後の気になる児のフォローアップ体制



- 児の発達状況や保護者の思いなどに寄り添い、支援方法を考えます。

## 問題点

- 1 幼児健診では要経過観察児が2～3割いる
- 2 子どもを育てにくく感じる親がいる
- 3 育てにくさを感じた時に何らかの解決方法を知らない親が約2割いる
- 4 子どもの社会性の発達過程を知らない親が約1割いる

## 目標と取組み

### 目的

育てにくさを感じる保護者が、児の特性を理解し、適切な機関のサポートを受け、安心して育児をすることができる



### 目標

- 1 親が子どもの社会性の発達過程について理解し、発達課題に気付くことができる
- 2 育児の悩みを一人で抱え込むことなく、適切な場に相談することができる
- 3 個々の特性を理解し、適切な支援を受けることができる
- 4 地域の中で孤立することなく、安心して子育てをすることができる



### 市民自らの取り組み

- 1 子どもの社会性の発達過程について理解し、適切な時期に健診を受け、児の発達を確認しましょう
- 2 育児について不安や悩みがある場合は、1人で抱え込まず相談しましょう
- 3 子ども一人ひとりの特性を理解し、ゆとりをもって子育てしましょう
- 4 地域全体で子どもを見守り、育みましょう



### 市民を支える取り組み

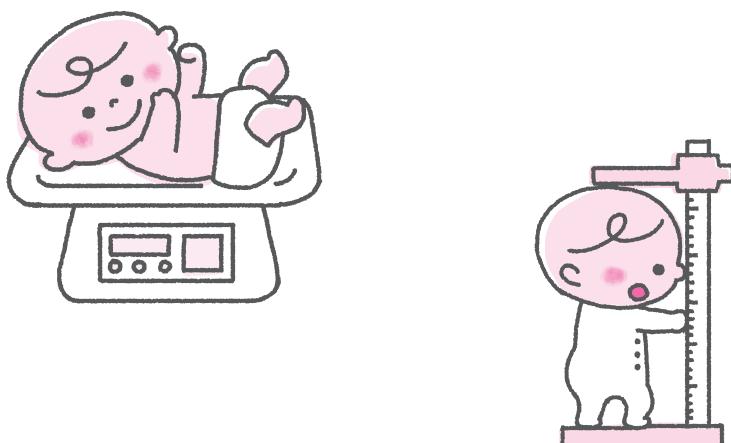
- 1 親が子どもの社会性の発達過程について理解し、発達課題に気付くことができるよう支援します。
  - 1) 子どもの社会性の発達過程、発達障害についての情報を育児のしおりに追加し、保護者に説明します。
  - 2) 保護者に児の発達課題について気づきを促せるよう、専門職が健診の場でのスクリーニング力を身に付け、適切に保護者へ伝えます。
- 2 育児の悩みを一人で抱え込むことなく、適切な場に相談することができるよう支援します。
  - 1) 保護者が育児の悩みを気軽に相談できるよう、健診・相談の場の充実をはかります。
  - 2) 健診・相談の場で、必要と判断した人については、適切な機関につなぎます。
  - 3) 経過観察事業の内容の充実をはかります。
- 3 個々の特性を理解し、適切な支援を受けることができるよう支援します。
  - 1) 健診後のフォローを適切な時期に行い、専門的な支援が必要と思われる児については適切な機関を紹介します。
  - 2) 保護者の思いを聞き、気持ちに寄り添う関わりをします。
- 4 地域の中で孤立することなく、安心して子育てができるよう支援します。
  - 1) 保育所、幼稚園、認定子ども園等と連携して支援し、就学後も途切れることのない支援の充実をはかります。
  - 2) 福祉サービスの情報をタイムリーに伝え、地域で孤立しないよう、仲間作りを支援します。

## 評価指標

指標の種類	項目	現状値(H28年度)	目標値(H35年度)	把握方法
QOL (健康指標)	子どもに育てにくさを感じる親の割合	3か月児健診	10.1%	5.0%
		1歳6か月児健診	20.6%	15.0%
		3歳児健診	30.2%	25.0%
	子どもを育てにくいと感じた時に何らかの解決方法を知っている親の割合	3か月児健診	88.1%	95.0%
		1歳6か月児健診	85.6%	95.0%
行動指標	子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合	3か月児健診	75.3%	80.0%
		1歳6か月児健診	94.8%	98.0%
		3歳児健診	93.0%	98.0%
	経過観察事業参加後、専門機関につながった児の割合	100.0%	100.0%	⑨
指環境 標	市・近隣の療育機関数	3施設	—	

把握方法（出典・調査）

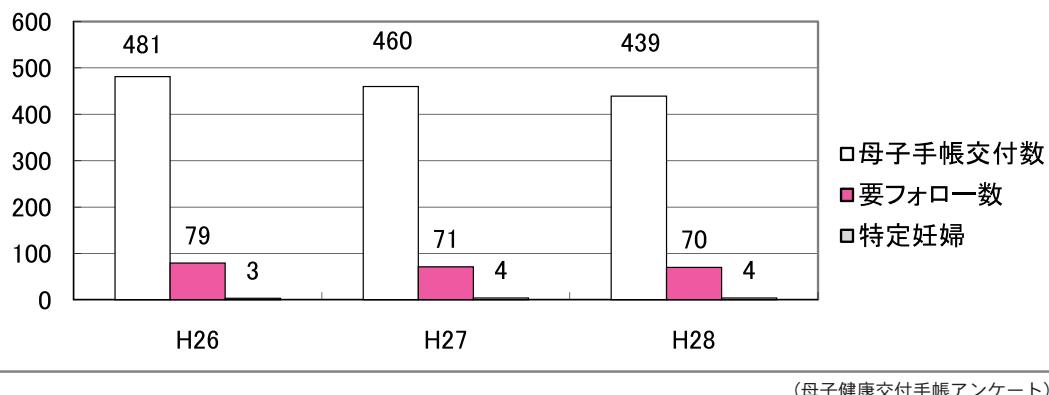
① 妊娠届出書	⑥ 食習慣等質問票
② 妊婦アンケート	⑦ 小児生活習慣病予防健診
③ 妊婦一般健診受診票	⑧ 生活習慣及び健康に関する意識調査（H29年度）
④ 赤ちゃん訪問アンケート	⑨ 事業実績
⑤ 健診・相談質問票	⑩ 人口動態調査（えひめの衛生統計）



## 重点課題② 妊娠期からの児童虐待防止対策

### 現 状

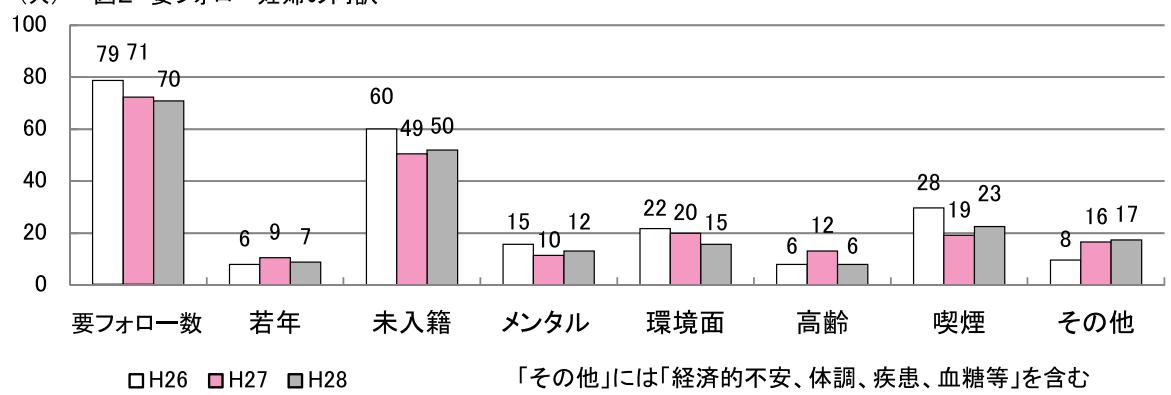
(人) 図1 要フォロー妊婦数



(母子健康交付手帳アンケート)

- 母子健康手帳交付数は経年減少しているにもかかわらず、要フォロー妊婦数は、横ばいである。

(人) 図2 要フォロー妊婦の内訳

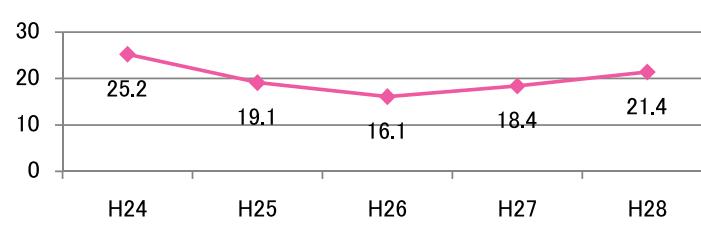


「その他」には「経済的不安、体調、疾患、血糖等」を含む

- 要フォロー妊婦の内訳では「未入籍」の割合が高い。

(母子健康交付手帳アンケート)

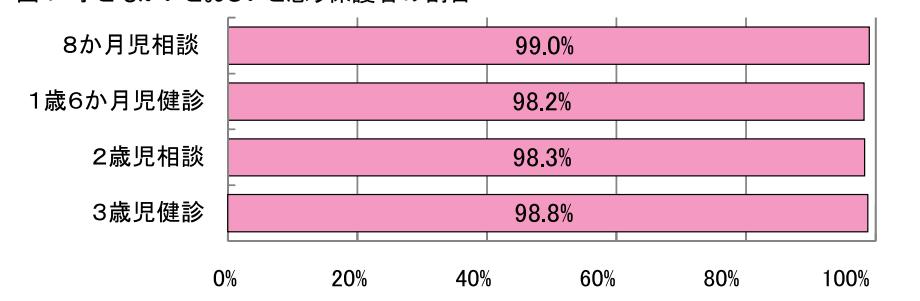
(%) 図3 産後うつのリスクが高い人の割合



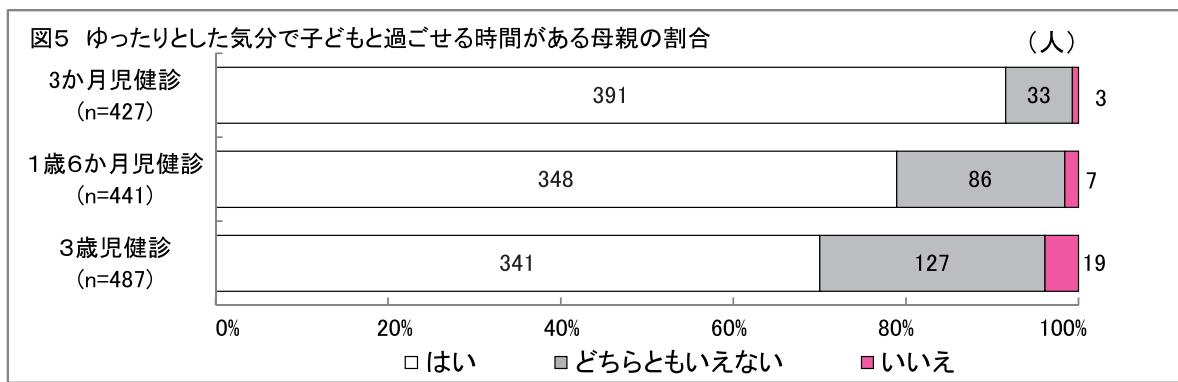
- 産後うつのリスクが高い人が約2割いる。

(赤ちゃん訪問アンケート)

図4 子どもがいとおしいと思う保護者の割合



(H28年度健康診査・相談質問票)



(H28年度健康診査質問票)

- 「こどもをいとおしいと思う」保護者の割合はどの年齢でも高率であるが、「ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある」母親の割合は年齢が上がるにつれて減少している。

表1 子どもへの関わり方について

項目	3か月児	1歳6か月児	3歳児
感情的な言葉で怒鳴った	3.6%	19.1%	38.6%
感情的に叩いた	0.7%	4.0%	9.1%
しつけのし過ぎがあった	0.0%	2.0%	3.0%
乳幼児だけを家に残して外出した	1.2%	0.5%	0.7%
長時間食事を与えなかった	0.0%	0.0%	0.4%
子どもの口をふさいだ	0.5%	0.0%	0.0%
子どもを激しく揺さぶった	0.2%	0.2%	0.0%
いずれにも該当しない	94.5%	76.7%	57.5%

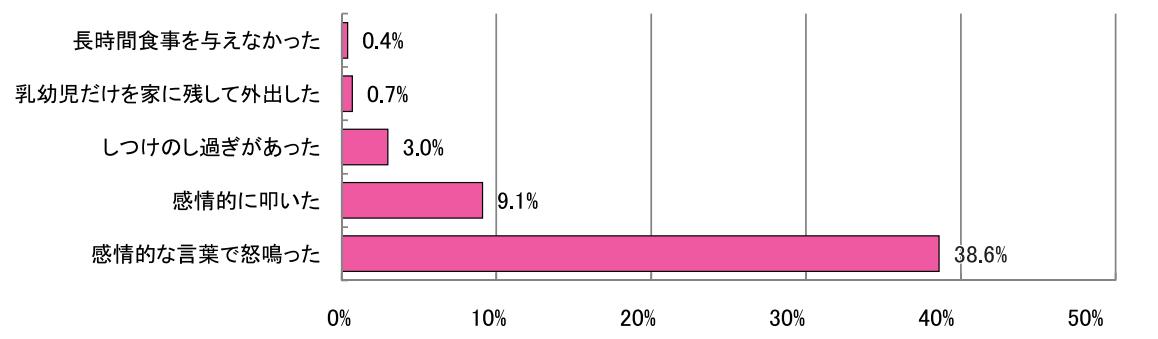
(H28年度健康診査質問票：設問「この数か月の間にご家庭で上記のことがありましたか？」)

表2 乳幼児揺さぶられ症候群(S B S)を知っている親の割合

知っている	99.8% (427人)
知らない	0.2% (1人)

(H28年度3か月児健康診査質問票)

図6 子どもへの関わり方について(3歳児健診)



(H28年度3歳児健康診査質問票)

- 「感情的な言葉で怒鳴った」の項目が、3か月児、1歳6か月児、3歳児健診とともに上位を占め、特に3歳児健診では約4割いる。

表3 虐待対応件数

年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
件数	19	16	24	22	44	48	36	31	40	44

(要保護児童対策地域協議会ケース)

## 問題点

- 若年、未入籍、経済的不安、精神面等の問題があるハイリスク妊婦がいる。
- 産後うつのリスクが高い人が約2割いる。
- 3歳児健康診査では感情的な言葉で怒鳴ったことがある保護者が約4割いる。

## 目標と取組み

### 目的

妊娠中からサポートを受け安心して出産し、子どもを大切に育むことができる



### 目標

- 1 正しい知識をもち、望まない妊娠を避けることができる。
- 2 妊娠を喜び、出産に向けて必要な支援が受けられる。
- 3 産後の心身の不調に早期に気づき、必要なケアが受けられる。
- 4 母子の愛着形成を育み、子どもとの関わり方についての情報が得られ、安心して子育てができる。
- 5 家族や地域住民が虐待予防について理解を深めることができる。



### 市民自らの取り組み

- 1 望まない妊娠をした場合、一人で悩まずできるだけ早期に相談しましょう。
- 2 家族や周囲のサポートを受け安心して妊娠期を過ごしましょう。
- 3 産後の母親の心身の不調に気づいたら、声をかけ、専門機関に相談をすすめましょう。
- 4 子どものしつけや関わり方について困った時は相談機関を利用しましょう。
- 5 自分の周囲で虐待が疑われる事態があれば相談機関に連絡しましょう。



### 市民を支える取り組み

- 1 望まない妊娠を避けるための正しい知識を普及します。
  - ・思春期の子どもたちへ出前講座等で性についての正しい知識と相談窓口を周知します。
- 2 子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を行います。
  - 1) 妊娠届出時に妊婦・家族についてアセスメントを行い、必要な支援を継続的に行います。
  - 2) 産前産後に必要なサービスを検討します。
  - 3) ハイリスク妊婦について妊娠中に全数訪問するよう努めます。
- 3 産後の心身の不調に早期に気づき必要なケアが受けられるよう支援します。
  - 1) 産婦健康診査を実施し、産後うつ病の早期発見、早期支援を行います。
  - 2) 新生時期の赤ちゃん訪問を実施し、産後の母親の早期支援を行います。
  - 3) 支援の必要な産婦が、適切に産後ケア事業を利用できるよう努めます。
  - 4) 必要な支援や関係機関の連絡調整を行い、継続した支援を行います。
- 4 保護者の気持ちを傾聴し、親支援の視点をもち関わるようにします。
  - 1) 子どものしつけや関わり方について困っている保護者に対して複数の目でアセスメントし継続的に支援を行います。
  - 2) 子どもが「愛され、大切にされて育つ」ことができるよう親支援を行います。
  - 3) 自己肯定感を高めるための関わり方について助言します。
- 5 虐待予防について理解を深め、早期支援に努めます。
  - 1) 乳幼児健診未受診児や転入者を全数把握します。
  - 2) 関係機関と連携し、虐待を未然に防ぐことができるよう支援します。
  - 3) 保護者や家族、地域住民が虐待について理解を深められるよう情報提供を行います。

## 評価指標

指標の種類	項目	現状値(H28年度)	目標値(H35年度)	把握方法
QOL(健康指標)	産後うつのリスクの高い人の割合	64人 (21.4%)	15.0%	④
	要フォロー妊婦の数	70人	60.0%	②
	特定妊婦の数	4人	—	⑨
	子どもがいとおしいと思う保護者の割合	3か月児健診	H30～調査予定	100%
		8か月児相談	99.3%	100%
		1歳6か月児健診	99.7%	100%
		2歳児健康相談	99.3%	100%
		3歳児健診	100%	100%
	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3か月児健診	91.6%	95.0%
		8か月児相談	H30～調査予定	95.0%
		1歳6か月児健診	78.9%	85.0%
		2歳児健康相談	H30～調査予定	85.0%
		3歳児健診	70.0%	80.0%
	子どもを虐待していると思われる保護者の割合	3か月児健診	5.5%	0%
		1歳6か月児健診	23.3%	10.0%
		2歳児健康相談	H30～調査予定	10.0%
		3歳児健診	42.5%	20.0%
	育児がしんどいと思っている保護者の割合	3か月児健診	H30～調査予定	30.0%
		8か月児相談	42.3%	35.0%
	子育てのために我慢ばかりしていると思う保護者の割合	1歳6か月児健診	25.7%	20.0%
		2歳児健康相談	25.1%	20.0%
		3歳児健診	24.4%	20.0%
指行動	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	3か月児健診	99.8%	100%
環境指標	健診未受診のうち状況把握できなかつた児の割合	3か月児健診	0%	0%
		1歳6か月児健診	19.2%	0%
		3歳児健診	0%	0%
		5歳児健診	0%	0%
	妊婦訪問数(実人数)		8	40
	新生児期の赤ちゃん訪問実施率		46%	60.0%
	児童虐待対応件数		44件	—

\*把握方法については他の課題の評価指標ページ参照

## 6 ライフステージに沿った事業一覧

ライフステージ	妊産婦期	乳幼児期	学童思春期
目的		<b>重点課題①</b> 育てにくさを感じる保護者が、児の特性を理解し、適切な機関のサポートを受け、安心して育児をすることができる	
	<b>重点課題②</b> 妊娠中からサポートを受け安心して出産し、子どもを大切に育むことができる		
	<b>基盤課題A</b> 妊産婦が安心して妊娠・出産期を過ごすことができる	<b>基盤課題B</b> 子どもが心身ともに健やかに育つことができる	<b>基盤課題C</b> 児童、生徒が、心身の健康づくりを主体的に取り組むことができる
	<b>基盤課題D</b> 親子が孤立せず、地域の見守りのもと安心して子育てができる		
事業	 <b>子育て世代包括支援センター事業</b> 産婦健康診査 産後ケア事業 特定不妊治療費助成事業 母子健康手帳交付 妊婦一般健康診査 妊婦歯科健康診査 妊産婦相談 母親・両親学級 妊産婦訪問 <b>離島地区妊婦健康診査等 交通費補助事業</b>	新生児聴覚検査 こんにちは赤ちゃん訪問・未熟児訪問 3か月児健康診査 子育て講座 乳児一般健康診査 8か月児健康相談 1歳6か月児健康診査 2歳児歯科健康診査 3歳児健康診査 <b>5歳児健康状態調べ 5歳児健康診査</b> 育児相談 家庭訪問 園訪問 出前講座（乳幼児編） 経過観察事業 ことばの相談 発達相談 <b>予防接種</b>	 <b>小児生活習慣病予防事業</b> 出前講座（児童編） 思春期の個別相談 思春期の子をもつ親のつどい 乳児ふれあい体験教室 18才心とカラダのサポート講座 思春期保健講座
			<b>子育て世代活動支援センター事業（連携・協力）</b>

## ≪ 参考資料 ≫

### 1 第2次計画目的別指標による評価

達成状況… A : 目標に達した B : 目標に達していないが、改善傾向にある C : 変わらない（増減1.0%以下は変わらないとした） D : 悪化している E : 評価困難

#### 目的1 安心して妊娠・出産期を過ごすことができる

指標の種類	項目	2次計画策定期(H23年度)	現状(H28年度)	目標値	達成状況	把握方法
QOL(健康)指標	周産期死亡 (妊娠満22週以後死産+早期新生児死亡)	H22 3.4 (2人)	H26 3.6 (2人)	減少	C	人口動態調査 (えひめの衛生統計)
	妊娠・出産・育児に関して不安がある妊婦の割合	45.0%	61.2%	減少	D	妊婦アンケート
	低出生体重児の割合	H22 7.3% (43人)	H26 9.0% (49人)	減少	D	人口動態調査 (えひめの衛生統計)
	極低出生体重児の割合 (1500g未満)	H22 0.7% (4人)	H26 0.7% (4人)	減少	C	人口動態調査 (えひめの衛生統計)
	産後うつのリスクの高い人の件数 (割合)	115人 (23.5%)	64人 (21.4%)	減少	A	赤ちゃん訪問 アンケート
	妊婦一般健康診査の結果貧血妊婦の割合	53.9%	49.4%	減少	A	事業実績
	妊婦一般健康診査の結果血糖値の高い妊婦の割合	3.5%	6.5%	減少	D	事業実績
行動指標	妊娠11週以内での妊娠届出率	83.7%	82.2%	増加	D	事業実績
	妊婦一般健康診査受診率 (A券1回)	5回① 96.6%	97.7%	現状維持	A	事業実績
	定期的に妊婦健診を受診している妊婦の割合	98.2%	98.3%	100%	C	赤ちゃん訪問 アンケート
	妊娠中の喫煙率	6.6%	5.6%	0.0%	B	妊婦一般健診質問票
	妊娠中の同居家族の喫煙率	44.7%	37.6%	減少	A	妊婦一般健診質問票
	妊娠中の飲酒率	6.3%	2.2%	減少	A	赤ちゃん訪問 アンケート
	妊娠中7~12kg体重増加した妊婦の割合	64.2%	60.5%	増加	D	赤ちゃん訪問 アンケート
	毎日寝る前に歯みがきをしている妊婦の割合	98.1%	95.3%	増加	D	妊婦アンケート
	毎日寝る前に歯みがきをしている産婦の割合	98.0%	97.3%	現状維持	C	赤ちゃん訪問 アンケート
	妊娠期に歯科健診を受けた妊婦の割合	31.8%	36.3%	50%	B	事業実績
	朝食を欠食している妊婦の割合	5.6%	15.0%	減少	D	妊婦アンケート
	1日3食食べている産婦の割合	89.2%	77.9%	増加	D	赤ちゃん訪問 アンケート
環境指標	産婦人科の病院・診療所数	4件	4件	現状維持	A	産婦人科医会HP
	勤労妊婦の内、妊娠中に職場の理解と協力が得られた妊婦の割合	94.7%	91.8%	増加	D	赤ちゃん訪問 アンケート

#### 目的2 安心して子育てができる

指標の種類	項目	2次計画策定期(H23年度)	現状(H28年度)	目標値	達成状況	把握方法
QOL(健康)指標	育児が楽しいと感じている保護者の割合	8か月児相談	99.8%	99.0%	現状維持	C
		1歳6か月児健診	99.4%	98.2%	現状維持	D
		2歳児相談	99.5%	98.3%	現状維持	D
		3歳児健診	98.7%	98.8%	現状維持	A
	子どもがいとおしいと思う保護者の割合	8か月児相談	100.0%	99.3%	現状維持	C
		1歳6か月児健診	99.6%	99.7%	現状維持	A
		2歳児相談	99.5%	99.3%	現状維持	C
		3歳児健診	99.2%	100.0%	現状維持	A
	育児がしんどいと思っている保護者の割合	8か月児相談	51.8%	42.3%	減少	A
		1歳6か月児健診	30.2%	25.7%	減少	A
		2歳児相談	32.1%	25.1%	減少	A
		3歳児健診	26.1%	24.4%	減少	A
	子育てのために我慢ばかりしていると思う保護者の割合	5歳児健診	30.0%	29.2%	減少	C
						健診質問票
	しつけについて不安がある保護者の割合					健診質問票

指標の種類	項目	2次計画策定期(H23年度)	現状(H28年度)	目標値	達成状況	把握方法	
行動指標	育児の協力者がいる保護者の割合	赤ちゃん訪問	98.2%	99.7%	現状維持	A	赤ちゃん訪問アンケート
		8か月児相談	97.9%	96.7%	現状維持	D	健診質問票
		1歳6か月児健診	97.0%	98.2%	現状維持	A	
		2歳児健康相談	97.4%	96.9%	現状維持	C	
		3歳児健診	96.2%	98.6%	現状維持	A	
	育児について相談できる人がいる保護者の割合	5歳児健診	97.6%	96.4%	現状維持	D	健診質問票
		赤ちゃん訪問	99.2%	99.3%	100%	C	
		8か月児相談	95.2%	98.0%	100%	B	
		1歳6か月児健診	98.1%	97.5%	100%	C	
		2歳児健康相談	98.3%	98.8%	100%	C	
	子どもとよく遊ぶ保護者の割合	3歳児健診	96.6%	98.4%	100%	B	健診質問票
		5歳児健診	99.6%	97.8%	100%	D	
		1歳6か月児健診	98.7%	98.4%	増加	C	
	虐待の恐れのある家庭への対応件数(実)	2歳児健康相談	98.8%	96.9%	増加	D	健診質問票
		3歳児健診	97.3%	97.1%	増加	C	
環境指標	虐待の恐れのある家庭への対応件数(実)	44件	44件	現状維持	A	福祉課調べ	
環境指標	乳幼児相談実施回数	48回	48回	現状維持	A	事業実績	
環境指標	育児学級実施回数	32回	36回	現状維持	A	事業実績	
環境指標	子育て支援事業や子育てサロンを実施している機関等の数	26か所	29か所	現状維持	A	福祉課調べ	

### 目的3 子どもが心身ともに健やかに育つことができる

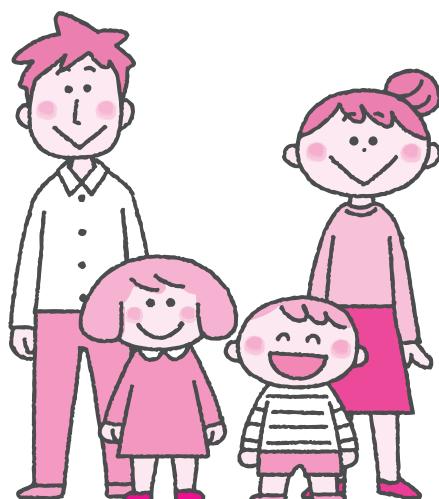
指標の種類	項目	2次計画策定期(H23年度)	現状(H28年度)	目標値	達成状況	把握方法	
QOL(健康)指標	肥満者の割合	3歳児健診男子	1.1%	0.4%	減少	C	事業実績
		3歳児健診女子	2.8%	2.2%	減少	C	事業実績
		小学校4年生男子	11.7%	11.6%	減少	C	小児生活習慣病予防健診
		小学校4年生女子	8.9%	9.2%	減少	C	小児生活習慣病予防健診
		中学校1年生男子	9.9%	10.8%	減少	C	小児生活習慣病予防健診
		中学校1年女子	9.9%	12.9%	減少	D	小児生活習慣病予防健診
	むし歯のない児の割合	3歳児健診	69.1%	73.0%	80%	B	事業実績
		小学生	26.0%	H27 57.3%	増加	A	保健安全調査集計
		中学生	45.5%	H27 78.4%	増加	A	保健安全調査集計
	3歳児健診における一人平均う歯数	1.06本	0.99本	減少	A	事業実績	
行動指標	もぐもぐ子育て講座受講率	総数	37.4%	36.3%	増加	D	事業実績
		第1子	68.5%	62.0%	増加	D	
	乳児一般健康診査受診率	3～6か月	96.3%	75.5%	現状維持	D	事業実績
		9～11か月	54.0%	69.6%	増加	A	
	3か月児健康診査受診率		89.2%	99.3%	増加	A	事業実績
	1歳6か月児健康診査受診率		89.4%	95.5%	90%	A	事業実績
行動指標	3歳児健康診査受診率		81.9%	94.9%	90%	A	事業実績
	精密検査が必要な児の精密検査受診率	乳児一般健康診査	50.0%	100.0%	100%	A	事業実績
		3か月児健診	H25 100%	100.0%	100%	A	
		1歳6か月児健診	100%	100.0%	100%	A	
		3歳児健診	71.4%	75.0%	100%	B	

指標の種類	項目	2次計画策定期(H23年度)	現状(H28年度)	目標値	達成状況	把握方法
行動指標	子どもの事故防止に注意している保護者の割合	3か月児健診	H25: 94.0%	99.1%	100%	B
		8か月児相談	98.8%	98.3%	100%	C
		1歳6か月児健診	95.0%	98.2%	100%	B
		2歳児健康相談	99.3%	99.8%	100%	C
		3歳児健診	96.2%	96.1%	100%	C
		5歳児健診	97.6%	98.0%	100%	C
	朝9時以降に起床する児の割合	1歳6か月児健診	8.0%	2.5%	減少	A
		2歳児健康相談	3.5%	1.7%	減少	A
		3歳児健診	1.9%	1.0%	0%	C
		5歳児健診	0.2%	0.6%	0%	C
	夜10時以降に就寝する児の割合	1歳6か月児健診	22.8%	19.5%	減少	A
		2歳児健康相談	31.6%	30.0%	減少	A
		3歳児健診	27.8%	30.9%	減少	D
		5歳児健診	22.2%	19.6%	減少	A
		小学校4年生	27.6%	H27 21.5%	減少	A
	3か月児健診時に母乳育児をしている保護者の割合	H22: 73.2%	92.3%	増加	A	健診質問票
	7～8か月児に甘い飲料やお菓子を与えている保護者の割合	乳酸菌飲料	8.8%	4.6%	減少	A
		清涼飲料	24.2%	18.4%	減少	A
		ボーロ	29.4%	35.4%	減少	D
		せんべい	41.2%	46.0%	減少	D
	食事を作ることに興味のある保護者の割合	8か月児相談	53.5%	H26 54.6%	増加	A
		1歳6か月児健診	50.2%	40.2%	増加	D
		3歳児健診	48.8%	41.8%	増加	D
	朝食を欠食する子どもの割合	1歳6か月児健診	5.4%	5.6%	減少	C
		3歳児健診	5.6%	8.8%	減少	D
		小学校4年生	2.1%	4.8%	減少	D
		中学校2年生	6.7%	10.4%	減少	D
		高校2年生	4.7%	15.5%	減少	D
	朝食で主食・主菜・副菜のそろった食事をしている子の割合	1歳6か月児健診	19.7%	34.3%	増加	A
		3歳児健診	19.4%	35.2%	増加	A
		小学校4年生	42.0%	25.5%	増加	D
		中学校2年生	21.0%	24.4%	増加	A
		高校2年生	17.4%	21.0%	増加	A
	間食時間を決めている子の割合	1歳6か月児健診	66.5%	67.7%	増加	A
		3歳児健診	66.0%	72.5%	増加	A
	よく噛んで食べることができる子の割合	3歳児健診	75.6%	76.2%	増加	C
		5歳児健康状態調べ	93.3%	91.5%	増加	D
	家族といっしょに夕食をとっている子の割合	1歳6か月児健診	76.8%	91.0%	増加	A
		3歳児健診	81.7%	98.0%	増加	A
		小学校4年生	87.7%	H27 92.6%	増加	A
		中学校2年生	88.4%	87.3%	増加	D
		高校2年生	75.4%	81.8%	増加	A

指標の種類	項目	2次計画策定期(H23年度)	現状(H28年度)	目標値	達成状況	把握方法
行動指標	運動やスポーツを習慣的(週3日以上)にしている割合	小学校4年生	86.4%	81.8%	増加	D
	テレビやゲームを1日2時間以上視聴している児の割合	1歳6か月児健診	H25:33.0%	34.4%	減少	D
		2歳児健康相談	H25:35.5%	37.1%	減少	D
		3歳児健診	H25:60.8%	42.6%	減少	A
		5歳児健診	H25:48.5%	43.8%	減少	A
	幼児歯科健診受診率	1歳6か月児健診	89.4%	95.1%	増加	A
		3歳児健診	81.9%	94.9%	増加	A
	毎日家族が仕上げ磨きをしている児の割合	1歳6か月児健診	83.9%	88.7%	100%	B
		3歳児健診	87.8%	91.4%	100%	B
		5歳児健康状態調べ	68.0%	69.9%	100%	B
	毎日本人が寝る前の歯みがきをしている児の割合	1歳6か月児健診	75.3%	77.1%	増加	A
		3歳児健診	82.8%	84.4%	増加	A
		5歳児健康状態調べ	74.8%	75.7%	増加	C
	毎食後歯みがきをしている生徒の割合	小学校4年生	68.8%	68.9%	増加	C
		中学校2年生	64.7%	79.2%	増加	A
		高校2年生	43.2%	54.1%	増加	A
	1歳6か月児健診時予防接種実施率	四混Ⅰ期初回接種率	H25:16.6%	96.8%	増加	A
		M R接種率	80.9%	86.0%	95.0%	B
	定期接種期間にB C G接種をしている児の割合		95.0%	97.1%	100%	B
	MR II期を接種した児の割合		96.0%	93.5%	100%	D
	緊急時の対応(育児のしおり、#8000、休日当番医)を知っている保護者の割合	8か月児相談	H25:95.5%	95.7%	増加	C
		1歳6か月児健診	H25:90.3%	98.4%	増加	A
		3歳児健診	H25:90.1%	96.5%	増加	A
	かかりつけ医(小児科)を持っている児の割合	3か月児健診	H25:80.5%	82.3%	増加	A
		1歳6か月児健診	H25:82.0%	90.5%	増加	A
		3歳児健診	H25:77.6%	87.7%	増加	A
		5歳児健康状態調べ	H25:79.1%	79.8%	増加	C
環境指標	う歯予防教育の実施回数		53回	54回	現状維持	A
	3歳児健診時心理相談回数		6回	16回	現状維持	A
	言語相談回数	2歳児健康相談	6回	6回	現状維持	A
		3歳児健診	6回	6回	現状維持	A
	小児科の病院・診療所数		5力所	7力所	現状維持	A
						小児科医師会HP

#### 目的4 思春期の発達課題を親子で克服することができる

指標の種類	項目	2次計画策定時 (H23年度)	現状 (H28年度)	目標値	達成状況	把握方法	
QOL (健康) 指標	自分のことを好きだと思う生徒の割合	小学校4年生	67.2%	49.7%	増加	D	生活習慣健康意識調査
		中学校2年生	40.7%	50.6%	増加	A	
		高校2年生	35.6%	48.8%	増加	A	
	命を大切だと思わない生徒の数	中学校2年生	1.1%	1.2%	0%	C	生活習慣健康意識調査
		高校2年生	0.6%	1.7%	0%	D	
	タバコの害を認識していない生徒の割合	中学校2年生	2.5%	1.6%	0%	C	生活習慣健康意識調査
		高校2年生	1.3%	1.3%	0%	C	
	お酒の害を認識していない生徒の割合	中学校2年生	3.0%	2.8%	0%	C	生活習慣健康意識調査
		高校2年生	2.4%	1.3%	0%	B	
	悩みを相談できる人がいる生徒の割合	小学校4年生	82.6%	78.5%	増加	D	生活習慣健康意識調査
		中学校2年生	80.0%	84.7%	増加	A	
		高校2年生	83.9%	85.0%	増加	A	
行動指標	18歳以下の妊婦の割合	H25：12人	8人	減少	A	妊娠届出	
	適正体重を知っている生徒の割合	中学校2年生	—	60.8%	増加	E	生活習慣健康意識調査
		高校2年生	—	50.7%	増加	E	
	家庭の中であいさつや会話を心がけている生徒の割合	小学校4年生	93.7%	95.6%	増加	A	生活習慣健康意識調査
		中学校2年生	74.1%	81.7%	増加	A	
		高校2年生	72.0%	78.4%	増加	A	
	自分に必要な食事の量やどんなものを食べればよいか知っている生徒の割合	中学校2年生	62.3%	74.2%	増加	A	生活習慣健康意識調査
		高校2年生	48.1%	67.0%	増加	A	
	ダイエットをしたことのある生徒の割合	中学校2年生	13.5%	25.5%	減少	D	生活習慣健康意識調査
		高校2年生	30.5%	31.0%	減少	C	
環境指標	思春期の個別相談実施回数	8回	8回	現状維持	A	事業実績	
	思春期の子を持つ親のつどい実施回数	10回	10回	現状維持	A	事業実績	
	思春期に関する学習会の実施回数	4回	2回	現状維持	D	事業実績	
	スクールカウンセラーを配置している学校の数	4校	6校	現状維持	A	学校教育課調査	

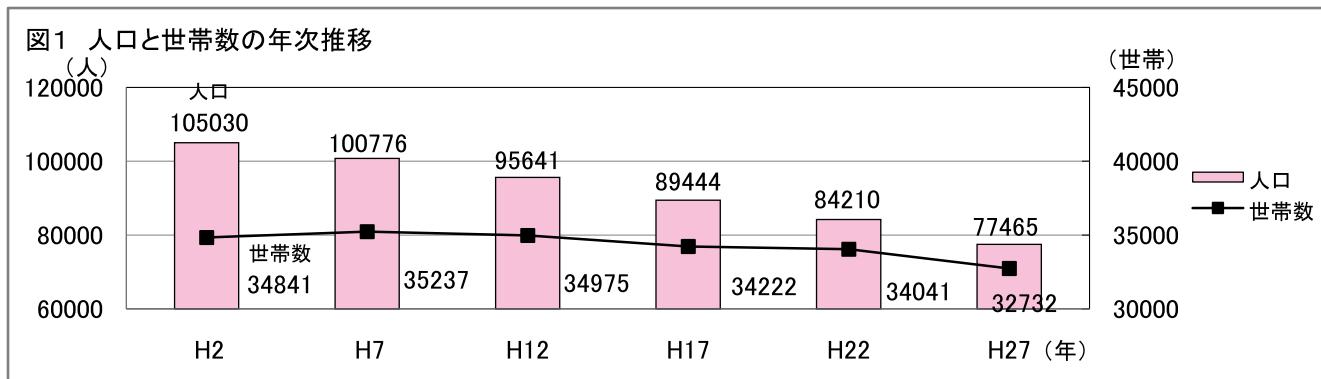


## 目的5 女性が生涯を通じて健康にいきいきと過ごすことができる

指標の種類	項目	2次計画策定期 (H23年度)	現状 (H28年度)	目標値	達成状況	把握方法
QOL (健康)指標	健診受診率	19.0%	H27 30.0%	増加	A	事業実績
	健診において血糖値異常を指摘された人の割合	54.2%	53.6%	減少	C	事業実績
	子宮頸がん検診の受診率	10.9%	18.3%	増加	A	事業実績
	肥満者の割合	18.3%	25.6%	減少	D	事業実績
	がん死亡率	乳	人口10万対 H21 15.3%	H25 10.7%	減少	A
		子宮	人口10万対 H21 10.9%	H25 10.8%	減少	C
	がん検診受診率	乳	22.0%	21.7%	増加	C
		子宮	19.1%	18.3%	増加	C
	がん検診精密検査受診率	乳	93.0%	96.0%	100%	B
		子宮	42.9%	73.9%	100%	B
行動指標	自分の適正体重を知っている人の割合	89.6%	89.5%	増加	C	アンケート
	喫煙している人の割合	10.9%	11.9%	減少	C	健診問診票
	運動習慣のある人の割合	23.1%	14.2%	増加	D	アンケート
	骨粗鬆症予防に関する教室等の参加者数	113人	口コモ15回・ 278人 骨粗鬆0回	増加	A	事業実績
	多量飲酒する人の割合	0.2%	1.9%	減少	D	健診問診票
	朝食を欠食する人の割合	11.9%	9.4%	減少	A	アンケート
	バランスのとれた朝食をとっている人の割合（主食・主菜・副菜）	37.8%	14.8%	増加	D	アンケート
	夕食後に間食をしている人の割合	12.8%	16.6%	減少	D	健診問診票
	乳がんの自己検診をしている人の割合	31.9%	49.5%	増加	A	アンケート
	定期的に歯科検診を受ける人の割合	45.3%	47.0%	増加	A	アンケート
	毎食後歯みがきをする人の割合	69.5%	77.0%	増加	A	アンケート
	ストレス解消の方法を持っている人の割合	64.7%	62.1%	増加	D	アンケート
	悩みを相談できる相手のいる人の割合	90.6%	93.5%	増加	A	アンケート
	家庭の中であいさつや会話を心がけている人の割合	91.6%	95.3%	増加	A	アンケート
環境指標	心の健康相談等の実施回数	12回	6回	現状維持	D	事業実績
	更年期に関する健康教育実施回数	0回	1回	増加	A	事業実績
	検診時の保育ボランティアの活用回数	3回 24人	5回 14人	増加	A	事業実績

## 2 主な人口動態統計

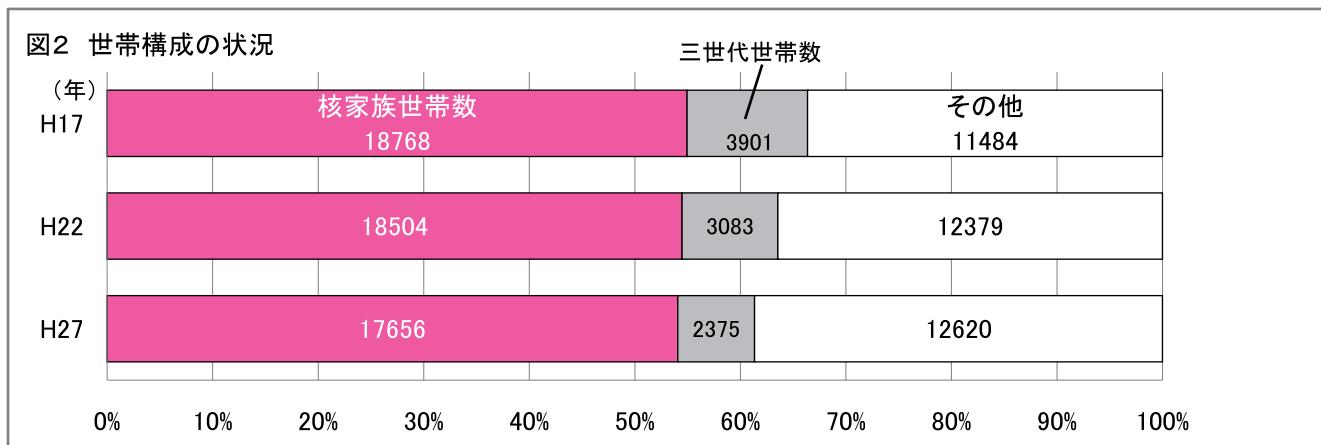
### (1) 人口と世帯数の年次推移



・人口、世帯数ともに年々減少しています。

(国勢調査)

### (2) 世帯構成の状況



・三世代世帯数は年々減少しています。

(国勢調査)

### (3) 婚姻・離婚件数の状況

表1 婚姻件数

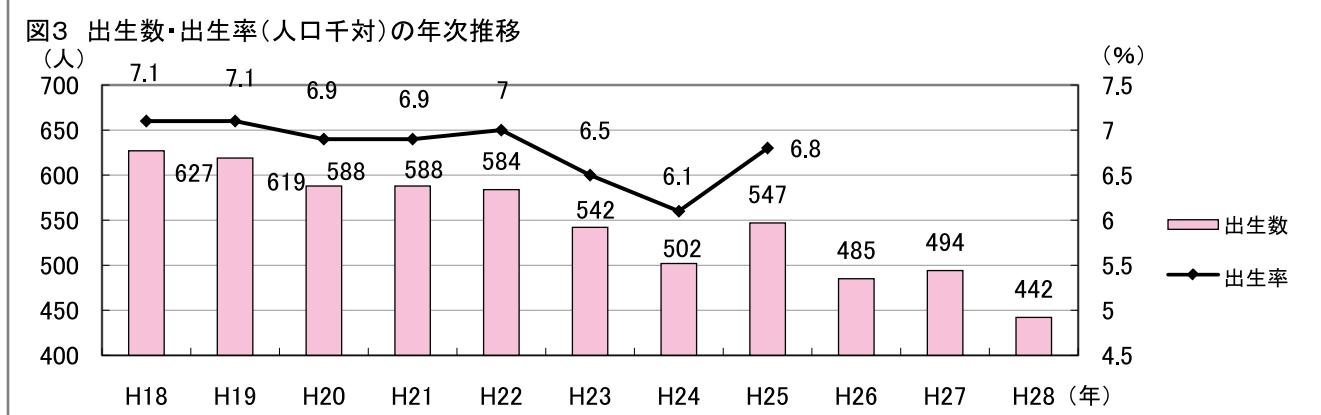
H24年	285
H25年	323
H26年	237
H27年	269
H28年	263

表2 離婚件数

H24年	137
H25年	153
H26年	138
H27年	125
H28年	120

(人口動態調査)

### (4) 出生数・出生率の状況



・出生数は減少傾向です。

・平成25年の出生率は、国 8.2 県 7.7に比べ、宇和島市 6.8と低い状況です。

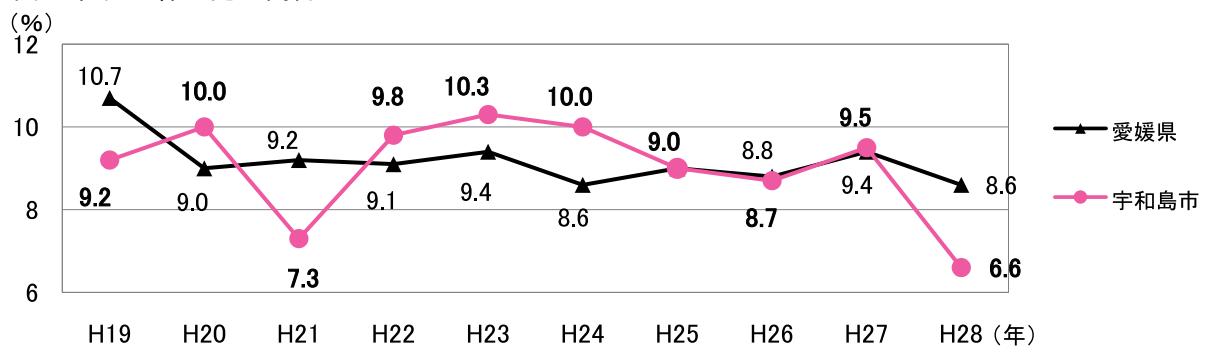
(H18~25年：保健統計年報、H26~28年：人口動態調査)

## (5) 低出生体重児の状況

表3

	出生数	2500 g未満 (再掲)
H19年	619	53
H20年	588	59
H21年	588	3
H22年	584	57
H23年	542	56
H24年	502	50
H25年	547	49
H26年	485	42
H27年	494	47
H28年	442	29

図4 低出生体重児の割合



※太字：宇和島市の割合 (人口動態調査)

- 出生数に対する低出生体重児の割合は、H23年以降減少傾向です。

## (6) 死亡数の状況

表4 死亡数

	死亡総数	乳児死亡数 (再掲)	新生児死亡数 (再掲)
H24年	1229	2	2
H25年	1347	3	0
H26年	1299	0	0
H27年	1262	0	0
H28年	1296	1	0

表5 死産数

	自然死産数	人工死産数
H24年	7	11
H25年	5	8
H26年	5	11
H27年	2	5
H28年	6	10

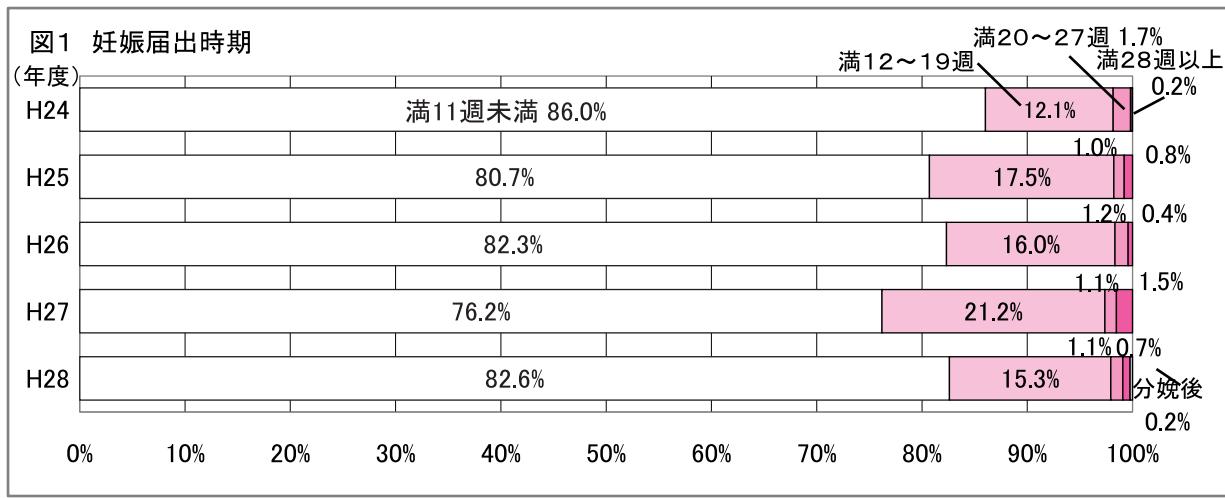
表6 周産期死亡数

	周産期 死亡総数	22週以後の 死産数	早期新生児 死亡数
H24年	4	3	1
H25年	2	2	0
H26年	1	1	0
H27年	1	1	0
H28年	0	0	0

(人口動態調査)

### 3 母子保健事業の概況

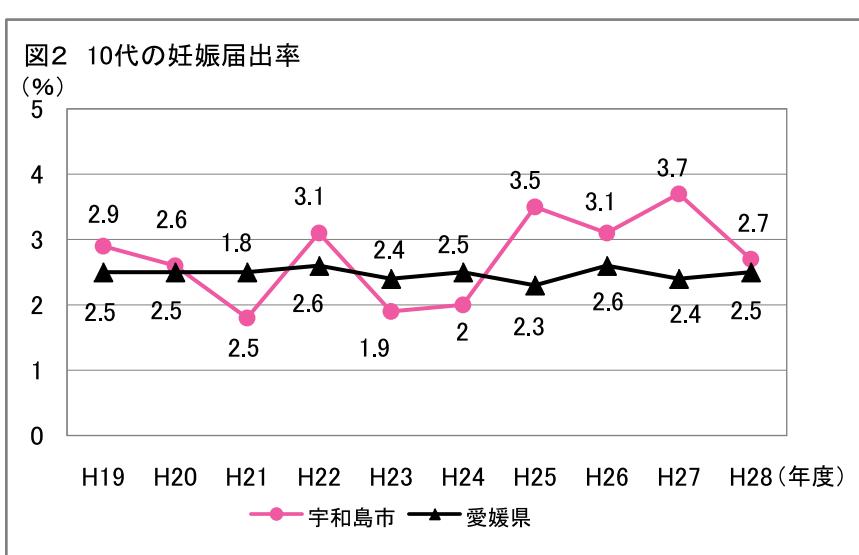
#### (1) 妊娠届出の状況



・満11週未満の妊娠届出率は約80%ですが、県内で低い状況にあります（H28年度：県 89.5%）。

表1 妊娠届出数と10代の妊娠届出率

	妊娠届出数（人）	
	全数	10代
H19年度	577	17
H20年度	617	16
H21年度	604	11
H22年度	543	17
H23年度	522	10
H24年度	544	11
H25年度	508	18
H26年度	481	15
H27年度	458	17
H28年度	437	12



・10代の妊娠届出率は年によって変動がありますが、県平均より高く推移しています。

#### (2) 訪問の状況

表2 妊婦・産婦・乳児・幼児訪問の状況

	妊婦訪問		産婦訪問		乳児訪問		新生児訪問		(再掲) 未熟児訪問		幼児訪問	
	実人員	率	実人員	率	実人員	実人員	率	実人員	率	実人員	実人員	
H24年度	15	2.8	453	90.2	304	171	37.6	26				294
H25年度	8	1.6	531	97.1	376	143	26.1	47	100			288
H26年度	19	4	448	92.4	275	202	41.3	40	100			293
H27年度	15	3.3	430	87	276	204	43.9	41	100			238
H28年度	8	1.8	369	74.7	232	185	45.6	37	100			201

※妊婦訪問率：妊娠届出に対する割合

産婦訪問率：出生数に対する割合

(事業実績)

※新生児訪問率：赤ちゃん訪問実施数に対する割合

未熟児訪問率：出生時体重2,500g未満の児に対する割合

### (3) 相談の状況

表3 妊婦・産婦相談の状況

	妊婦相談			産婦相談		
	来庁・定例相談		電話相談	来庁・定例相談		電話相談
	実人員	延人員	延人員	実人員	延人員	延人員
H24年度	575	590	28	55	105	20
H25年度	517	522	20	45	83	23
H26年度	496	503	41	22	31	16
H27年度	467	475	37	44	63	23
H28年度	451	457	25	32	52	25

(母子保健報告)

表4 育児相談の状況

	乳児相談			幼児相談		
	来庁・定例相談		電話相談	来庁・定例相談		電話相談
	実人員	延人員	延人員	実人員	延人員	延人員
H24年度	582	941	201	1114	1561	324
H25年度	746	1083	153	1014	1477	358
H26年度	758	1070	132	1043	1460	362
H27年度	265	594	136	678	1078	388
H28年度	676	982	138	964	1389	332

(母子保健報告)

表5 思春期相談の状況

	来庁・定例相談		電話相談
	実人員	延人員	延人員
H24年度	26	42	7
H25年度	18	35	6
H26年度	42	90	10
H27年度	19	47	8
H28年度	21	40	4

表6 思春期の子を持つ親のつどい

	実人員	延人員
H24年度	8	34
H25年度	15	51
H26年度	17	48
H27年度	13	41
H28年度	11	43

(事業実績)

### (4) 教育の状況

表7 母親・両親・乳幼児・思春期学級の状況

	母親学級			両親学級			乳児期		幼児期		思春期	
	実施回数	参加延人数	父親(再掲)	実施回数	参加延人数	父親(再掲)	実施回数	参加延人数	実施回数	参加延人数	実施回数	参加延人数
H24年度	2	9	0	6	98	47	20	361	79	3092	13	1470
H25年度				9	191	90	21	411	71	2793	12	931
H26年度				8	179	88	18	401	77	2621	15	1039
H27年度				8	179	84	18	354	71	3474	14	864
H28年度				5	128	64	19	380	15	450	15	963

(母子保健報告)

### (5) 特定不妊治療費助成事業

- 妊娠を望むご夫婦が安心して不妊治療が受けられるように、その費用の一部を助成しています（平成28年度開始）。

表8

	実人員	延人員
H28年度	15	27

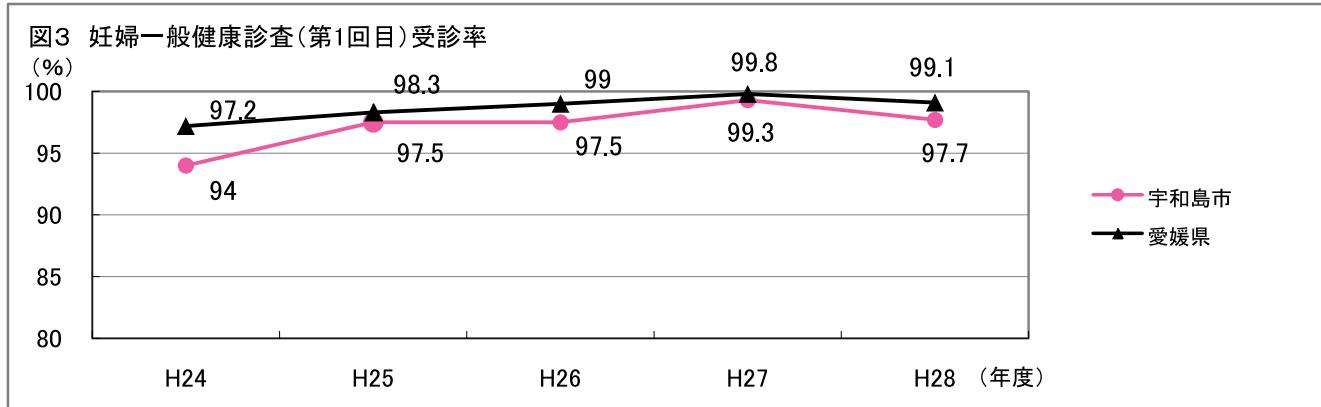
### (6) 離島地区妊婦健康診査等交通費助成事業

- 離島地域の妊婦や乳幼児が健診を受けやすくなるよう、健診受診のための交通費を助成しています（平成28年度開始）。

表9

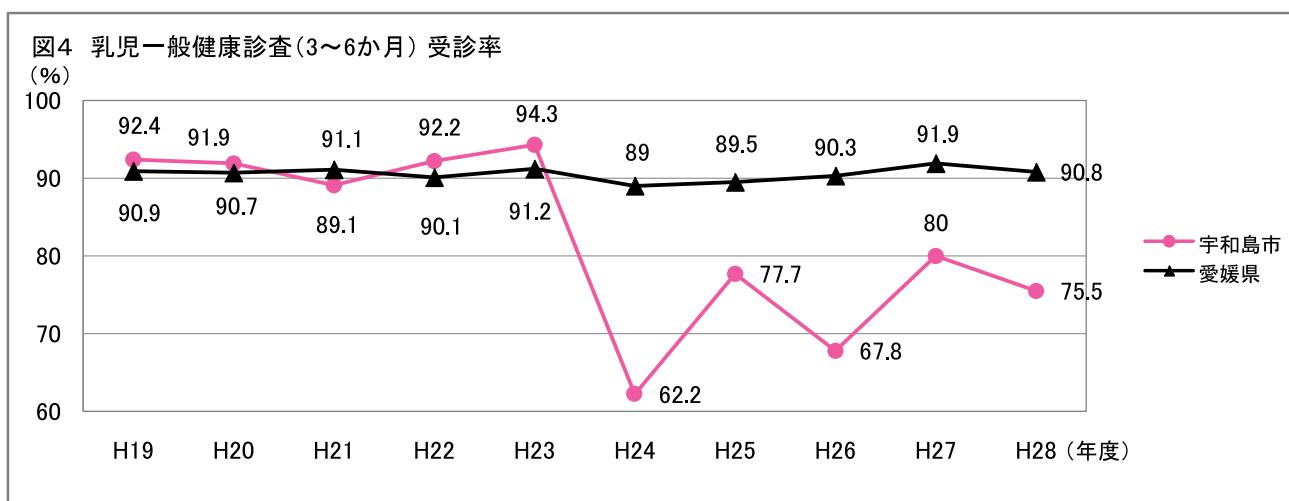
	実人員	延人員
H28年度	3	5

## (7) 健診の状況



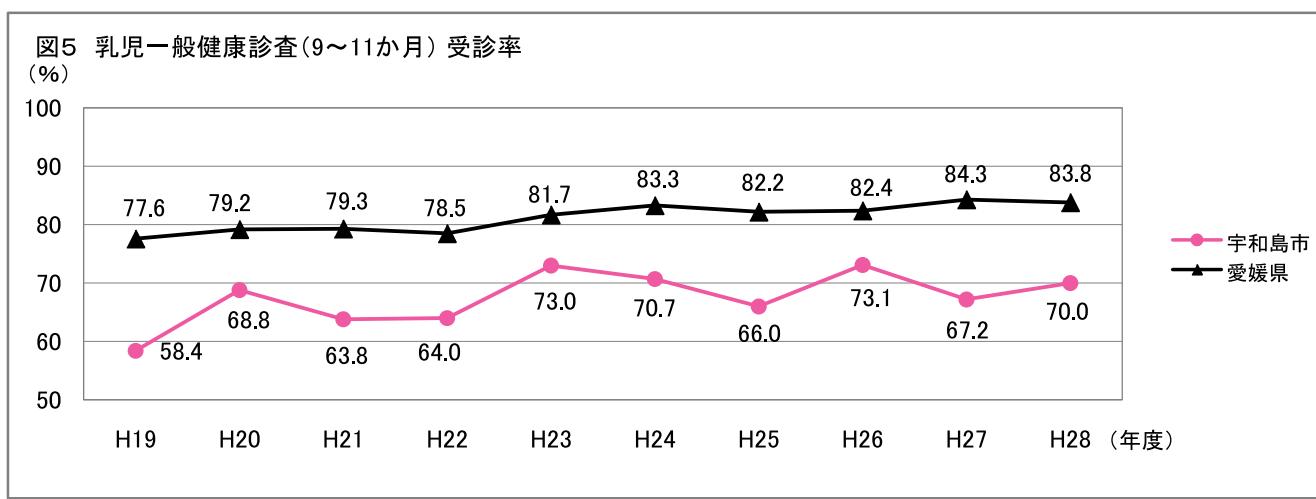
(母子保健報告)

※妊婦一般健康診査（第1回目）受診率：母子健康手帳届出者数のうち、妊婦一般健康診査（第1回目）を受診した者の割合



(母子保健報告)

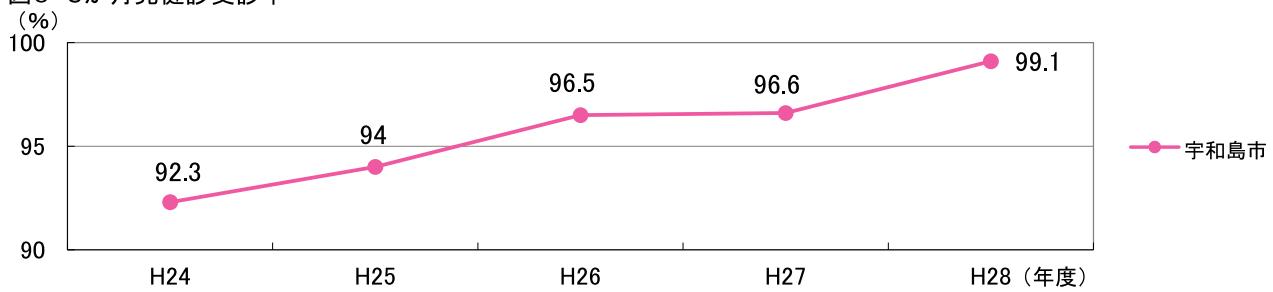
- 3～6か月の乳児一般健康診査受診率は、平成24年度から市が集団健診を開始したため、それ以降県平均より低く推移しています。



(母子保健報告)

- 9～11か月の乳児一般健康診査受診率は、県平均より低く推移し、年によって変動が見られます。

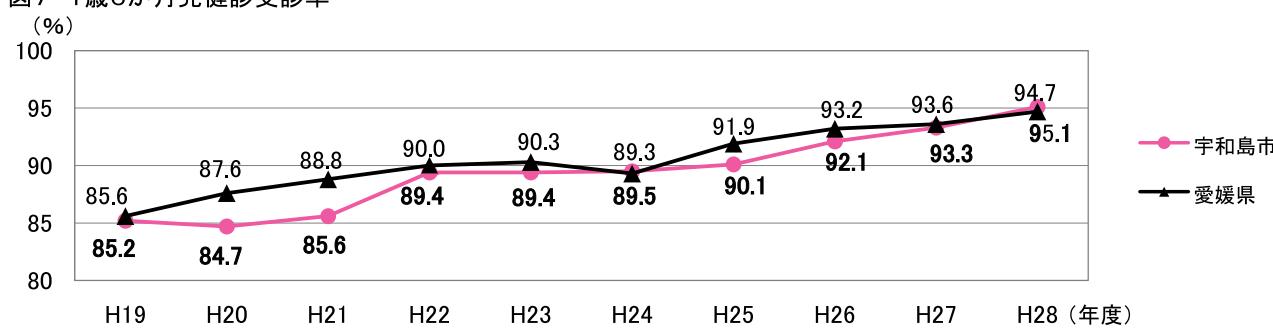
図6 3か月児健診受診率



- 3か月児健診受診率は年々増加しています。

(事業実績)

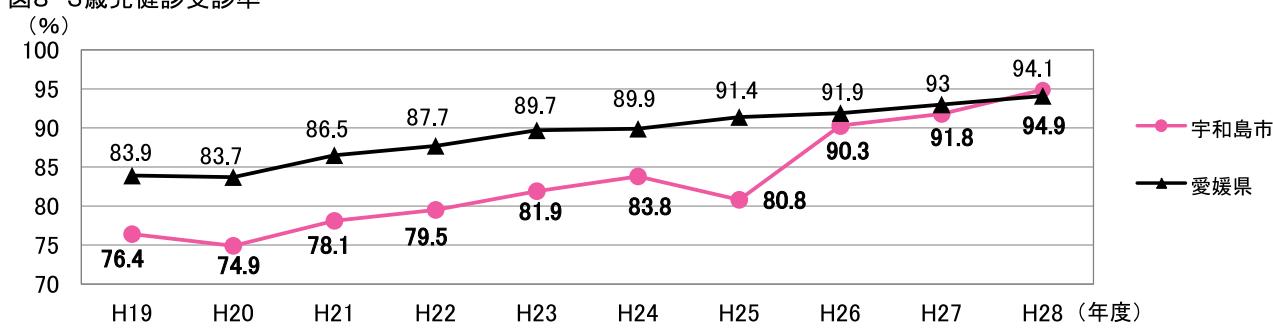
図7 1歳6か月児健診受診率



- 1歳6か月児健診受診率は県平均と同等に推移しており、年々増加しています。

※太字：宇和島市の割合（母子保健報告）

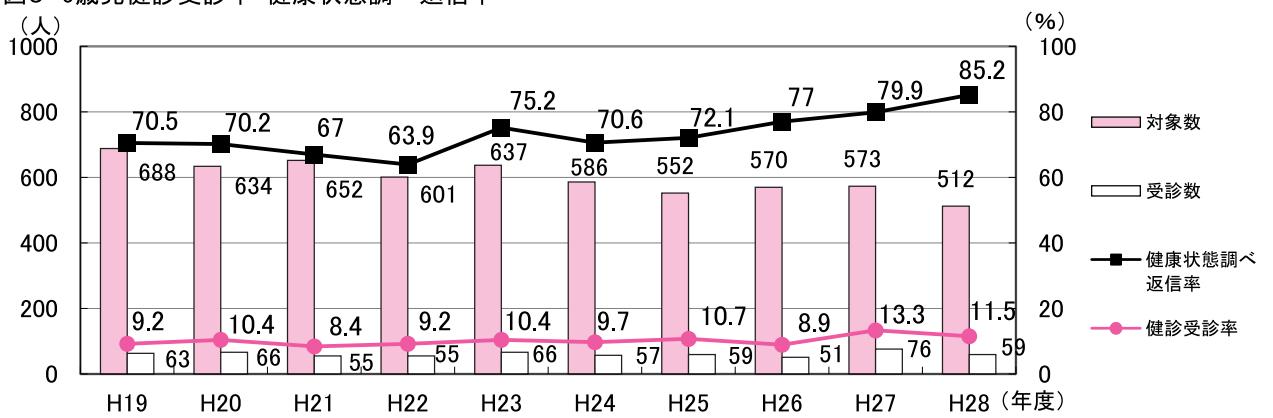
図8 3歳児健診受診率



- 3歳児健診受診率は県平均より低く推移していますが、増加傾向です。

※太字：宇和島市の割合（母子保健報告）

図9 5歳児健診受診率・健康状態調べ返信率



- 5歳児健診は、対象者全員に健康状態調べを送付し、その返信により、希望者が受診する健診です。受診率は増加傾向です。

(事業実績)

## 4 第2次計画評価用アンケート

### 1) 健康意識&生活習慣についてのアンケート【成人】

①実施期間 平成29年9月13日～10月31日

②対象と回収状況

対象者	回収数(人)
国保加入世帯	182
保育協議会アンケート	1,705
幼稚園保護者	315
保育園保護者	1,356

③内容

- 1 適正体重を知っているか
- 2 運動習慣の有無
- 3 適正飲酒ができているか
- 4 朝食を毎日食べているか
- 5 朝食に主食・主菜・副菜がそろっているか
- 6 1日の野菜摂取量
- 7 毎食後の歯みがきの有無
- 8 定期的な歯科健診の有無
- 9 喫煙習慣の有無
- 10 ストレス解消法の有無
- 11 悩みを相談できる人の有無
- 12 家庭の中であいさつや会話をこころがけているか

※当計画に係る項目のみ抜粋

### 2) 生活習慣及び健康に関する子どもの意識調査【小学生・中学生・高校生】

①実施期間 平成29年7月5日～7月19日

②対象と回収状況

宇和島市内の抽出校 小学校4年生(7校)・中学校2年生(6校)・高校2年生(4校)

アンケート回収数	男	女	男女不明	合計
小学校4年生	149	125	0	274
中学校2年生	236	195	1	432
高校2年生	全地区	251	216	14
	市内	167	171	5
	市外	54	45	9
				108

有効数	男	女	合計	備考
小学校4年生	149	125	274	全数有効
中学校2年生	236	195	431	男女不明を除く
高校2年生	251	216	467	男女不明を除く

③内容及び結果

《小学生》

【n = 274】

		項目	毎日食べる	どちらかと言えば食べる	あまり食べない	食べない	未記入
1	朝食を毎日食べていますか。	合計	230	29	12	1	2
		割合	83.9%	10.6%	4.4%	0.4%	0.7%
		項目	毎日そろっている	時々そろっている	そろっていない	食べない	
2	朝ご飯は主食・主菜・副菜がそろっていますか。	合計	70	123	79	2	
		割合	25.5%	44.9%	28.8%	0.7%	
		項目	週6~7回	週3~5回	週1~2回	あまり食べない	未記入
3	1週間のうち、夕食に魚料理を何回食べますか。	合計	23	98	100	52	1
		割合	8.4%	35.8%	36.5%	19.0%	0.4%
		項目	2~3回	1回	あまり食べない	未記入	
4	1日何回米飯を食べていますか。	合計	237	34	0	3	
		割合	86.5%	12.4%	0.0%	1.1%	
		項目	はい	いいえ	未記入		
5	野菜をたくさん食べますか。	合計	189	79	6		
		割合	69.0%	28.8%	2.2%		
		項目	1日2個以上	1日1個くらい	時々食べる	食べない	未記入
6	みかんを食べますか	合計	127	49	70	27	1
		割合	46.4%	17.9%	25.5%	9.9%	0.4%
		項目	0日	1日	2日	3日	4日
7	1週間のうち、何日運動や外遊びをしますか	合計	1	16	31	22	26
		割合	0.4%	5.8%	11.3%	8.0%	9.5%
		項目	5日	6日	7日	未記入	
8	毎日歯をみがきますか	合計	44	35	97	2	
		割合	16.1%	12.8%	35.4%	0.7%	
		項目	はい	いいえ	未記入		
9	毎日歯をみがく人は、1日何回歯をみがきますか	合計	263	11	0		
		割合	96.0%	4.0%	0.0%		
		項目	1回	2回	3回	未記入	
10	たばこをすう人をどのように思いますか	合計	11	69	182	2	
		割合	4.2%	26.1%	68.9%	0.8%	
		項目	かっこいい	かっこ悪い	どちらとも思わない	未記入	
11	お酒を飲む人をどのように思いますか	合計	14	163	97	0	
		割合	5.1%	59.5%	35.4%	0.0%	
		項目	かっこいい	かっこ悪い	どちらとも思わない	未記入	
12	自分のことが好きですか	合計	15	128	131	0	
		割合	5.5%	46.7%	47.8%	0.0%	
		項目	かっこいい	かっこ悪い	どちらとも思わない	未記入	
13	なやみを相談できる人がいますか	合計	44	92	97	40	1
		割合	16.1%	33.6%	35.4%	14.6%	0.4%
		項目	いる	いない	未記入		
14	家庭でいさつや話をしますか	合計	215	59	0		
		割合	78.5%	21.5%	0.0%		
		項目	はい	いいえ	未記入		

## 《中学生》

【n = 431】

1	朝食を毎日食べていますか。	項目	毎日食べる	どちらかと言えば食べる	あまり食べない	食べない	未記入
		合計	341	43	23	22	2
		割合	79.1%	10.0%	5.3%	5.1%	0.5%
2	朝ご飯は主食・主菜・副菜がそろっていますか。	項目	毎日そろっている	時々そろっている	そろっていない	未記入	
		合計	105	192	134	0	
		割合	24.4%	44.5%	31.1%	0.0%	
3	1日何回米飯を食べていますか。	項目	2~3回	1回	あまり食べない	未記入	
		合計	393	34	3	1	
		割合	91.2%	7.9%	0.7%	0.2%	
4	野菜を1日何回食べますか	項目	毎食	2回	1回	ほとんど食べない	未記入
		合計	200	168	52	11	0
		割合	46.4%	39.0%	12.1%	2.6%	0.0%
5	1週間の内、夕食に魚料理を何回食べますか	項目	週6~7日	週3~5日	週1~2日	食べない	未記入
		合計	29	158	184	59	1
		割合	6.7%	36.7%	42.7%	13.7%	0.2%
6	みかんなどの柑橘を食べますか	項目	1日2個以上	1日1個くらい	時々食べる	食べない	未記入
		合計	88	78	216	48	1
		割合	20.4%	18.1%	50.1%	11.1%	0.2%
7	夕食はだれと食べますか	項目	家族と一緒に食べる	ひとりで食べる	未記入		
		合計	376	55	0		
		割合	87.2%	12.8%	0.0%		
8	自分に必要な食事の量や、どんなものを食べればよいか知っていますか	項目	はい	いいえ	未記入		
		合計	320	111	0		
		割合	74.2%	25.8%	0.0%		
9	自分の現在の食生活（食事）をどのように思いますか	項目	良い	あまり良くない	良くない	未記入	
		合計	280	142	9	0	
		割合	65.0%	32.9%	2.1%	0.0%	
10	自分の適正体重を知っていますか？	項目	はい	いいえ	未記入		
		合計	262	169	0		
		割合	60.8%	39.2%	0.0%		
11	ダイエットをしたことがありますか	項目	はい	いいえ	未記入		
		合計	110	317	4		
		割合	25.5%	73.5%	0.9%		
12	学校の授業以外で運動をしますか	項目	しない	たまにする（月1~3回）	時々する（週1~2回）	毎日する	
		合計	49	64	110	204	
		割合	11.4%	14.8%	25.5%	47.3%	
13	毎日歯をみがきますか	項目	毎日みがく	時々みがく	みがかない	未記入	
		合計	404	23	0	4	
		割合	93.7%	5.3%	0.0%	0.9%	
14	「毎日みがく」と答えた人に聞きます。一日何回、歯をみがきますか	項目	1回	2回	3回	未記入	
		合計	10	74	320	0	
		割合	2.5%	18.3%	79.2%	0.0%	
15	たばこを吸うと健康に害があると思いますか	項目	害はない	多少はあるが大したことはない	大いに害がある	わからない	未記入
		合計	7	15	384	20	4
		割合	1.6%	3.5%	89.1%	4.6%	0.9%
16	お酒を飲みすぎると健康に害があると思いますか	項目	害はない	多少はあるが大したことはない	大いに害がある	わからない	
		合計	12	64	320	31	
		割合	2.8%	14.8%	74.2%	7.2%	
17	覚せい剤などの薬物を使うことの有害性や危険性を知っていますか	項目	知っている	知らない	未記入		
		合計	415	13	4		
		割合	96.1%	3.0%	0.9%		
18	自分のことが好きですか	項目	大好き	まあまあ好き	あまり好きでない	嫌い	未記入
		合計	54	164	145	63	5
		割合	12.5%	38.1%	33.6%	14.6%	1.2%
19	命を大切だと思いますか	項目	とても思う	まあまあ思う	あまり思わない	思わない	未記入
		合計	343	68	10	5	4
		割合	79.6%	15.8%	2.3%	1.2%	0.9%
20	悩みを相談できる人がいますか	項目	いる	いない	未記入		
		合計	365	61	5		
		割合	84.7%	14.2%	1.2%		
21	家族の中であいさつや会話を心がけていますか	項目	はい	いいえ	未記入		
		合計	352	75	4		
		割合	81.7%	17.4%	0.9%		

## 《高校生》

【n = 467】

1	朝食を毎日食べていますか。	項目	毎日食べる	どちらかと言えば食べる	あまり食べない	食べない	未記入
		合計	354	41	25	47	0
		割合	75.8%	8.8%	5.4%	10.1%	0.0%
2	朝ご飯は主食・主菜・副菜がそろっていますか。	項目	毎日そろっている	時々そろっている	そろっていない	未記入	
		合計	98	177	191	1	
		割合	21.0%	37.9%	40.9%	0.2%	
3	1日何回米飯を食べていますか。	項目	2~3回	1回	あまり食べない	未記入	
		合計	417	42	8	0	
		割合	89.3%	9.0%	1.7%	0.0%	
4	野菜を1日何回食べますか	項目	ほぼ毎食	2回	1回	ほとんど食べない	未記入
		合計	182	153	98	32	2
		割合	39.0%	32.8%	21.0%	6.9%	0.4%
5	1週間の内、夕食に魚料理を何回食べますか	項目	週6~7日	週3~5日	週1~2日	食べない	未記入
		合計	10	149	219	88	1
		割合	2.1%	31.9%	46.9%	18.8%	0.2%
6	みかんなどの柑橘を食べますか	項目	1日2個以上	1日1個くらい	時々食べる	食べない	未記入
		合計	54	83	253	77	0
		割合	11.6%	17.8%	54.2%	16.5%	0.0%
7	夕食はだれと食べますか	項目	家族と一緒に食べる	ひとりで食べる	未記入		
		合計	382	85	0		
		割合	81.8%	18.2%	0.0%		
8	自分に必要な食事の量や、どんなものを食べればよいか知っていますか	項目	はい	いいえ	未記入		
		合計	313	154	0		
		割合	67.0%	33.0%	0.0%		
9	自分の現在の食生活（食事）をどのように思っていますか	項目	良い	あまり良くない	良くない	未記入	
		合計	236	204	27	0	
		割合	50.5%	43.7%	5.8%	0.0%	
10	自分の適正体重を知っていますか？	項目	知っている	知らない	未記入		
		合計	237	227	3		
		割合	50.7%	48.6%	0.6%		
11	ダイエットをしたことがありますか	項目	はい	いいえ	未記入		
		合計	145	318	4		
		割合	31.0%	68.1%	0.9%		
12	学校の授業以外で運動をしますか	項目	しない	たまにする（月1~3回）	時々する（週1~2回）	毎日する	未記入
		合計	81	113	56	214	3
		割合	17.3%	24.2%	12.0%	45.8%	0.6%
13	毎日歯をみがきますか	項目	毎日みがく	時々みがく	みがかない	未記入	
		合計	433	30	1	3	
		割合	92.7%	6.4%	0.2%	0.6%	
14	「毎日みがく」と答えた人に聞きます。一日何回、歯をみがきますか	項目	1回	2回	3回	未記入	
		合計	23	174	236	3	
		割合	5.3%	39.9%	54.1%	0.7%	
15	たばこを吸うと健康に害があると思いますか	項目	害はない	多少はあるが大したことはない	大いに害がある	わからない	未記入
		合計	6	14	432	12	3
		割合	1.3%	3.0%	92.5%	2.6%	0.6%
16	お酒を飲みすぎると健康に害があると思いますか	項目	害はない	多少はあるが大したことはない	大いに害がある	わからない	未記入
		合計	6	117	327	14	3
		割合	1.3%	25.1%	70.0%	3.0%	0.6%
17	覚せい剤などの薬物を使うことの有害性や危険性を知っていますか	項目	知っている	知らない	未記入		
		合計	456	7	4		
		割合	97.6%	1.5%	0.9%		
18	自分のことが好きですか	項目	大好き	まあまあ好き	あまり好きでない	嫌い	未記入
		合計	38	190	193	41	5
		割合	8.1%	40.7%	41.3%	8.8%	1.1%
19	命を大切だと思いますか	項目	とても思う	まあまあ思う	あまり思わない	思わない	未記入
		合計	355	90	10	8	4
		割合	76.0%	19.3%	2.1%	1.7%	0.9%
20	悩みを相談できる人がいますか	項目	いる	いない	未記入		
		合計	397	67	3		
		割合	85.0%	14.3%	0.6%		
21	家族の中であいさつや会話を心がけていますか	項目	はい	いいえ	未記入		
		合計	366	98	3		
		割合	78.4%	21.0%	0.6%		

## 5 用語解説

(五十音順)

育児のしおり	宇和島市で独自に作成した新生児から3歳児までの過程における育児の知識をわかりやすくまとめた冊子。
うわじま母子保健連絡会	宇和島市の母子保健事業の推進及び充実を図るために、市民と行政が情報及び意見交換を行い相互理解を深めるとともに、連携を図ることにより、活動の発展、推進を図ることを目的とした連絡会。
QOL	クオリティ・オブ・ライフ (Quality of Life) の略語、日本語では生活の質と訳される。
共食	共に生活している人と食行動を共にすること。家族と食事を共にすることは、家族との多様なコミュニケーションを深め、食事のマナーや食べ物を大切にする心を学ぶ時間でもある。
極低出生体重児	生下時の体重が1500g未満の新生児のこと。
#8000 (小児救急電話相談事業)	休日・夜間の急な子どもの病気にどう対処したらよいのか、病院の診療を受けたほうがいいのかなど判断に迷った時に、小児科医師・看護師への電話による相談ができるもの。
小児生活習慣病予防健診	子どもの頃から良い生活習慣を身につけ、将来の生活習慣病の発症を予防することを目的とした健診。血中脂質、貧血、血压、身体測定を実施。 対象：市内小学校に通う4年生及び前年度有所見の5年生。市内中学校に通う1年生及び前年度有所見者の2年生。
自己肯定感	欠点や弱点もある不完全な自分があるがままに受け入れ、誰がどう評価しようと自分は自分、かけがえのない存在と自分を受け入れ大切に思える気持ち。
健やか親子21	平成13年から開始した、母子の健康水準を向上させるための様々な取組みをみんなで推進する国民運動計画。
低出生体重児	生下時の体重が2500g未満の新生児のこと。
特定健診	H20年4月よりはじまった40歳～74歳までの公的医療保険加入者全員を対象とした保健制度。正式には「特定健康診査・特定保健指導」といわれ、健診の項目は平成19年厚生労働省令第157号第1条に規定されている。
特定妊婦	児童福祉法で、出産後の子の養育について出産前に支援を行うことが特に必要と認められる妊婦をいう。収入が不安定、統合失調症などの精神疾患がある、望まない妊娠をした場合などがこれにあたる。
んようりょく 妊娠力	男性、女性あるいは夫婦が子どもを産む能力。
ひとり暮らしサポートブック	保護者から離れ、ひとり暮らしを始める時期の子どもが健康的な生活習慣を実践できるための知識、技術の習得を目的として、宇和島市内の高校に在学する高校3年生に配布している冊子。H29年度より「18歳。心とからだのサポートブック」に改訂。
B M I	体重と身長の関係から算出される、ヒトの肥満度を表す体格指数。
P D C A サイクル	「P D C A サイクル」は、マーケティング用語として広まった言葉。①業務の計画を立て (plan)、②計画に基づいて業務を実行し (do)、③実行した業務を評価 (check) し、④改善 (act) が必要な部分はないか検討し、次の計画策定に役立てる。
ファミリー・サポート・センター	子育ての援助を受けたい人と子育ての援助を行いたい人が会員となり、有償で子どもの送迎や一時的な預かりなどを行い、地域全体で子育て支援を行うしくみ。
未熟児	身体の発育が未熟なまま出生した乳児のこと。